TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

ハードディスク内蔵
地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

46ZX9000／55ZX9000

操作編

：：最初に別冊の「準備編」をお読みください。
：：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

操作編もくじ

はじめに

テレビを見る

映像・音声を調整する

録画・予約をする

レグザリンクを使う

インターネットを楽しむ

困ったときは

その他

別冊(準備編)もくじ

※ 以下は別冊の内容です。(一部省略しています。準備編もよくお読みください)

準備編(別冊)

ご使用の前に

設置と基本の接続・設定

外部機器の接続と設定

各種機能の設定と接続

資料

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

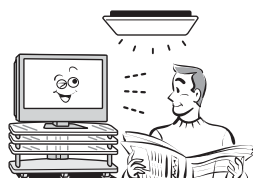
機能などの補足説明、 参考にしていただきたいこと、 制限事項などを記載しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

■ 正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
ときどき目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

● この取扱説明書は、46ZX9000、55ZX9000で共用です。記載しているイラストは46ZX9000のものです。
55ZX9000はイメージが多少異なります。

本機の特長

ハードディスク録画機能

内蔵ハードディスクおよび市販のUSB、LANハードディスクでハイビジョン放送をそのままの画質で録画・再生することができます。
- 内蔵ハードディスクとUSBハードディスクで2番組同時録画ができるので、録画したい番組が重なった場合に便利です。
- 連続ドラマを1回の予約操作で毎回自動的に録画する「連ドラ予約」機能や、登録したニュース番組を自動的に録画し、録画された最新のニュース番組をボタン一つで見ることができる「今すぐニュース」機能など、便利な録画機能を搭載しています。

レグザリンク搭載

- 内蔵ハードディスクの録画番組や、本機に接続したハードディスク（USB、LAN）、SDメモリーカードなどの録画番組や写真（画像）などを本機のリモコン操作で再生したり、録画番組をダビングしたりすることができます。
- 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画したワンセグ番組をSDメモリーカードにダビングし、携帯電話などのモバイル機器で見ることができます。
- 本機と東芝製のレグザリンク対応機器や東芝推奨のHDMI連動機能対応のAVシステム機器をHDMIケーブルでつなげば、本機のリモコンで機器の基本操作をすることができます。

ブロードバンド対応

本機で「インターネット」をお楽しみいただけます。
- 多チャンネル放送やビデオが楽しめる「ひかりTV」、幅広いジャンルの映像や、ニュース、株価、気象情報などの役立つ情報をチェックできる「アクトビラ」、キーワードを選択または入力して、インターネット検索や画像検索ができる「Yahoo! JAPAN」に対応しています。
  ※「ひかりTV」のご利用には、NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ回線（光回線）が必要です。
- 有害サイトなどから青少年を保護するための閲覧制限機能を備えています。

おまかせ機能

- 周囲の明るさと見ている映像の情報を本機が検出し、常に見やすい画質に自動調整します。またレゾリューションプラスによって、緻密で精細感のある映像がご覧になれます。
- 番組のジャンル情報を本機が検出し、ジャンルに適した音声に自動調整します。

各部のなまえ

- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは[☞]内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)

前面

右側面

B-CASカード挿入口(準備編 24☞)

SDメモリーカード挿入口 64☞ 66☞
- SDメモリーカードの写真を見たり、ワンセグをダビング・再生したりできます。

ここを上にする

SDメモリーカード

- SDメモリーカード専用です。ほかの種類のメモリーカードは挿入しないでください。
- 図の向きにして差し込みます。
- 取り出すときは、いったん押し込みます。

※SDメモリーカードを抜差しするときは、本体またはリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。

電源 7☞
- 電源を「入」、「切」にします。

チャンネル▲・▼(アップ・ダウン) 8☞
- チャンネルを順番に切り換えます。

入力切換 19☞
- 入力を切り換えます。

放送切換 8☞
- 放送の種類を切り換えます。

音量＋・− 7☞
- 音量を調節します。

ヘッドホーン端子
- ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
  モノラルイヤホーンをつないだ場合は、左音声だけが聞こえます。
- ヘッドホーンからの音の出かたなどを設定することができます。 26☞

B-CAS
青カード 赤カード
電源
チャンネル
音量
入力切換
放送切換
ヘッドホーンのモード切換はメニューの「音声設定」で行ってください。

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張・省略しているところがあり、実際とは多少異なります。

基本操作

電源を入れる

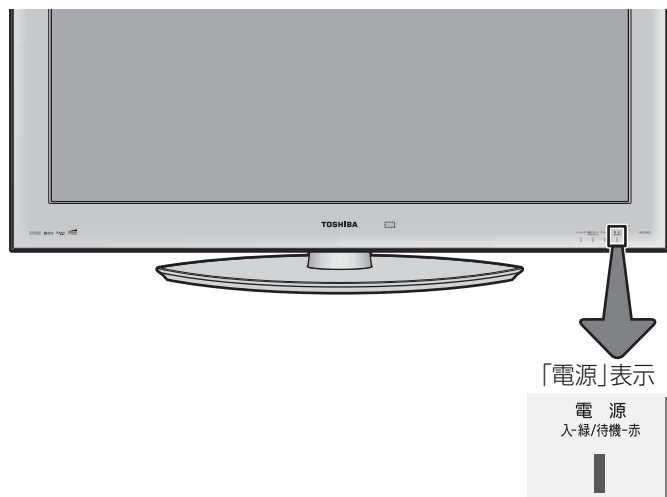
「電源」表示が消えているとき

❶本体右側面の［電源］を押す

- 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

「電源」表示が赤色に点灯しているとき（待機のとき）

❶リモコンの［電源］を押す

- 電源が「入」になり、「電源」表示が緑色に点灯します。

電源を切る

待機状態にする

❶リモコンの［電源］を押す

- 電源が「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。

電源を切る

❶「電源」表示が赤色または緑色に点灯しているときに、本体右側面の［電源］を押す

- 電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。

音量を調節する

音量を調節する

❶リモコンの［＋音量－］または本体右側面の［＋音量－］を押す

- ＋を押すと音が大きくなります。（最大100）
  －を押すと音が小さくなります。（最小0）

音を消す

❶リモコンの［消音］を押す

- 画面右下に［消 音］が表示されます。
- もう一度［消音］を押すと、音が出ます。

クイックメニューを使う

- テレビ番組などを視聴しているときに、［クイック］を押してさまざまな操作をすることができます。
- クイックメニューの内容は、［クイック］を押すときの場面によって変わります。以下の表は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は薄くなって表示されます。

1 ［クイック］を押す

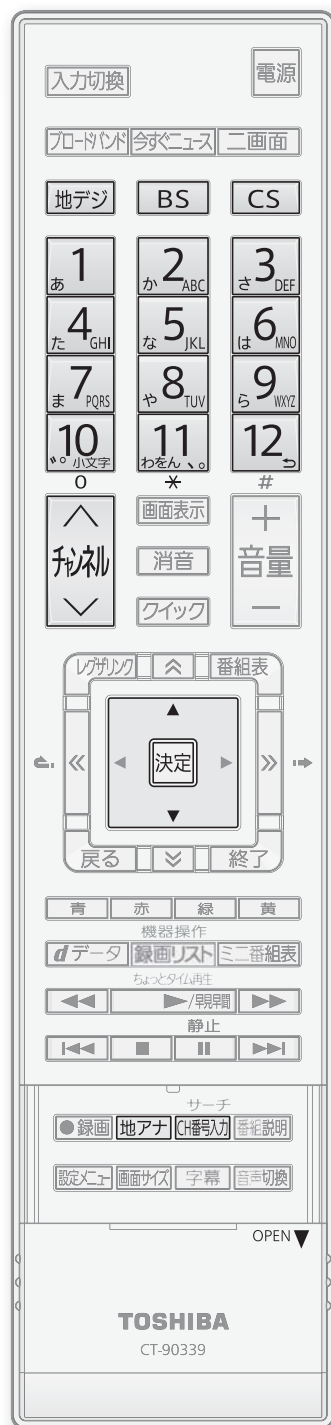
2 ▲・▼で項目を選び、［決定］を押す

3 選んだ項目に従って操作する

- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
映像設定			27～36
音声設定			37～39
画面サイズ切換※			21、23
連ドラ予約			46
タイマー機能	オンタイマー		100
	オフタイマー		100
お知らせ			101
その他の操作	信号切換	映像信号切換	25
		音声信号切換	25
		音多切換※	25
		データ信号切換	25
		字幕切換※	25
		降雨対応放送切換	101
	アンテナレベル表示		準備編 33
	データ放送終了		9
	親切ヘッドホーン音量（「副画面ヘッドホーン音量」）		26
	テレビ/ラジオ/データ切換		9

- ※印の項目について
  記載ページにはクイックメニューを使わない操作方法が記載されていますが、同じ目的の操作がクイックメニューからもできます。

テレビ放送を見る

1 放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

● 地デジ、BS、CS、地アナ(ふたの中)を押します。

● 本体右側面の 放送切換 でも放送の種類が切り換えられます。放送切換 を押すたびに、放送の種類が順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

● 以下の3とおりの選局方法があります

1 チャンネルボタンで選局する(ワンタッチ選局)

チャンネルボタン1～12を押して選局します。

2 チャンネル∧・∨ボタンで選局する(順次選局)

● チャンネル∧∨または本体右側面の チャンネル▲▼ でチャンネルが順に切り換わります。

3 チャンネル番号を入力して選局する

● デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。CATVを視聴中の場合には、この方法でCATVの選局もできます。

❶ CH番号入力(ふたの中)を押す

● 画面の右上に、地デジ‒‒‒ または BS‒‒‒ または CS‒‒‒ または CATV C‒‒ が表示されます。(放送の種類はそのときの状況によって変わります)

● 放送の種類を切り換える場合は、CH番号入力(ふたの中)を繰り返し押します。

❷ 1～10(0)でチャンネル番号を選ぶ

例 103チャンネルを選ぶ場合 ➡ 1 10(0) 3の順に押す。
(番号入力の場合、10は「0」として使います)

● ラジオ/データ放送(次ページ)のチャンネルを選ぶこともできます。その場合は、それぞれの放送メディアに切り換わります。

■見たいチャンネルの番号がわからないとき

● ＊ボタン(11(＊))を使って、次のように選ぶことができます。
例 300番台のチャンネルを見たいとき 3 11(＊)の順に押します。
→ 300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。300番台で放送されているチャンネルがない場合は、400番台以降のチャンネルが選ばれます。

■枝番のついた放送一覧が表示されたとき

● ▲·▼で選んで 決定 を押すか、10(0)～9で枝番(カッコ内の数字)を指定して選びます。

お知らせ

● 地上デジタル放送や地上アナログ放送で1～12で選局できるのは、「はじめての設定」(準備編 30)で各ボタンに登録されたチャンネルです。(地上デジタル放送で視聴できるチャンネルは、番組表 11 で確認することができます)

● BSデジタル放送では、各チャンネルボタンに以下のように各放送局が設定されています。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
NHK BS1	NHK BS2	NHK h	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSジャパン	BSフジ	WOWOW	スターチャンネル	BS11	TwellV

● 110度CSデジタル放送では、2にCSプロモーションチャンネルが設定されています。登録の変更や追加をする場合は、「手動設定」(準備編 81)をしてください。

● 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルが順番に選べます。

● 順次選局の場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。

● 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います(番号順にならない場合があります)。

● お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した(準備編 94)直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。

● 一部のチャンネルには受信契約が必要なものがあります。未契約のチャンネルを選ぶとメッセージが表示されます。

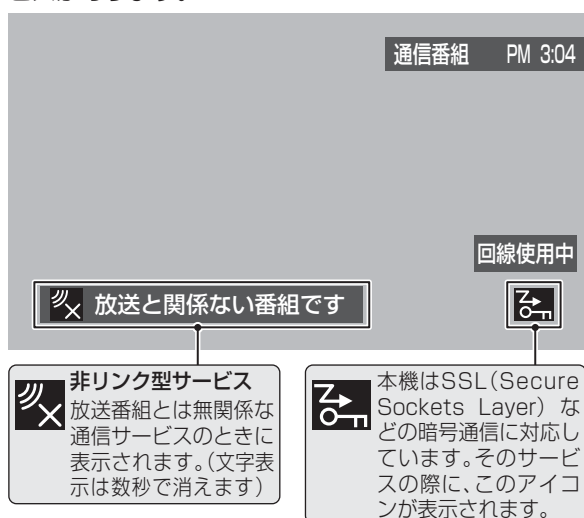
● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信したときに表示されます。

● 本機はペイ・パー・ビュー(PPV)放送には対応していません。

ラジオやデータ放送を楽しむ

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送や衛星デジタルラジオ放送があります。

■ データ放送
● 便利な情報やさまざまなニュースを見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスを楽しんだりできます。データ放送には以下の2種類があります。画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。
◆ 独立データ放送
・ 番組とは無関係の独立したデータ放送です。
◆ 番組連動データ放送
・ テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送です。

■ 地上デジタル放送の双方向サービスについて
● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

■ ラジオ放送
● BSデジタル放送と110度CSデジタル放送にはラジオ放送があります。
● 放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては音楽CD並みの高音質を楽しむことができます。
※ 2009年10月現在、ラジオ放送は運用されておりません。

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに、[クイック]を押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、[決定]を押す

3 ▲·▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、[決定]を押す

4 切り換えたい項目(「テレビ」、「ラジオ」、「データ」)を▲·▼で選び、[決定]を押す
● [チャンネル∧∨]で他のチャンネルに切り換えられます。
● チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。(前ページ)
● ラジオ、データ放送を終了するには、「テレビ」を選びます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに[画面表示]を押す
● テレビd、ラジオdが表示された場合、データ放送があります。

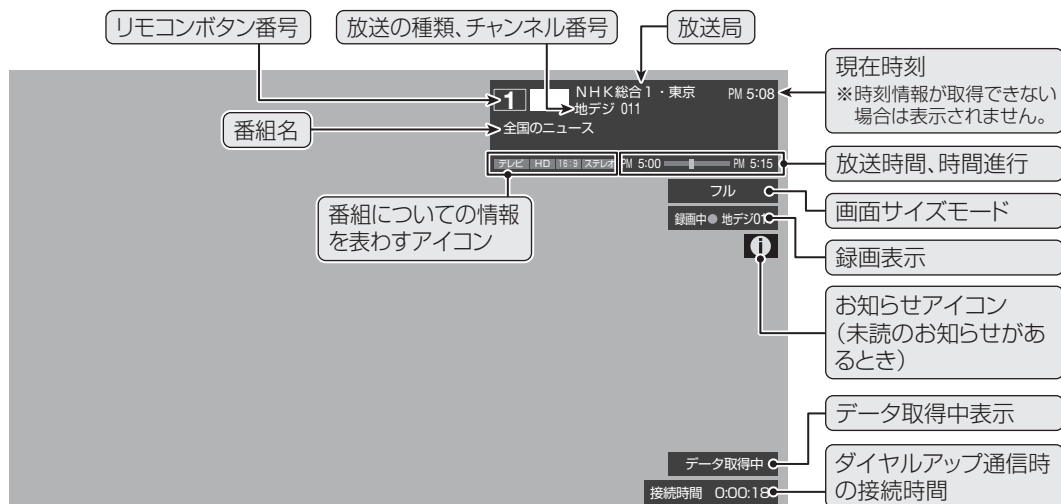
2 [dデータ]を押す
● 番組によっては押す必要がない場合があります。
● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

3 データ放送を終了するには、以下の操作をする
❶ [クイック]を押す
❷ ▲·▼で「その他の操作」を選び、[決定]を押す
❸ ▲·▼で「データ放送終了」を選び、[決定]を押す

■ 双方向サービスについて
● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ「双方向サービスを利用する場合の接続・設定」(準備編 63)をしてください。また、双方向サービスの利用に必要な登録の申込をしてください。
● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
● 画面の操作指示で、dデータは「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
● 双方向サービスの通信中は、画面上に「回線使用中」アイコンが表示され、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。
● 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
● 本機からの録画中は、データ放送には切り換えられません。
● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

番組の情報を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す
- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒後にチャンネル以外の表示は消えます)
- すべての表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

1 番組説明 (ふたの中)を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す
- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
- 情報が取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す

- 画面に表示されるアイコンについての説明は、「アイコン一覧」105 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

見たい番組を選ぶ

番組表で選ぶ

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- 地上アナログ放送の番組表は表示されません。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。**

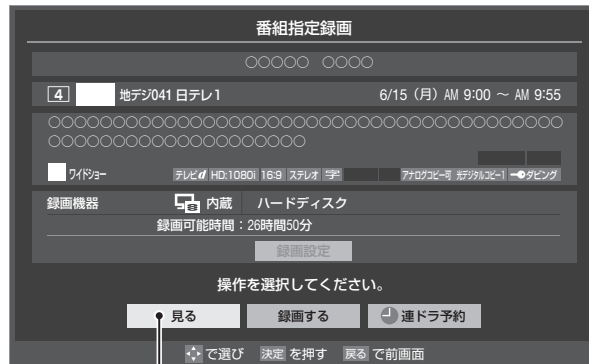
1 番組表を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSのどれかを押します。
  ラジオやデータ放送の番組表を見るときは、「ラジオ、独立データ放送を楽しむ」9 の操作で選びます。

2 現在放送中の番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ

3 決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。44 の手順3以降をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

[番組表画面：7チャンネル表示の例]

お知らせ

■ 番組表、ミニ番組表（次ページ）について

- テレビを視聴している条件などによっては番組表やミニ番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」13 をしてください。
- 番組表やミニ番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 番組表やミニ番組表で予約済番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取消しなどができます。13、63
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表やミニ番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表やミニ番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表やミニ番組表、番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 番組表やミニ番組表でさまざまな操作や設定ができます。「番組表を便利に使う」13 ～ 15 をご覧ください。

見たい番組を選ぶ つづき

ミニ番組表で選ぶ

● 2時間分の番組表で番組を選べます。

1 ミニ番組表 を押す

● ミニ番組表が表示されます。

● 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS のどれかを押します。
ラジオやデータ放送の番組表を見るときは、「ラジオ、独立データ放送を楽しむ」9 の操作で選びます。

2 ▲･▼･◀･▶で番組を選ぶ

3 決定を押す

●「番組指定録画」画面が表示されます。
● これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。44 の手順3以降をご覧ください。

4 ▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、決定を押す

● 選んだ番組の放送画面になります。

番組表を便利に使う

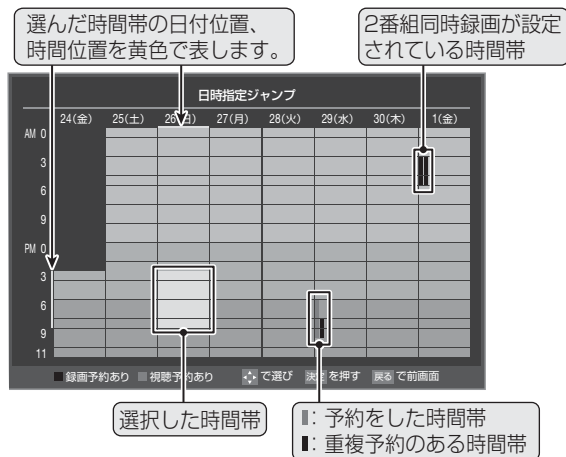
● 番組表が表示されているときに、リモコンのカラーボタンや クイック を押してさまざまな操作をすることができます。

今の時間帯の番組表を表示する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、 青 を押す

指定した日時の番組表を見る

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、 赤 を押す

2 ▲·▼·◀·▶で日時を選び、決定 を押す

● 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

テレビ/ラジオ/データの表示切換をする

● 番組表を表示させたいメディア（ラジオ、テレビ、独立データ）を選びます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選び、決定 を押す

番組表を更新する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

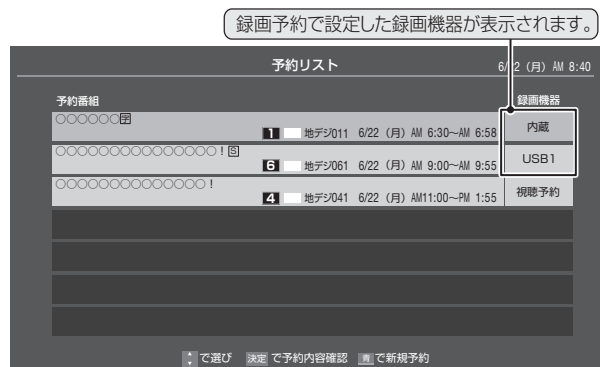
2 ▲·▼で「番組情報の取得」を選び、決定 を押す

※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 本機からの録画中は情報の取得ができません。
● BSデジタル放送の番組表の場合は番組表全体が更新されます。
● 110度CSデジタル放送の番組表の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
● 地上デジタル放送の番組表の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に クイック を押し、▲·▼で「番組情報の取得中止」を選んで、決定 を押します。

予約リストを表示させる

● 予約内容を確認できます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、 黄 を押す

2 内容を確認したら、終了 を押す

● 予約の取消については、63 をご覧ください。

番組表を便利に使う つづき

表示切換をする(1CH表示/マルチ表示)

● BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビのみ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1CH表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切換えができます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「1CH表示」(または「マルチ表示」)を選び、決定を押す

● メニューには現在の番組表の表示とは逆のモード(「マルチ表示」、「1CH表示」のどちらか)が表示されています。

● 「1CH表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

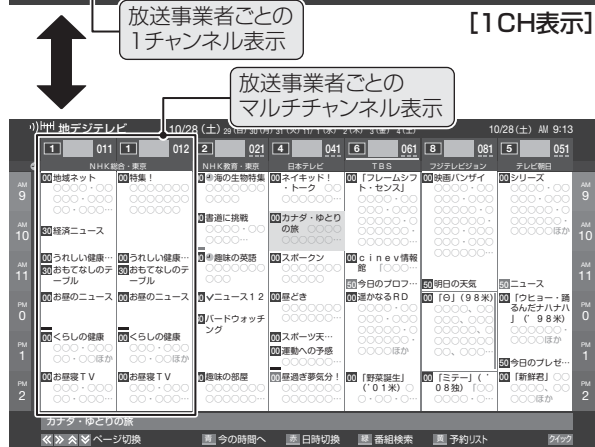
別の番組がある場合、緑の縦線を表示

複数のチャンネルで放送している場合、緑の破線を表示

放送事業者ごとの1チャンネル表示

[1CH表示]

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

[マルチ表示]

番組表の文字の大きさを変更する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「文字サイズ変更」を選び、決定を押す

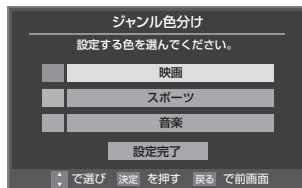
3 希望の文字サイズを▲·▼で選び、決定を押す

ジャンルの色分けを変更する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「ジャンル色分け」を選び、決定を押す

3 設定する色を▲·▼で選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す

●「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

5 ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

番組記号の説明を見る

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「番組記号一覧」を選び、決定を押す

● 番組記号の説明が表示されます。

● 表示されるのは番組記号の一部です。

● 見終わったら、決定を押します。

■ ジャンル色分けの変更について

● 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。

● この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

表示させるチャンネル数を設定する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組表表示設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「チャンネル表示数設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、決定を押す

スキップチャンネル表示/非表示を設定する

● 「チャンネルスキップ設定」(準備編 82) で「スキップ」に設定したチャンネルを番組表に表示させる設定をします。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組表表示設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「スキップチャンネル表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

番組概要の表示/非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させる設定をします。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組表表示設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「番組概要表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

番組表の明るさを設定する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組表表示設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「番組表明るさ設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「明るい」、「標準」のどちらかを選び、決定を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表内の放送局の表示位置を設定します。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組表表示設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「地デジ表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「視聴チャンネル中央表示」、「チャンネル順優先表示」のどちらかを選び、決定を押す

● 「視聴チャンネル中央表示」を選ぶと、視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
「チャンネル順優先表示」を選ぶと、お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

● 最後に視聴していた番組の番組表を表示させるために、先頭チャンネル側の番組表が表示されないことがあります。

■ スキップチャンネル表示設定について

● この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通です。

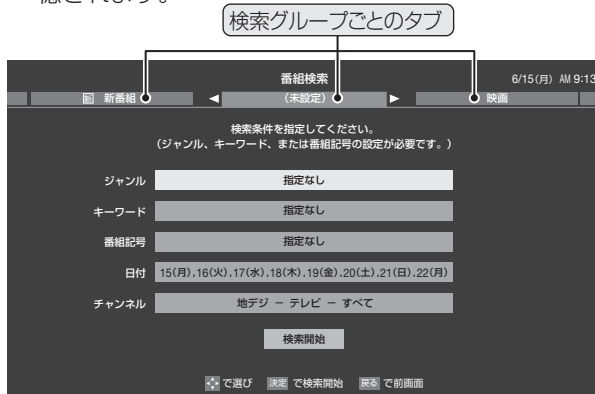
見たい番組を検索する

1 番組表を押し、緑を押す

● 番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを◀･▶で選ぶ

● 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。

検索グループごとのタブ

3 検索条件を指定する

● 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

❶ ▲･▼で「ジャンル」を選び、決定を押す

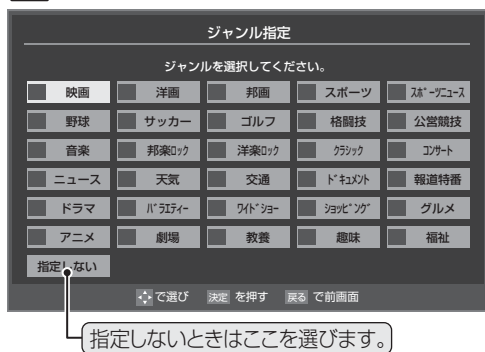
❷ 指定するジャンルを▲･▼･◀･▶で一つ選び、決定を押す

ジャンル指定

ジャンルを選択してください。

映画	洋画	邦画	スポーツ	ｽﾎﾟｰﾂﾆｭｰｽ
野球	サッカー	ゴルフ	格闘技	公営競技
音楽	邦楽ﾛｯｸ	洋楽ﾛｯｸ	ｸﾗｼｯｸ	ｺﾝｻｰﾄ
ニュース	天気	交通	ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ	報道特番
ドラマ	ﾊﾞﾗｴﾃｨｰ	ﾜｲﾄﾞｼｮｰ	ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞ	グルメ
アニメ	劇場	教養	趣味	福祉
指定しない				

で選び 決定 を押す 戻る で前画面

指定しないときはここを選びます。

「キーワード」を指定するとき

❶ ▲･▼で「キーワード」を選び、決定を押す

❷ 指定するキーワードを▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

● お買い上げ時は登録されていません。

■新しいキーワードを登録する場合

① ▲･▼･◀･▶で「新規登録」を選び、決定を押す

② キーワードを入力して、決定を押す

● キーワードは14個まで登録できます。

● 一つのキーワードは全角15文字まで入力できます。

● 文字入力のしかたは、102 をご覧ください。

■キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲･▼･◀･▶で選び、青を押す

② キーワードを編集し、決定を押す

● 文字入力のしかたは、102 をご覧ください。

■キーワードを削除する場合

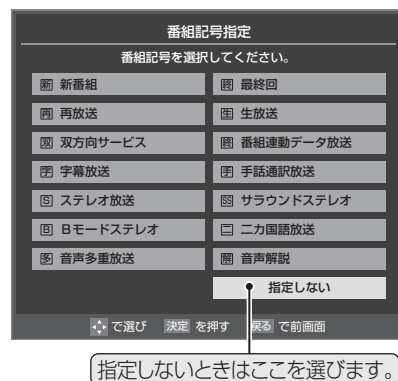
① 削除するキーワードを▲･▼･◀･▶で選び、赤を押す

② ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定するとき

❶ ▲･▼で「番組記号」を選び、決定を押す

❷ 指定する番組記号を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

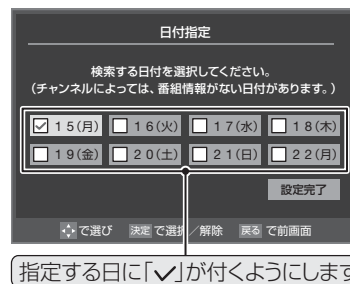
指定しないときはここを選びます。

「日付」を指定するとき

❶ ▲･▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ 指定する日付を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。

● 8日先まで指定できます。

指定する日に「✓」が付くようにします。

❸ 指定が終わったら、▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定を押す

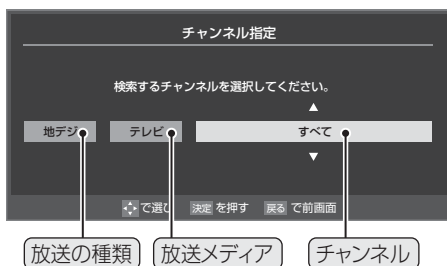
● 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。

● 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

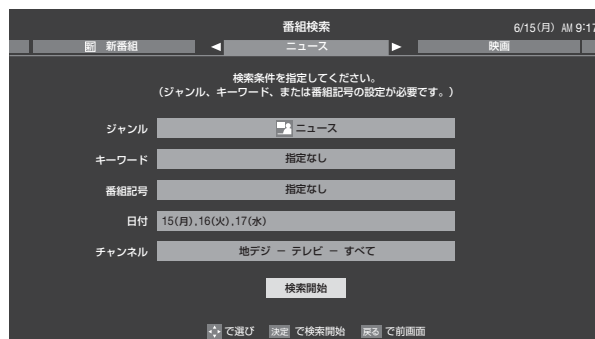
■「チャンネル」を指定するとき

❶ ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

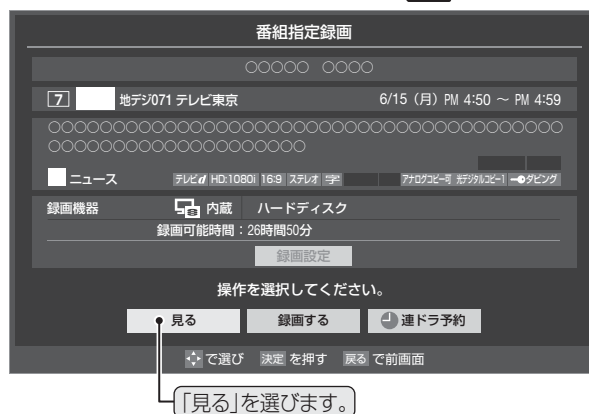
❷ 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ

- **放送の種類：**
  すべて／ BS ／ CS ／地デジ
- **放送メディア：**
  すべて／テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ) ／データ
- **チャンネル：**
  指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

4 ▲・▼で「検索開始」を選び、決定を押す

- 選択中のタブの検索グループに、手順**2**で指定した検索条件が上書きで保存されます。

5 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。44☞ の手順**3**以降をご覧ください。

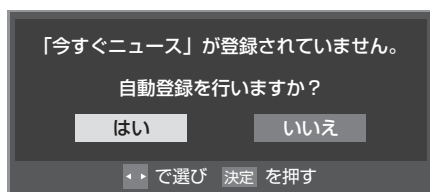
6 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

最新のニュース番組を見る ～今すぐニュース～

● 内蔵ハードディスクに自動録画された最新のニュース番組をいつでも見ることができます。
● 自動録画される番組は、「内蔵ハードディスク設定」（準備編 60☞）の「今すぐニュース番組の登録」で登録したニュース番組です。

1 今すぐニュース を押す

● 自動録画された番組が再生されます。
● 早送り、早戻しなどは、リモコンボタンで操作してください。

■ 今すぐニュース を押したときに以下のメッセージが表示された場合

● 「今すぐニュース」で録画する番組が登録されていません。
● 自動登録をする場合は、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押してください。
● 番組表から好みのニュース番組を登録することもできます。その場合は、「いいえ」を選んで 決定 を押し、右記の「番組表からニュース番組を登録するには」の操作をしてください。

2 視聴を終了するときは、■ または 終了 を押す

■ 番組表からニュース番組を登録するには

❶ 番組表 を押す
❷ 登録したいニュース番組を選び、クイック を押す
❸ ▲·▼で「今すぐニュース番組登録」を選び、決定 を押す
❹ 登録された内容を確認し、決定 を押す
● 登録された番組の取消しや、自動録画の曜日指定などをする場合は、「内蔵ハードディスク設定」の「今すぐニュース番組の登録」の表内に記載された手順を参照し、操作してください。
❺ 終了 を押す

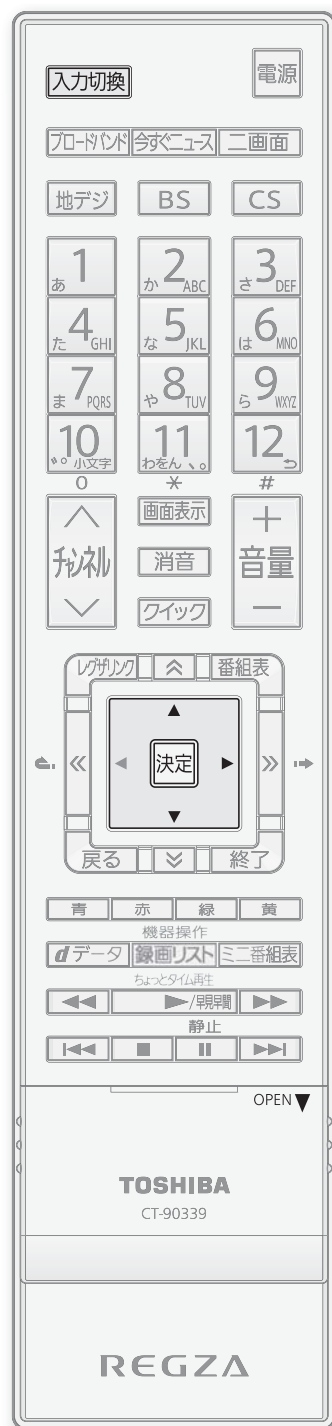
■ 「今すぐニュース」の自動録画を中止するには

❶ 「今すぐニュース」の自動録画中に、終了 または ■ を押す
❷ 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 以下の場合、「今すぐニュース」の自動録画は自動的に中止されます。
• 二画面表示にしたとき
• 番組情報の取得をしたとき
• ほかの録画が始まったとき
※ 上記のほか、一部のメニュー操作などでも中止されることがあります。
※ データ放送を選んだときにも自動録画が中止されることがあります。

● あらかじめ登録された放送の種類、チャンネル、曜日、時刻で自動録画が行われます。
● 「今すぐニュース」の自動録画は、本機の電源が「入」、「待機」、「切」のいずれの場合にも行われます。
● 最新のニュース番組の自動録画が終わると、古いニュース番組は自動的に削除されます。
● 最新のニュース番組が最後まで録画できなかった場合は、古いニュース番組が残り、新しいニュース番組は保存されません。
● 「今すぐニュース設定」で登録したニュース番組の放送時間が変更された場合には、手動でニュース番組の登録・取消しをしてください。
● 「今すぐニュース」の自動録画と録画予約の時刻が近い場合は、「今すぐニュース」の自動録画は行われません。
● 内蔵ハードディスクの再生中や録画番組を外部機器にダビングしている場合は、「今すぐニュース」の自動録画は行われません。
● 登録した番組をすべて取り消した場合、「今すぐニュース」で録画された番組は削除されます。
● 「今すぐニュース」で自動録画された番組は、録画リスト 55☞ には表示されません。

ビデオ・DVDなどを見る

- 本機の外部入力端子（HDMI入力1～4、ビデオ入力1～4）につないだビデオ、ブルーレイディスク・DVDプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機をつないで楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、準備編の「外部機器の接続と設定」の章をご覧ください。

1 見たい機器の電源を入れ、機器が接続されている入力を 入力切換 で選ぶ

- 入力切換 を押すと、画面右上に入力一覧画面（下の図を参照）が表示されます。
- 入力切換 の操作は、本体右側面の 入力切換 でもできます。
- 以下の3とおりの選びかたがあります

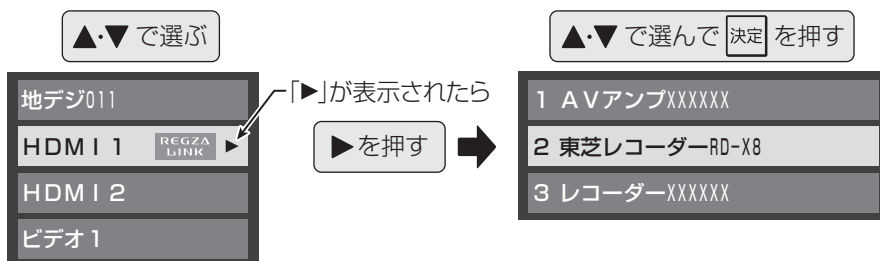
1 入力切換 を繰り返し押す

- 入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

- お買い上げ時は、機器がつながれていない入力端子をスキップするように設定されています。（「外部入力自動スキップ」（準備編 46）の設定で変更することができます）

2 入力一覧画面から▲・▼で選んで 決定 を押す

3 HDMI入力に REGZA LINK ▶が表示されているとき

- HDMI入力端子を備えた機器を経由して、一つのHDMI入力端子に複数のHDMI連動機器を接続している場合は、その入力に REGZA LINK ▶が表示されます。
  その場合は、▶を押し、表示される一覧から使いたい機器を▲・▼で選んで 決定 を押します。

2 選んだ機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- レグザリンク対応（HDMI連動機能対応）機器の場合は、本機のリモコンで一部の機能の操作ができます。「レグザリンクを使う」 53 をご覧ください。

- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。（準備編 46 「外部入力表示設定」）
- お買い上げ時は、ビデオ4を選ぶとゲームに適した画質と画面サイズになるように設定されています。ビデオなどをつないで使うときは、ビデオ4を選んでから クイック を押して、映像設定の映像メニュー 27 で「ゲーム」以外を選んでください。

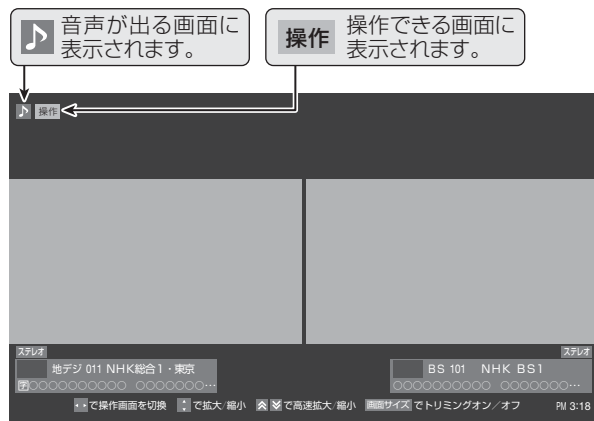
二画面で見る

● ほかの番組が気になるようなときに、二つの映像を同時に表示させることができます。
● それぞれの画面のチャンネルや音量を変えることもできます。
※ 二画面表示のときのヘッドホーンからの音の出しかたを設定することができます。26

1 二画面 を押す

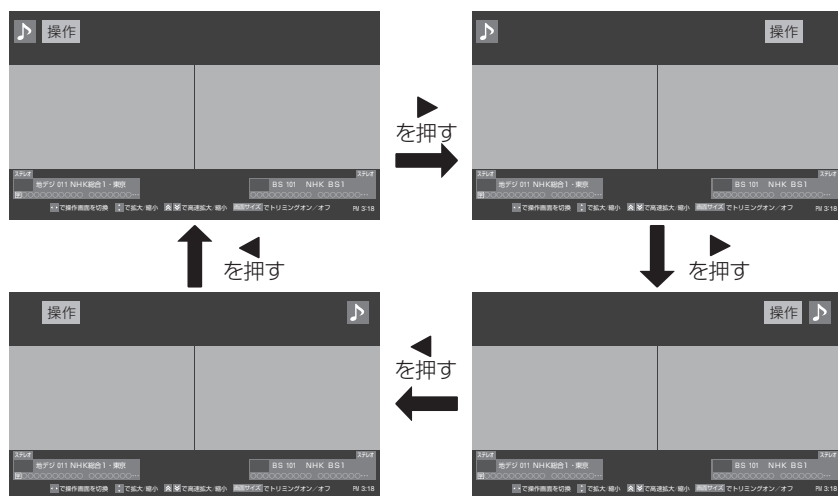
● もう一度 二画面 を押すと、一画面に戻ります。

2 操作したい画面を◀·▶で選ぶ

● ◀·▶を押すと、操作できる画面や音声が出る画面が以下のように切り換わります。

3 チャンネル でチャンネルを選ぶ

● 1 〜 12 でも選局できます。
● デジタル放送とCATVの場合は CH番号入力 (ふたの中)を使った選局ができます。
● 入力切換 でテレビ放送と外部入力の切換ができます。

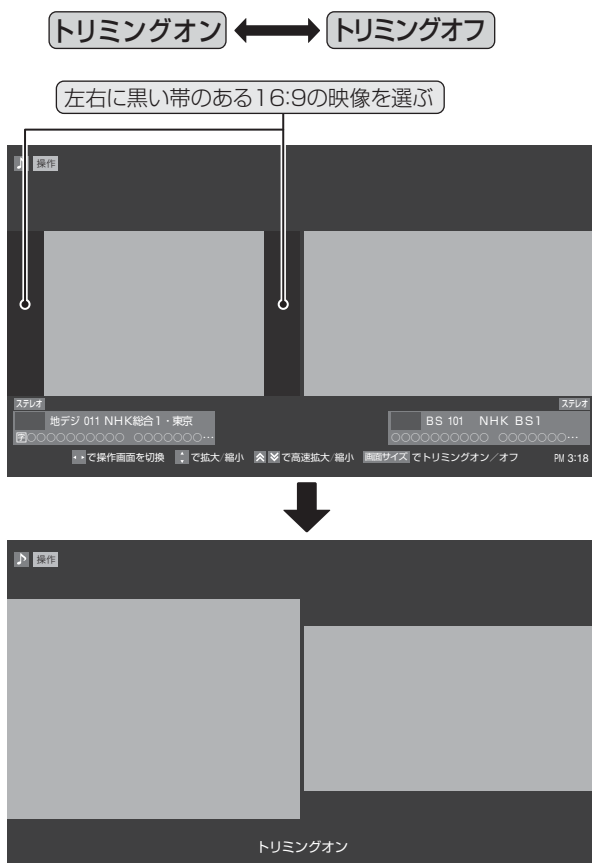
画面の大きさを変えるとき

● ▲·▼を押すと、画面の大きさが徐々に変わります。
● ︽ · ︾ を押すと、画面の大きさが「最大」「通常」「最小」の3段階で変わります。

● 地上アナログ放送や外部入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
● 内蔵・USB・LANハードディスクの映像では二画面表示の機能は使用できません。
● 二画面のときは、ラジオ放送、データ放送を視聴できません。ラジオ放送やデータ放送を視聴しているときに二画面表示にすると、最後に選んでいたテレビ放送チャンネルの映像が表示されます。
● 二画面表示のときに、インターネット機能70は使えません。(インターネット機能を使用中に二画面にすることはできます。21)
● 二画面表示のときに、AVシステム機器以外のHDMI連動対応機器を連動操作することはできません。
● 二画面表示のときに、HDMI連動機能対応機器からのワンタッチプレイはできません。
● 二画面表示でAVシステム機器の入力端子に接続している機器の番組などを視聴しているときは、♪を移動してもAVシステム機器の音声は切り換わりません。
● 本機からの録画中は二画面表示にできません。また、二画面表示中に本機からの録画が始まると、一画面表示に戻ります。

左右の帯をカット（トリミング）して表示する

● 二画面表示中、左右に帯つきの16：9の映像では、左右の帯をカットして、映像部分を4：3の画面で大きく表示します。

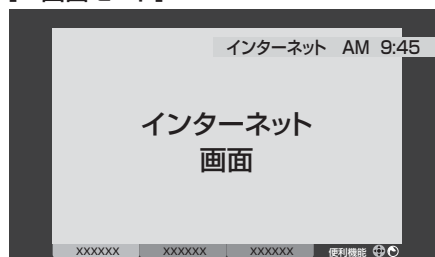
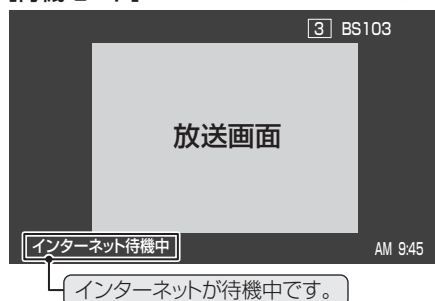
1 左右の帯部分をカットしたい画面を選び、画面サイズ（ふたの中）を押す

● 画面サイズを押すたびに以下のように切り換わります。

※ 左右に帯のない16：9の映像で「トリミングオン」にした場合は、左右の映像が切れた状態で表示されます。

インターネット利用時に二画面表示にする

● インターネット機能については、70をご覧ください。

1 インターネットを見ているときに 二画面 を押す

● 二画面 を押すたびに以下のように切り換わります。
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

■ トリミング機能について
●「トリミング オン」はクイックメニューの「画面サイズ切換」からも選ぶことができます。
●「トリミング機能」はHDMI入力からのPCフォーマット信号には働きません。

画面サイズを調整する

画面のスキャンモードを設定する

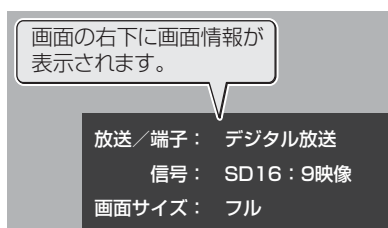
● 「画面サイズ切換」で「フル」、「ゲームフル」または「ノーマル」、「ゲームノーマル」を選んだときの画面サイズを、常に「オーバースキャン」または「ジャストスキャン」に設定することができます。
※ 映像の種類によっては、設定できないことがあります。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「画面調整」を選び、決定を押す

画面の右下に画面情報が表示されます。

放送／端子： デジタル放送
信号： SD16：9映像
画面サイズ： フル

4 ▲・▼で「スキャン切換」を選び、決定を押す

5 ▲・▼で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」を選び、決定を押す

- **ジャストスキャン**……16:9の映像を画面内にすべて表示します。
- **オーバースキャン**……16:9の映像を少し大きめに表示します。

6 設定が終わったら、終了を押す

画面の位置や幅を調整する

● 画面右下に表示されている「放送/端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。
※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。
※ パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側とで設定した情報が一致しない場合があります。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「画面調整」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で調整したい項目を選び、決定を押す

- **上下振幅調整**……映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**……映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**……映像の横のサイズを調整します。

■ 左右振幅調整が二者択一になる場合について

● D端子入力が480p信号、「映像メニュー」27が「ゲーム」で、「画面サイズ切換」（次ページ）が「レトロゲームファイン」の場合、または「ゲームダイレクト」36が「オン」の場合は、左右振幅調整は以下の2種類からの選択になります。

- **ノーマル**……据置タイプのゲーム機を接続している場合に選択します。
- **ポータブル**…ポーブルタイプのゲーム機を接続している場合に選択します。

5 ◀・▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

● 上下振幅調整と左右振幅調整は－03 ～＋03の範囲で調整できます。
● 上下表示位置は、－10～＋10の範囲で調整できます。
● 調整画面では◀・▶を押さないと、数秒でメニュー画面に戻ります。

6 調整が終わったら、終了を押す

画面調整をお買い上げ時の設定に戻す

1 上記の手順**1**～**3**の操作をする

2 ▲・▼で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

3 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

画面サイズを切り換える

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 **画面サイズ(ふたの中)を押す**

● 画面サイズを押すたびに以下のように切り換わります。(映像の種類によって、選べる画面サイズが異なります)
● 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

放送やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、 デジタル放送の4:3の映像、 ビデオ入力端子(480iと480pのみ)	スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル → ノーマル (→ スーパーライブに戻る)
デジタル放送の16:9の映像	フル → HDスーパーライブ → HDズーム (→ フルに戻る) ・画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 ・電源入／切で「フル」に戻ります。
D4映像入力端子からのハイビジョン映像	フル → ノーマル → HDスーパーライブ → HDズーム (→ フルに戻る) ・機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
480i、480p	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル (→ ノーマルに戻る)
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → フル (→ ノーマルに戻る)
720p、1080i、1080p、WXGA※	ノーマル → Dot By Dot → HDスーパーライブ → HDズーム → フル (→ ノーマルに戻る)

※ 信号フォーマットについては 110 の説明をご覧ください。

映像メニューを「ゲーム」にしているとき

入力端子	フォーマットの種類	選べる画面サイズ
HDMI入力端子	1080p、720p、480p	ゲームフル → ゲームノーマル → Dot By Dot (→ ゲームフルに戻る)
D端子	720p	ゲームフル → ゲームノーマル → Dot By Dot (→ ゲームフルに戻る)
D端子	480p	ゲームフル → ゲームノーマル → レトロゲームファイン → ポータブルズーム1 → ポータブルズーム2 (→ ゲームフルに戻る)
映像入力端子、S2映像入力端子		ゲームフル ⇔ ゲームノーマル

お知らせ
● 画面サイズはクイックメニューからも切り換えられます。

画面サイズを切り換える つづき

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説明
4:3	スーパーライブ	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 映画を観に行きませんか? → 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
16:9	フル		16:9の映像を画面内にすべて表示するモードです。 ※「スキャン切換」22 で画面に表示する情報量が変えられます。
	HDスーパーライブ[※2]	※3	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム[※2]	※3	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	ゲームフル	※4	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示します。 (図は4:3の例です)
	レトロゲームファイン	※5	図は入力が480pの場合です。ゲーム映像を真円率が100%となるように2倍に拡大して表示します。[※5] レトロなドット感のある映像を楽しむのに適しています。
	ポータブルズーム1	※5	ポータブルゲーム映像の横と縦をそれぞれ3倍に拡大して表示します。[※5]
	ポータブルズーム2	※5	ポータブルゲーム映像の横と縦をそれぞれ4倍に拡大して表示します。[※5]
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示します。映像のない部分は黒く表示されます。(図はSVGAの例です)

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。
※5 拡大倍率は入力解像度を基準としたものです。(画面の見えかたはイメージで、実際に入力解像度で表示できるというわけではありません)

- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」(16：9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- 本機のS2映像端子とD4映像端子は、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別します。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的に「フル」や「ズーム」に切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

字幕を表示させる／音声や映像を切り換える

字幕を表示させる

● 「字幕オン」に設定すると、字幕放送のときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。
● 字幕放送番組は、番組説明画面 10 に 字 のアイコンが表示されます。（表示と実際の放送が一致しない場合があります）
● 地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 **字幕（ふたの中）を押す**

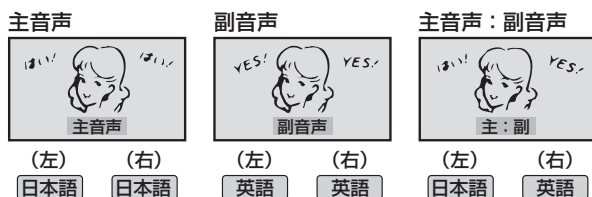
● 字幕 を押すたびに「字幕オン」と「字幕オフ」が切り換わります。
● 番組によっては、「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」、「英語字幕」または「字幕1」、「字幕2」などと表示され、字幕 を押したときに字幕の言語を選べることがあります。
● 右記の「映像、音声、データを切り換える」の「字幕切換」でも字幕の切換えができます。

二重音声を切り換える

● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
● 番組情報画面に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 **音声切換（ふたの中）を押す**

● 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

● 右記の「映像、音声、データを切り換える」の「音多切換」でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

● 複数の音声信号が放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
● 番組情報画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 **音声切換（ふたの中）を押す**

● 音声切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

● 以下の「映像、音声、データを切り換える」の「音声信号切換」でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
● 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 **クイック を押す**

2 **▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す**

3 **▲·▼で「信号切換」を選び、決定 を押す**

4 **切り換える信号を▲·▼で選び、決定 を押す**

● 視聴中の番組で切換えのできない信号は、薄くなって表示されます。

5 **視聴したい映像、音声、データを▲·▼で選び、決定 を押す**

● 「信号切換」のクイックメニューに表示される「音声信号切換」、音多切換」、「字幕切換」は、それぞれ左記および上記の手順で操作する機能と同じものです。

■ **字幕について**
● 本機の録画出力端子から字幕は出力されません。
● 字幕表示中に一部の操作をすると、字幕が消えます。通常画面に戻ると、再び字幕が表示されます。

■ **信号切換について**
● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

映像を静止させる／ヘッドホーンモードを設定する

映像を静止させる

● 映像の動きを止めることができます。たとえば、料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときに便利です。

1 静止 を押す

● 映像が静止します。
● 解除するときは、静止 をもう一度押します。
※ 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

ヘッドホーンモードを設定する

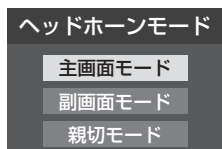
● 本機にヘッドホーンをつないだときの音の出かたを設定します。
● お好みにあわせて「主画面モード」、「副画面モード」、「親切モード」から選べます。
● お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「ヘッドホーンモード」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で希望のモードを選び、決定 を押す

ヘッドホーンモード
主画面モード
副画面モード
親切モード

■ 一画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	音が出ます。 音量＋－で調節	音が出ません。
副画面モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調節	音が出ます。 音量＋－で調節
親切モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調節	音が出ます。 音量＋－で調節

■ 二画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	主画面（♪が表示されている画面）の音が出ます。 音量＋－で調節	音が出ません。
副画面モード	副画面（♪が表示されていない画面）の音が出ます。 「副画面ヘッドホーン音量」で調節	主画面の音が出ます。 音量＋－で調節
親切モード	主画面（♪が表示されている画面）の音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調節	主画面の音が出ます。 音量＋－で調節

5 設定が終わったら、終了 を押す

■ ヘッドホーンの音量調節のしかた

● 「主画面モード」に設定している場合は、音量＋－で調節します。
● 「副画面モード」や「親切モード」に設定して、ヘッドホーンをつないでいるときは、以下の手順で調節します。

❶ クイック を押す
❷ ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼で「親切ヘッドホーン音量」または「副画面ヘッドホーン音量」を選び、決定 を押す
※ ヘッドホーンをつないでいないときは、選べません。
❹ ◀·▶で音量を調節する
● 音量＋－でも調節できます。

お知らせ
■ 映像の静止（静止画）について
● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
● 本機からの録画中は静止画にすることはできません。
● 字幕放送の場合、映像の静止中は字幕は表示されません。
● 映像の静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画が解除されます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

お好みの映像を選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
● 映像メニューは、入力端子ごとに記憶させることができます。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「映像メニュー」を選び、決定 を押す

4 お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定 を押す

● 「映画プロ」を選んだ場合は、▲･▼で「映画プロ1」、「映画プロ2」のどちらかを選び、決定 を押してください。

映像メニュー
おまかせ
あざやか
標準
映画
テレビプロ
映画プロ
メモリー

映像メニュー	内　容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質で表示されます。
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむときに適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむときに適した設定です。（暖かみのある色あいを再現します）
テレビプロ	テレビ番組を見るときに適した設定です。（お好みに合わせて、さらに細かい調整を記憶させることができます）
映画プロ1、2	映画を見るときに適した設定です（お好みに合わせて、さらに細かい調整を記憶させることができます）
写真	写真（JPEG画像）を表示するのに適した設定です。（写真を見るときに選択できます）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。 （「HDMI1」～「HDMI4」、「ビデオ1」～「ビデオ4」入力選択時に選べます）
PCファイン	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。 （「HDMI1」～「HDMI4」入力選択時に選べます）
メモリー	お好みに調整した映像設定で楽しむときに選びます。

5 終わったら、終了 を押す

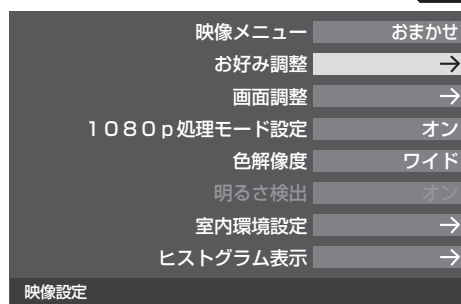
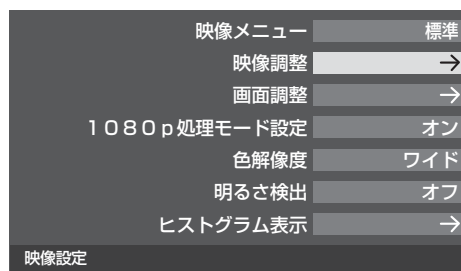
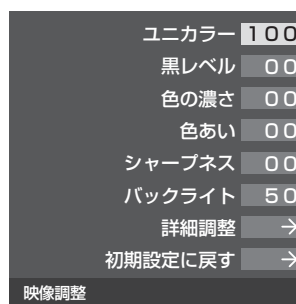
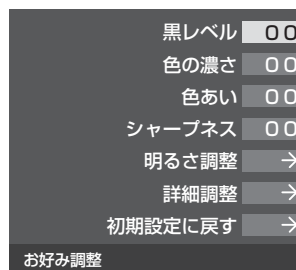
● 「おまかせ」、「テレビプロ」、「映画プロ1、2」、「ゲーム」、「PCファイン」、「メモリー」を選んでいるときにお好みの調整をすると、それぞれのメニューに調整の結果を記憶させることができます。

お好みの映像に調整する

● 映像メニューが「おまかせ」、「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」のときに調整した場合、調整した結果がそれぞれの映像メニューに記憶されます。それ以外を選んだ場合は、調整した結果が映像メニューの「メモリー」に記憶され、映像メニューが「メモリー」に切り換わります。
● お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」を選びます。

4 調整する項目を▲・▼で選び、決定を押す

5 ◀・▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

● いくつもの項目を調整する場合は、手順**4**、**5**を繰り返します。
● 決定を押す前に▲・▼を押せば、調整項目を切り換えることができます。

6 終わったら、終了を押す

調整項目	内　容	調整範囲
ユニカラー	コントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。	00　～　100 淡くなる⇔濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。（黒髪などを見やすくします）	−50　～　+50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整します。	−50　～　+50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌の色に注目して、色合いを調整します。	−50　～　+50 紫が強くなる⇔緑が強くなる
シャープネス	映像の鮮明さを調整します。	−50　～　+50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる
明るさ調整	「色温度センサー」で明るさを自動調整するときの画面の明るさを調整します。「明るさ検出」が「オン」に設定されているときに表示されます。	34 をご覧ください。
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	00　～　100 暗くなる⇔明るくなる
詳細調整	映像をさらに細かく調整します。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。	————

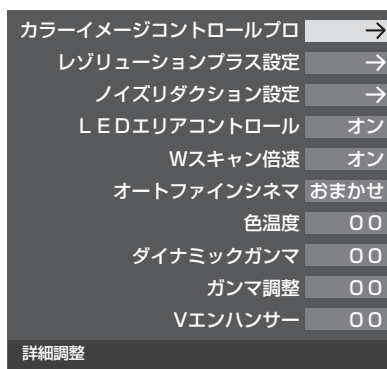
映像を詳細に調整する

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「お好み調整」を選び、決定を押す
- 「映像メニュー」27 が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「映像調整」を選びます。

4 ▲・▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 以降の手順で必要な項目を選んで調整する（33 まで）

6 調整が終わったら、終了を押す

カラーイメージコントロールプロ

- 映像の色調を調整することができます。
- 「カラーパレットプロ調整」には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。
- 調整した内容は、「映像メニュー」の「メモリー」に記憶されます。

カラーイメージプロ設定

- 「カラーパレットプロ調整」の機能を使う場合は、「カラーイメージプロ設定」を「オン」にします。（お買い上げ時は「オン」に設定されています）

1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を▲・▼で選んで決定を押す

2 ▲・▼で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定を押す

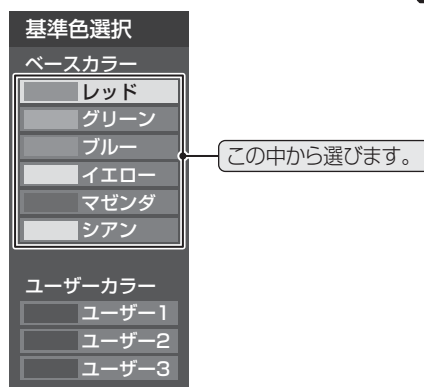
3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

ベースカラー調整

- レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整します。
- 「カラーイメージプロ設定」が「オン」のときに設定できます。

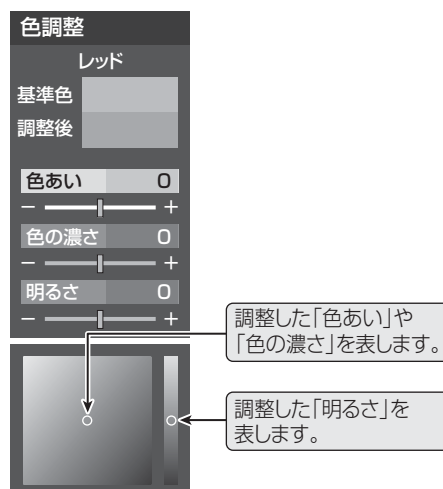
1 「詳細調整」画面で、▲・▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

3 調整したい色を▲・▼で選び、決定を押す

4 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ 青 を押して静止画にする
（もう一度 青 を押すと静止画が解除されます）
- 動画のままでも調整できます。

❷ ▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀・▶で調整する
- 調整範囲は－30 ～＋30です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

❸ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す

- いくつもの色を調整する場合は、手順**3**、**4**を繰り返します。
- 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

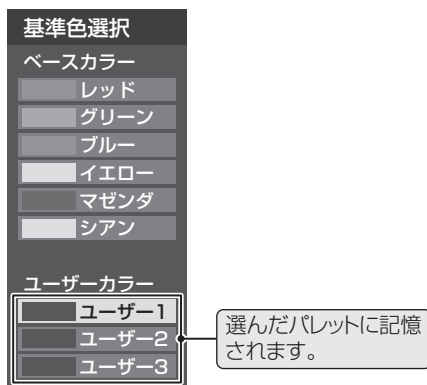
映像を詳細に調整する つづき

ユーザーカラー調整

● 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整します。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

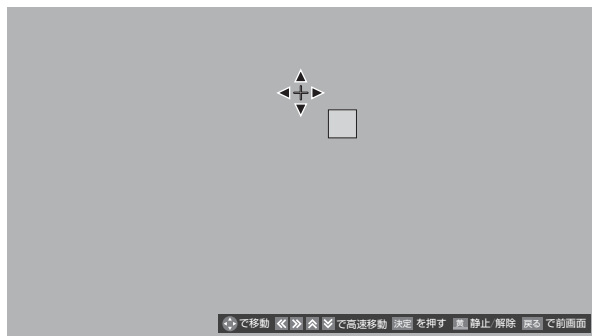
1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を▲·▼で選んで決定を押す

2 ▲·▼「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、「ユーザー 3」のどれかを選び、決定を押す

4 以下の操作で調整したい色をユーザーカラーに登録する

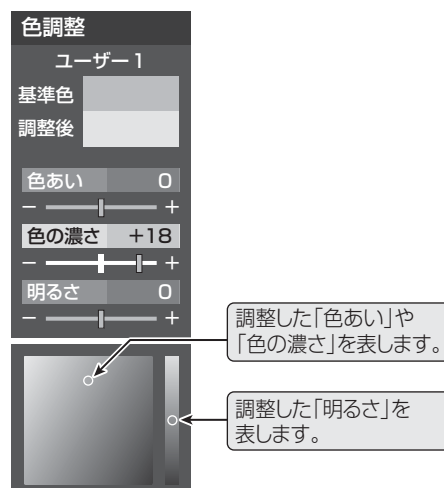
❶ 青 を押して静止画にする
- 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

❷ ▲·▼で「基準色変更」を選び、決定を押す
- カーソルが表示されます。

❸ 調整したい色の部分まで▲·▼·◀·▶でカーソルを移動し、決定を押す
- パレットに色が登録されます。

5 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ 青 を押して静止画にする

❷ ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で調整する
- 調整範囲は－30 ～＋30です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

❸ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す
- ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順**3** ～**4**を繰り返します。
- 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

お買い上げ時の設定に戻すとき

● すべての色をお買い上げ時の設定に戻します。

1 「詳細調整」画面で、▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、ベースカラー調整を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

レゾリューションプラス設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
※ 映像の種類によって、調整できない場合があります。

レゾリューションプラスの設定

● レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、以下の「アニメモード」、「レベル調整」は機能しません。

1 「詳細調整」画面で、「レゾリューションプラス設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 ▲·▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- **オン**…… レゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**…… レゾリューションプラスは働きません。

アニメモード

● アニメ番組を視聴するときに、アニメ番組に適した画質で表示されるようになります。

1 上記「レゾリューションプラスの設定」の手順1の操作をする

2 ▲·▼で「アニメモード」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「おまかせ」、「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

- **おまかせ**…本機が自動的に切り換えます。
- **オン**…… アニメモードが働きます。
- **オフ**…… アニメモードは働きません。

レベル調整

1 左記「レゾリューションプラスの設定」の手順1の操作をする

2 ▲·▼で「レベル調整」を選んで決定を押す

3 ◀·▶で数値を選び、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
おまかせ時	−02 ～ +02	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせ以外	01 ～ 05	

ノイズリダクション設定

● 画面のノイズやざらつきを減らします。
- **MPEG NR**……デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。
- **ダイナミックNR**…映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※ 「映像メニュー」が「ゲーム」に設定されている場合は、設定できません。
※ HDMI入力でPC信号フォーマットを表示しているときは、設定できません。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 「詳細調整」画面で、「ノイズリダクション設定」を▲·▼で選んで決定を押す

2 「MPEG（エムペグ） NR」または「ダイナミックNR」を▲·▼で選び、決定を押す

3 ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

設定項目	設定レベル
MPEG NR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。 ※ 「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」のときにだけ選べます。
ダイナミックNR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 通常は「オート」に設定してください。強くかけると残像が強くなる場合があります。

■ レゾリューションプラス設定について
● レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器をつないだ場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、つないだ機器の高画質処理機能をオフにしてください。

映像を詳細に調整する つづき

LEDエリアコントロール

● 映像の明るさに応じてエリアごとにバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「LEDエリアコントロール」を選んで決定を押す**

2 **▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す**

- **オン**····· LEDエリアコントロールの機能が働きます。
- **オフ**····· LEDエリアコントロールは働きません。

Wスキャン倍速

● 動きの速い映像で生じるブレや、ぼやけを減らすことができます。
※ 映像によっては効果がわかりにくい場合があります。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「Wスキャン倍速」を選んで決定を押す**

2 **▲·▼で「オート」または「オフ」を選び、決定を押す**

- **オート**·····映像の場面や信号の種類に応じて本機が自動的に切り換えます。
- **オフ**·········Wスキャン倍速の機能は働きません。

オートファインシネマ

● 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「オートファインシネマ」を選んで決定を押す**

2 **▲·▼で「おまかせ」※、「スムーズモード」、「オフ」のどれかを選び、決定を押す**

※「映像メニュー」が「おまかせ」以外の場合は、「5-5フィルムモード」と表示されます。

選択項目	内　容
おまかせ（5-5フィルムモード）	映画などのフィルム映像を、元の映像に近い画質で再現します。
スムーズモード	映画などのフィルム映像を、元の映像よりもなめらかな画質で再現します。
オフ	特別な処理をせずに、元の映像をそのままの画質で表示します。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「色温度」を選んで決定を押す**

2 **◀·▶で数値を選び、決定を押す**

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－５～+5	調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
おまかせ以外	０～10	

3 **▲·▼で「Gドライブ」（緑）または「Bドライブ」（青）を選び、◀·▶で調整する**

● 明るい部分の色温度を微調整します。
● 「おまかせ」に設定されているときは調整できません。
● 調整レベル範囲（G、Bドライブとも）

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	調整できません	調整レベルの数値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
おまかせ以外	－15～＋15	

■ オートファインシネマについて
● 「5－5フィルムモード」、「スムーズモード」を選んだときに映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

ダイナミックガンマ

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての諧調が自動的に調整されます。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「ダイナミックガンマ」を選んで決定を押す**

2 **◀·▶で数値を選び、決定を押す**

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－５～+5	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
おまかせ以外	０～１0	

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の諧調のバランスを調整することができます。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「ガンマ調整」を選んで決定を押す**

2 **◀·▶で数値を選び、決定を押す**

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－５～+5	数値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
おまかせ以外	－５～+5	

Vエンハンサー

● 映像の横線の輪郭を、強調したり弱めたりすることができます。

※「映像メニュー」27が「PCファイン」に設定されているときは、調整できません。

1 **「詳細調整」画面で、▲·▼で「Vエンハンサー」を選んで決定を押す**

2 **◀·▶で数値または設定を選び、決定を押す**

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
おまかせ時	－５～+5	数値が大きくなるほど、輪郭が強調されます。
おまかせ以外	強/中/弱/オフ	

その他の映像調整・設定をする

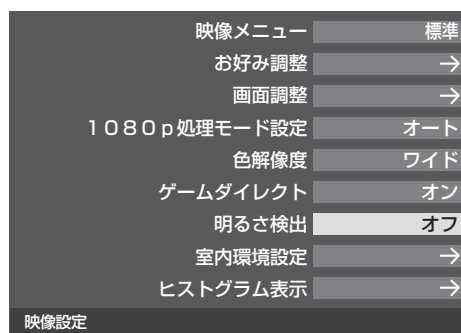
明るさ検出機能の設定

- 色温度センサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※「映像メニュー」27 が「おまかせ」に設定されている場合は、「オフ」に設定することはできません。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「明るさ検出」を選び、決定 を押す

4 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- オン……明るさ検出機能が働きます。
- オフ……明るさ検出機能は働きません。

5 終わったら、終了 を押す

明るさの調整

- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。
- 「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合、または左記の「明るさ検出」が「オン」に設定されている場合に調整できます。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

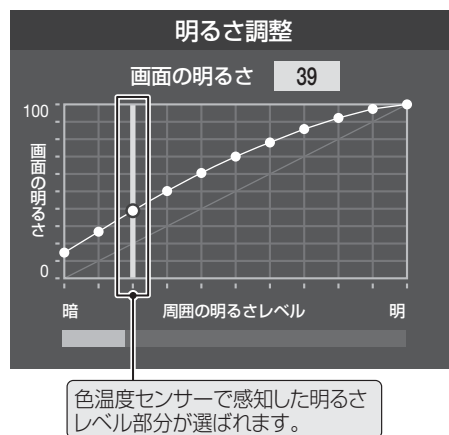
3 ▲・▼で「お好み調整」を選び、決定 を押す

- 「映像メニュー」が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「映像調整」を選びます。

4 ▲・▼で「明るさ調整」を選び、決定 を押す

5 決定 を押し、明るさを変えたいレベルを◀・▶で選ぶ

6 ▲・▼で画面の明るさを調整し、決定 を押す

- 青 を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 赤 を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

7 終わったら、終了 を押す

■ 色温度センサー、明るさ調整について

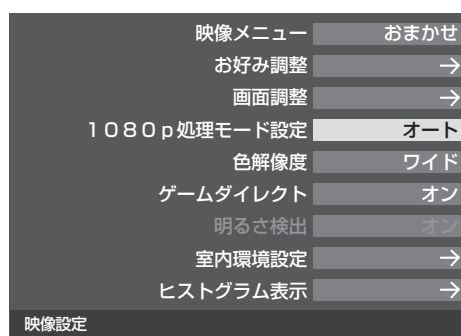
- 色温度センサーは、本機周囲の外光や照明光などの明るさと色温度（色味）を検出します。
- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 色温度センサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。色温度センサーが正しく動作しなくなることがあります。色温度センサーの位置は 5 をご覧ください。
- 「明るさ検出」が「オフ」に設定されている場合、「明るさ調整」は「バックライト」になります。28

1080p処理モードの設定

- 映像をより高画質で再現するために、接続した機器から入力された映像に補正を加えます。
- HDMI1〜4入力で1080p信号が入力されている場合に設定できます。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「1080p処理モード設定」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オート」、「DVDファイン」、「ピュアダイレクト」から選び、決定を押す

- オート……………… 映像の内容（周波数帯域）に応じて、高画質になるように自動的に補正します。
- DVDファイン…… SD画質の映像を機器側で1080pに解像度変換した映像が、より高画質になるように補正します。
- ピュアダイレクト… 特別な処理をせずに、そのままの映像を映します。ブルーレイディスクの再生などに適しています。

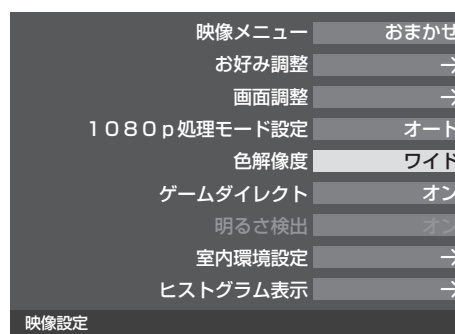
5 終わったら、終了を押す

色解像度の設定

- 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。
- 外部入力を選択した場合に設定できます。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「色解像度」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「ワイド」または「スタンダード」を選び、決定を押す

- ワイド……………… 色の周波数帯域を広げて、きめ細かな色を再現します。
- スタンダード …… 色の周波数帯域を抑えて、垂直方向の色抜けを目立たなくします。DVD再生時に色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定してください。

5 終わったら、終了を押す

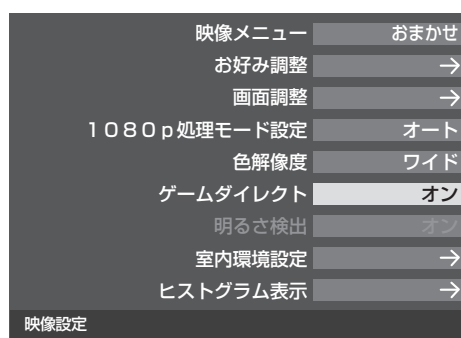
その他の映像調整・設定をする つづき

ゲームダイレクトの設定

● 「映像メニュー」27 が「ゲーム」で、映像のフォーマットが480p、720p、1080p(59.94/60Hz)の信号の場合に、映像の遅延をより抑えてゲームに適したモードにします。ほかの信号の場合は設定できません。

1 クイック または 設定メニュー (ふたの中)を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「ゲームダイレクト」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**……ゲームダイレクトの機能が働きます。「画面サイズ」23 は「Dot By Dot」に固定され、画面サイズは切り換えられなくなります。ただし、D端子に入力した480p信号の場合は、「画面調整」22 の「左右振幅調整」で「ノーマル」または「ポータブル」の選択ができます。
- **オフ**……ゲームダイレクトの機能は働きません。

5 終わったら、終了 を押す

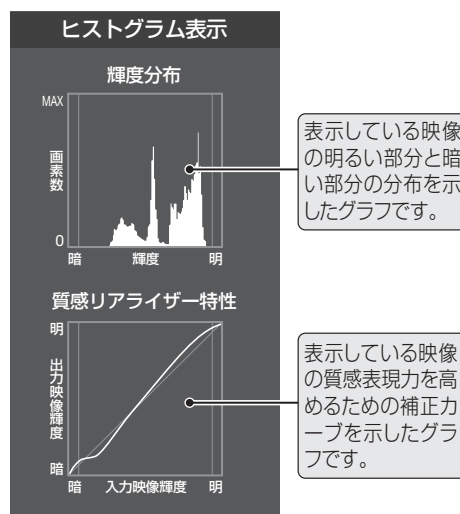
映像のヒストグラム表示

● 映像のヒストグラムを見ることができます。

1 クイック または 設定メニュー (ふたの中)を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「ヒストグラム表示」を選び、決定 を押す

● 映像のヒストグラムが表示されます。

4 表示を消すには、終了 を押す

お好みの音声を選ぶ

● お好みの音声は、入力端子ごとに記憶させせることができます。

1 クイック または 設定メニュー(ふたの中)を押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「音声メニュー」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼でお好みの音声を選び、決定 を押す

5 終わったら、終了 を押す

音声メニュー	内 容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。 (イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。 (イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。 (イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
メモリー	お好みに調整した音声設定で楽しむ時に選びます。

● 「おまかせ」、「メモリー」を選んでいるときにお好みの調整をすると、それぞれのメニューに調整の結果を記憶させせることができます。

● 「おまかせ」は、地上デジタル放送、BS/CS110度デジタル放送を視聴しているとき、およびハードディスク(内蔵、USB、LAN)に録画した番組を視聴しているときに選べます。地上アナログ放送や、HDMI入力端子およびビデオ入力端子に接続した機器の映像を見ているときは、選べません。

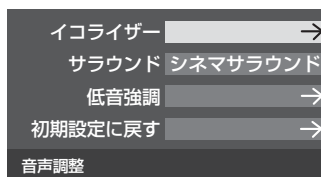
お好みの音声に調整する

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「音声調整」を選び、決定を押す

● 「音声メニュー」37が「おまかせ」に設定されている場合は、「お好み調整」を選びます。

4 必要な項目を選んで、以降の手順で調整する

5 終わったら、終了を押す

イコライザー

● イコライザーを使うと、より詳細に音質の調整をすることができます。

1 「音声調整（お好み調整）」画面で、▲・▼で「イコライザー」を選んで決定を押す

2 調整する音域を◀・▶で選び、▲・▼でレベルを変える

● いくつもの音域を調整する場合は、この操作を繰り返します。

● 調整前の音に戻すには、赤を押します。

調整例①…… 人の声がこもって聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げます。

調整例②…… バラエティ番組などのにぎやかな感じを抑えたい場合は、3.3kHzと1kHzのレベルを下げます。

音声メニューが「おまかせ」以外の場合（調整例②）

サラウンド

● 本機のスピーカーだけでステレオ音声の音に広がりを持たせます。

※「音声メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合は、設定できません。

※ 音声多重放送を視聴しているときに、「主：副」を選んでいる場合25は、効果が得られません。

1 「音声調整」画面で、▲・▼で「サラウンド」を選んで決定を押す

2 ▲・▼でお好みの設定を選び、決定を押す

- **ライブサラウンド**……ステレオ放送の視聴に適しています。音に広がりが出ます。
- **シネマサラウンド**……ステレオ放送や、接続機器からのドルビーサラウンド信号に適したモードです。左右への広がりに合わせて、奥行きも加わります。
- **オフ**……サラウンド機能は働きません。

低音強調

● 低音域の強さを細かく調整します。

1 「音声調整（お好み調整）」画面で、▲・▼で「低音強調」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で調整項目（「低音強調周波数」または「低音強調レベル」）を選び、決定を押す

● 「お好み調整」の場合は、この選択はありません。

● 「低音強調周波数」を設定する場合は、先に「低音強調レベル」を「オフ」以外に設定してください。

3 ▲・▼でお好みの設定を選び、決定を押す

音声メニュー	調整項目	調整レベル
おまかせ	—	「おまかせ」「オフ」
おまかせ以外	低音強調周波数	「200Hz」「150Hz」「100Hz」
	低音強調レベル	「強」「中」「弱」「オフ」

お買い上げ時の設定に戻すとき

● 「音声調整（お好み調整）」をお買い上げ時の設定に戻します。

1 「音声調整（お好み調整）」画面で、▲・▼で「初期設定に戻す」を選んで決定を押す

2 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

■ イコライザーについて

● D4映像入力端子とHDMI入力端子からの信号の高音と低音は、他の入力信号や放送とは別に調整できます。

その他の音声調整・設定をする

音量バランス

● 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「バランス」を選び、決定を押す

4 ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

5 終わったら、終了を押す

ドルビー DRC

● コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。
● ドルビーデジタルで記録されたコンテンツなどを視聴する場合に使用できます。（HDMI入力端子やLAN端子に接続した機器からのコンテンツ）
※ 放送番組を視聴しているときは、効果は得られません。
※「ドルビーボリューム」を「オフ」以外に設定すると、「ドルビー DRC」は、自動的に「オフ」に切り換わります。
※ HDMI入力端子に接続した機器からのコンテンツを視聴するときは、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ドルビー DRC」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

5 終わったら、終了を押す

ドルビーボリューム

● 番組からコマーシャルに切り換わったときや、映像ソフト再生時の音量差が自動で調整されます。小さな音量での視聴時でも迫力のある音質で楽しむことができます。
※「ドルビー DRC」を「オン」にすると、「ドルビーボリューム」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

1 クイック または 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ドルビーボリューム」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「強」、「弱」、「オフ」のどれかを選び、決定を押す

5 終わったら、終了を押す

デジタル放送の録画・予約について

使用できる録画機器

録画機器	録画の説明
内蔵ハードディスク	本機に内蔵のハードディスクにデジタル放送を録画します。
録画出力端子に接続した機器 （ビデオやDVDなど）	自動録画機能[※1]のある機器に、本機からの操作でデジタル放送の録画や予約ができます。自動録画機能のない機器の場合は、録画機器側で録画や予約の操作をしてください。 ※ 録画出力端子から録画をするには、「音声出力/録画出力端子設定」（準備編 44）の「端子設定」を「録画出力」に設定する必要があります。 ※1 自動録画機能：映像信号の入力を検出して自動的に録画をする機能
レグザリンク対応の東芝レコーダー	レグザリンク対応（HDMI連動機能対応）の東芝レコーダーで受信したデジタル放送（テレビ放送のみ）を録画します。 ※ HDMI連動機能を利用して本機から録画・予約の操作をします。録画途中の停止や、予約の確認・取消しは機器側で操作する必要があります。 ※「HDMI連動設定」（準備編 43）の「HDMI連動機能」を「使用する」に設定しておく必要があります。 ※ レグザリンク対応の東芝レコーダー以外では、HDMI連動機能を利用した録画･予約はできません。
LANハードディスク	LAN端子に接続したLANハードディスクに録画します。　※ DLNA認定サーバーへの録画はできません。
USBハードディスク	USB端子（録画専用）に接続したUSBハードディスクに録画します。
SDメモリーカード	内蔵ハードディスクやUSBハードディスクにワンセグ録画した番組を、SDメモリーカードにダビングして携帯機器で見ることができます。（SDメモリーカードに直接録画することはできません）

接続・設定と録画前の準備

録画機器	接続・設定	録画前の準備
内蔵ハードディスク（注）	準備編 60 ～ 61	内蔵ハードディスクの残量を確認します。60 「総録画番組数」を録画リスト 55 で確認します。（最大数は500） 残量不足や番組数超過の場合は、不要な番組は削除してください。57
録画出力端子に接続した機器（ビデオやDVDなど）	準備編 35 、36 44 ～ 45	録画できるビデオテープやディスクを入れておきます。 自動録画機能については、機器の取扱説明書をお読みください。
レグザリンク対応の東芝レコーダー	準備編 36 、43	ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクのみです。DVDに直接録画はできません。
LANハードディスク（注）	準備編 52 ～ 53 、 58 ～ 59	LANハードディスクの電源を入れておきます。
USBハードディスク（注）	準備編 48 ～ 50	USBハードディスクの電源を入れておきます。

（注）LANハードディスク、USBハードディスクおよび新たに購入した内蔵ハードディスクは、本機に登録してからでないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに、接続した機器が選択できないときは、準備編で上記のページを参照し、「ハードディスク設定」の操作で登録してください。
- ハードディスクによっては、本機で使用できない場合があります。本機で動作確認済のハードディスクについては、準備編の 119 をご覧ください。

録画・予約の種類

- 視聴中の番組を録画する 42
- 番組表で番組を指定して録画する 44
- 日時を指定して予約する 45
- これから放送される番組の視聴を予約する（視聴予約） 44 、45
- 連続ドラマを毎回録画する（連ドラ予約） 46
- 携帯機器用にワンセグ放送の番組を録画する 47
- Eメールを利用して、外出先から録画予約をする 50

内蔵ハードディスクに録画できる時間の目安

- 「今すぐニュース番組」でHDレートの地上デジタル放送の60分番組を設定している場合、録画できる時間の目安は以下のようになります。
  - 地上デジタル放送の場合 ……………………HDレート：約50時間、SDレート：約125時間
  - BS/110度CSデジタル放送の場合……HDレート：約42時間、SDレート：約125時間

※「自動削除設定」（準備編 61）が「する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するため、録画時間が上記の時間よりも少なくなることがあります。

内蔵・USB・LANハードディスクでの録画について

- 短い時間（1分程度）の録画をした場合は、番組が保存されないことがあります。
- ラジオ放送や独立データ放送は録画できません。

◆ **古い録画番組の自動削除機能について**

お買い上げ時には、「USBハードディスク設定」、「LANハードディスク設定」、「内蔵ハードディスクの設定」の「自動削除設定」（準備編 50、59、61）が「する」に設定されています。「する」に設定されているときは、以下の場合に、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されます。

- 録画の終了時に、ハードディスクの残量が約2時間分より少なくなった場合。（「録画再生設定」の「ダイレクト録画時間設定」（準備編 45）で録画時間を変更していた場合は、その設定時間分より少なくなった場合）
- 録画予約の実行時にハードディスクの残量が足りない場合。

※ 保護をした録画済番組が多くなると、自動削除機能が働かなくなる場合があり、録画できる時間が短くなります。

2番組同時録画（W録）について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- **2番組同時録画ができるのは、録画先の機器が内蔵・USBハードディスクに設定されている場合です。**
- 「録画設定」48 で「ワンセグ録画」を「する」に設定すると、2番組同時録画が実行されません。
- 2番組同時録画をしているときに番組再生ができるのは、内蔵・USBハードディスクに録画された番組（ワンセグ番組を除く）だけです。
- BS・110度CSデジタル放送を2番組同時に録画している場合は、BS・110度CSデジタル放送は録画しているチャンネルのみ選局・視聴できます。

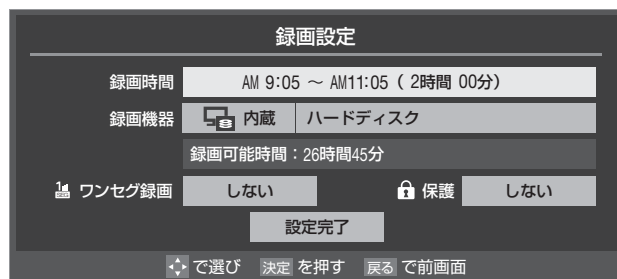
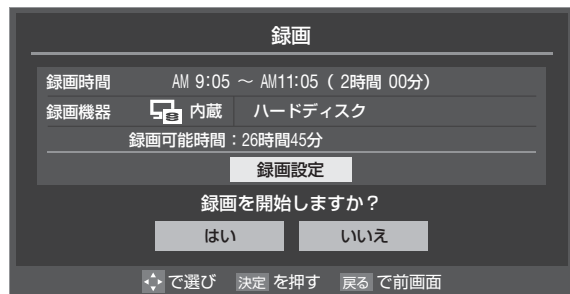
- デジタル放送の録画予約をしてから録画が始まるまでの間は、本体の電源ボタンで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。正しく録画されない場合があります。（リモコンの 電源 で「待機」にすることはできます）

- 地上アナログ放送、CATV放送、外部入力端子などにつないだ機器の映像・音声は、本機の録画・予約機能で録画することはできません。
- 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。
- 予約録画実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画は中止されます。（ハードディスクに録画していた場合は、途中まで録画した番組は残りません）
- 録画出力端子を使って録画した場合、映像フォーマットは480iに、音声は2チャンネルに変換されます。（ハイビジョンでの録画はできません）また、字幕放送番組の字幕、番組連動データ放送のデータ、独立データ放送は録画できません。
- 予約録画実行時に自動削除機能によって削除される番組が多いときは、番組の冒頭部分が録画されない場合があります。
- 予約録画開始前に、再生が自動的に停止することがあります。

見ている番組を録画する

● 今見ているデジタル放送番組を簡単に録画することができます。
※ 録画予約などですでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 デジタル放送を見ているときに ●録画 (ふたの中)を押す

2 録画設定を変更する場合は、▲·▼で「録画設定」を選んで 決定 を押す

録画時間を変更する場合

● 設定できる時間は、最大23時間59分です。ワンセグ放送の場合は、最大5時間59分です。
● 「ダイレクト録画時間設定」(準備編 45)で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画時間」を選び、決定 を押す
❷ ◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定する
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

録画先の機器を変更する場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画機器」を選び、決定 を押す
❷ ◀·▶で録画機器を選び、決定 を押す
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

録画先の機器	表示される名称
内蔵ハードディスク	「内蔵　ハードディスク」
録画出力端子に接続した機器 (ビデオやDVDレコーダーなど)	「REC OUT 録画出力」 ※ 音声出力端子として使用している場合(準備編 44)は、録画ができません。
LANハードディスク	「LAN1：接続した機器の形名」など
USBハードディスク	「USB1：接続した機器の登録名」など
レグザリンク対応の東芝レコーダー	「HDMI1：接続した機器の形名」など

その他の録画設定を変更する場合

● 「録画設定を変更するとき」 48 をご覧ください。

3 ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示された場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
● 「文字を入力する」 102 を参照して、ユーザー名を入力してください。
❷ 次回の入力を省略したい場合は、▲·▼で「次回入力」の欄に移動し、◀·▶で「しない」を選ぶ
❸ ▲·▼·◀·▶で「入力完了」を選び、決定 を押す

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画をするとき
● 録画機器の状態によっては録画や録画設定ができなかったり、録画設定に時間がかかったりすることがあります。録画設定の結果メッセージが表示されるまで、しばらくお待ちください。
● 接続機器側の録画設定が終わるまで、次の録画や録画予約をすることはできません。
● 録画設定中のメッセージが表示されているときに 終了 を押すと、メッセージ画面を消すことができます。その場合、録画設定結果のメッセージは表示されません。

録画を中止するとき

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 **録画中に 終了 または ■ を押す**
● 2番組同時録画をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲･▼で選んで、決定を押してください。

2 **「録画中止」の画面で、◀･▶で「はい」を選んで決定を押す**
● 自動録画機能のないビデオやDVDレコーダーおよびレグザリンク対応の東芝レコーダーなどの場合は、機器側でも録画停止の操作をしてください。（本機の操作だけでは止まりません）

ちょっとタイム再生

● テレビを見ているときに不意の来客があったり、電話がかかってきたりしてテレビの前から一時的に離れなければならないときなどに便利です。
※ すでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 **テレビの前から離れるときに ●録画（ふたの中）を押す**

2 **◀･▶で「はい」を選び、決定を押す**
● 録画が始まります。
● 時間に余裕があるときは、必要に応じて録画先の機器や録画時間などの確認・設定をしてください。

3 **テレビの前に戻ったら、ちょっとタイム再生 ▶/見聞 を押す**
● 録画を始めたところから番組再生が始まります。
● 再生中に早送りや、1.5倍の速さの音声付早送り再生などができます。56

4 **録画を停止させる**
● 早送り再生の操作をするなどで放送中の場面に追いついた場合は、録画を停止させて放送画面のほうを見ることができます。録画停止操作の手順は上記の「録画を中止するとき」をご覧ください。
● 録画を停止させなかった場合は、「ダイレクト録画時間設定」（準備編45）で設定した時間だけ録画が続きます。

番組を指定して録画・予約する

1 番組表 を押す

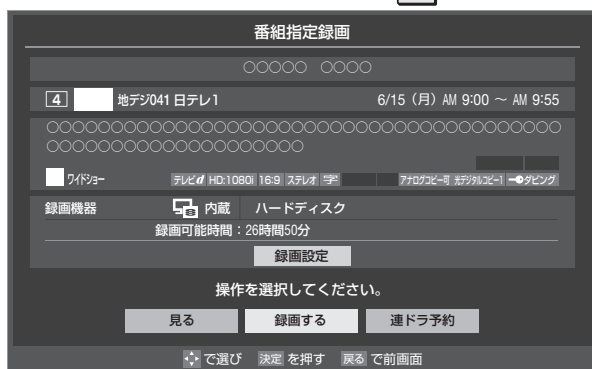
2 録画したい番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

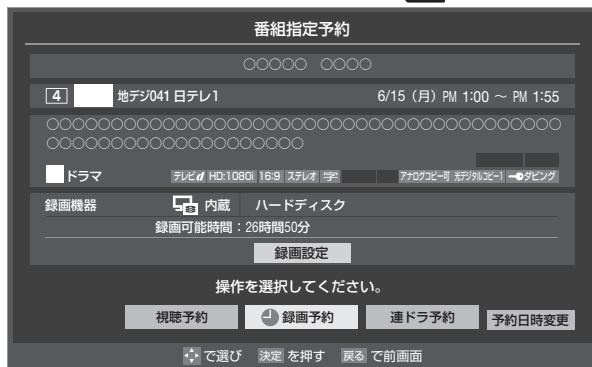
3 録画設定を変更する場合は、▲･▼で「録画設定」を選び、決定を押す

● 変更のしかたは、48 をご覧ください。

4 以下の操作で録画・予約をする

■ 現在放送中の番組を選んだ場合

❶ ◀･▶で「録画する」を選び、決定を押す

■ これから放送される番組を選んだ場合

❶ ▲･▼･◀･▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す

- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **視聴予約**
  指定した番組の視聴を予約します。録画はされません。「視聴予約」の場合はこれで予約完了です。
- **連ドラ予約** ➡ 46
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器が内蔵・USB・LANハードディスクの場合に表示されます。
- **毎予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器がレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合に「連ドラ予約」の代わりに表示されます。

■ 予約する日時を変更する場合

● 日時指定予約設定メニューへ移動します。

❶ ▲･▼･◀･▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す

● メッセージが表示されます。

❷ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

❸ 次ページの「日時を指定して録画・予約をする」の手順4以降の操作をする

■ 「以下の予約と重なっています。」が表示された場合

● 時間帯が重複して録画できない予約をした場合、「重複予約確認/取り消し」画面が表示されます。

● 2番組同時録画ができる機器の場合は❶,❷、できない機器の場合は❷の操作をします。

❶ 取り消す番組を▲･▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。

● ✔をつけた番組の予約が取り消されます。

❷ 赤 を押して、取消しを実行する

■ LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示された場合

❶ ▲･▼･◀･▶で「ユーザー名」を選び、決定を押す

● 「文字を入力する」102 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 次回の入力を省略したい場合は、▲･▼で「次回入力」の欄に移動し、◀･▶で「しない」を選ぶ

❸ ▲･▼･◀･▶で「入力完了」を選び、決定を押す

■ 「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を▲･▼で選び、決定を押す

❸ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

■ 「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ で「はい」を選び、を押す

● ダウンロード予約が取り消されます。

● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

● ダウンロードについては、103 をご覧ください。

● 本機の電源が「入」のときだけ、視聴予約をした番組に切り換わります。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。11（東芝レコーダー、視聴予約は除く）
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。
● レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画・予約をする場合は、42 の「お知らせ」もご覧ください。
● 予約の確認や取消しについては、63 をご覧ください。

日時を指定して録画・予約する

1 レグザリンクを押す

● レグザリンクのメニューが表示されます。

2 ▲・▼で「予約を確認する」を選び、決定を押す

● 予約リストが表示されます。

3 青を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

4 録画予約の日時を設定する

❶設定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で日時を設定する

● 6週間先まで指定できます。
● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷設定が終わったら、決定を押す

5 録画するチャンネルを設定する

❶設定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ

- 放送の種類………地デジ／ BS ／ CS
- 放送メディア……テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- チャンネル………指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷設定が終わったら、決定を押す

6 録画設定を変更する場合は、▲・▼で「録画設定」を選び、決定を押す

● 変更のしかたは、48をご覧ください。

7 ◀・▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す

■ メッセージなどが表示された場合

● 「以下の予約と重なっています。」、「予約数がいっぱいです。」、「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」のメッセージや、LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示された場合の操作については、前ページをご覧ください。

● 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。
● 予約の確認や取消しについては、63をご覧ください。

連ドラ予約をする

● 連続ドラマなどの番組を、最終回まで毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器が内蔵・USB・LANハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

番組表で連ドラ予約をする場合

1 番組表 を押す

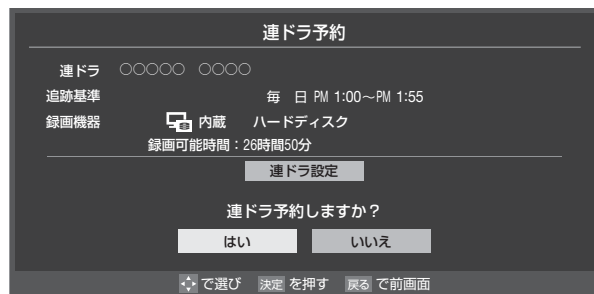
2 連ドラ予約したい番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

3 番組の録画先の機器を内蔵・USB・LANハードディスクのどれかに設定する

● 設定のしかたは、48 をご覧ください。

4 ▲･▼･◀･▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

5 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀･▶で「はい」を選んで決定を押す

● 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。

■「連ドラ設定」を変更する場合

❶ ▲･▼で「連ドラ設定」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す

項目	内容
追跡キーワード	番組名などを設定します。番組名とは関係ない「第○○話」や出演者名などは削除します。
追跡基準	番組の放送曜日と開始時刻を設定します。
録画機器	内蔵・USB・LANハードディスクのどれかを選びます。
上書き録画	上書き録画を「する」または「しない」を設定します。
保護	録画した番組の保護を設定します。
ワンセグ録画	ワンセグ録画を「する」または「しない」を設定します。ワンセグを放送している放送局の場合に設定できます。

❸ ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

1 クイック を押す

2 ▲･▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 左記の手順**5**の操作をする

連ドラ予約の動作について

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間を検索します。

● 追跡キーワードには、連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には、番組の放送日時が自動で設定されます。

● 正確に連ドラ予約で録画予約をするために、手順**5**で「追跡基準」の内容が正しく表示されているかを確認後、「追跡キーワード」を編集することをおすすめします。

● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
● 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画をします。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。その場合、追跡基準の日時に録画をすることもできます。
● ナイターなどでの直前の放送時間延長にも対応します。
● 映 などの囲い文字は、［映］などと表示されます。また、漢字の旧字など特殊な文字は表示されない場合があります。
● 予約の確認や取消しについては、63 をご覧ください。

ワンセグ放送の番組を録画する

● ワンセグ放送の番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画できます。録画した番組をSDメモリーカードにダビングして、携帯機器などで見ることができます。（ダビングについては、「レグザリンクを使う」の「ワンセグを持ち出す」をご覧ください）

1 番組表を押す

2 録画したい番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

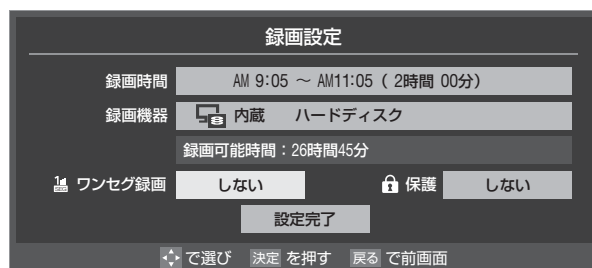
● 放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は「番組指定予約」画面が表示されます。

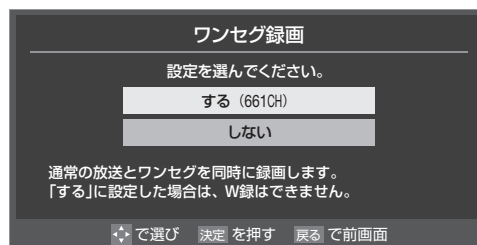
3 ▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定を押す

● 「番組指定録画」画面の場合に、「録画設定」が選べないときは、▲·▼·◀·▶で「見る」から「録画する」に移動すれば選べるようになります。
● 「録画機器」が「内蔵ハードディスク」または「USBハードディスク」になっていて、そのままでよければ次の手順**4**、**5**の操作は不要です。

4 ▲·▼·◀·▶で「録画機器」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「内蔵ハードディスク」または「USBハードディスク」を選び、決定を押す

6 ▲·▼·◀·▶で「ワンセグ録画」を選び、決定を押す

7 ▲·▼で「する（○○○CH※）」を選び、決定を押す

※ ワンセグのチャンネル番号が表示されます。チャンネル番号が複数表示された場合は、録画したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押します。

8 ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

9 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● ワンセグ番組の録画時は、番組指定録画で指定した番組の録画も同時に行なわれます。
● 録画番組をダビングしたり、確認をしたりする場合は、66 をご覧ください。

● 番組指定録画で指定した番組とワンセグ放送の番組が異なることがあります。
　※ ワンセグ録画リスト 66 には、録画開始時に放送されているワンセグの番組名が表示されます。
　※ ワンセグ再生中の画面表示や番組説明は、録画開始時に放送されているワンセグの情報が表示されます。
● ワンセグ放送は、6時間以上の番組は録画できません。
● 放送時間延長などの理由から、番組の終了時刻が確定していない場合、ワンセグ放送を録画できません。

録画設定を変更するとき

1 録画・予約画面で、「録画設定」を▲·▼で選び、決定を押す

2 設定する項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 ▲·▼で内容を選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

4 ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

■ 内蔵ハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	内蔵　ハードディスク	内蔵ハードディスクを選びます。
連ドラグループ名	——	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブに表示する連ドラグループ名を変更することができます。60
追跡キーワード	——	「連ドラ予約」46 をする番組の「キーワード」(番組名など)を設定します。
追跡基準	——	「連ドラ予約」をする番組の放送日時を設定します。
上書き録画	する/しない	上書き録画の設定をします。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	※1
ワンセグ録画	する(○○○CH)/しない	ワンセグ録画を「する(○○○CH)」または「しない」を設定します。ワンセグを放送している放送局の番組を指定したときに設定できます。ワンセグのチャンネル番号が複数表示された場合は、録画したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押します。47

■ USBハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	USB1 機器名など	録画先のUSBハードディスクを選びます。
連ドラグループ名	——	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブに表示する連ドラグループ名を変更することができます。60
追跡キーワード	——	「連ドラ予約」をする番組の「キーワード」(番組名など)を設定します。
追跡基準	——	「連ドラ予約」をする番組の放送日時を設定します。
上書き録画	する/しない	上書き録画の設定をします。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	※1
ワンセグ録画	する(○○○CH)/しない	ワンセグ録画を「する(○○○CH)」または「しない」を設定します。ワンセグを放送している放送局の番組を指定したときに設定できます。ワンセグのチャンネル番号が複数表示された場合は、録画したいチャンネルを▲·▼で選び、決定を押します。47

■ LANハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	LAN1/LAN2など	録画先のLANハードディスク（またはフォルダのショートカット）を選んでください。
連ドラグループ名	——	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブに表示する連ドラグループ名を変更することができます。60
追跡キーワード	——	「連ドラ予約」46 をする番組の「キーワード」（番組名など）を設定します。
追跡基準	——	「連ドラ予約」をする番組の放送日時を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	※1
上書き録画	する/しない	上書き録画の設定をします。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護を設定します。

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーで録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	HDMI1 機器名など	録画先の機器を選びます。
画質モード	録画機器の現在設定内容/録画機器の設定1 ～ 5/TS/SP/LP/MN1.4 ～ MN9.2	音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1 ～ 5」は、録画機器側で設定されている内容です。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。（画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」「TS」のときは、音質モードの設定はできません）
DVD 互換	切/入（主音声）/入（副音声）	DVD-Videoの作成を前提とする場合は、必ず「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定します。「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～5」「TS」のときは、選択できません。
放送時間	連動する/連動しない	※1

■ 録画出力端子に接続した機器（ビデオやDVDレコーダーなど）に録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	REC OUT 録画出力	「録画出力設定」（準備編45）で設定した内容が表示されます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	日時指定予約の場合、選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	
二重音声	主音声：副音声/主音声/副音声	二重音声番組の場合に、録画（録音）する音声を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	※1

※1
- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。（放送時間の繰上げには対応していません）
- 日時指定予約、連ドラ予約では設定できません。
- 「REC OUT 録画出力」（自動録画機能なしの場合）は、放送時間連動に対応していません。
- ほかの予約と時間帯の一部が重なった場合の優先順については52をご覧ください。
- 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

Eメールで録画予約をする

● 外出先などからEメールを使って、本機に録画予約をすることができます。
● 「Eメール録画予約設定」(準備編 86)、「インターネットを利用する場合の接続･設定」(準備編 67)をしてください。

パソコンや携帯電話で予約する

● パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。
※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。ほかの形式のメールには対応していません。
● 録画機器を指定することができます。

1 パソコンや携帯電話でメールを作成する

● メールの宛先は「Eメール録画予約設定」で登録したメールアドレスです。
● 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
● 件名は自由に入力できます。
※ ①～⑧**はすべて半角文字で入力してください。各項目の間には半角スペースを入れてください。**

例)メール作成

❶識別コード
● 「dtvopen」と入力します。(小文字)

❷パスワード
● 「Eメール録画予約設定」で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

❸録画日
● 西暦(4ケタ)月日(4ケタ)を入力します。(1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます)

❹録画開始時刻
● 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

❺録画終了時刻
● 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

❻録画チャンネル
● 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。
① **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
地上デジタル放送	TD
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS

② **略号に続けてチャンネル番号を入力する**
■ **地上デジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例：チャンネル番号：011の場合…TD011
※ 枝番を指定する場合は、3ケタのチャンネル番号と枝番を入力します。
(上の例で、枝番が3の場合…TD0113)
■ **BSデジタル／ 110度CSデジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例：BS103、CS001

❼録画先機器
● 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「Eメール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画されます。

録画機器	略号と番号	説明
内蔵ハードディスク	H1	——
REC-OUT (VHSやDVDなど)	V1	「録画出力設定」(準備編 45)の手順**3**で設定したモードになります。
LANハードディスク	L1～L8	数字は、機器の登録(準備編 58)に表示される番号です。
USBハードディスク	U1～U8	数字は、機器の登録(準備編 49)に表示される番号です。

※ LANハードディスクのショートカットは指定できません。
※ ユーザー名とパスワードの入力が必要なLANハードディスクでは、以下のときのみメールでの録画予約ができます。
• ユーザー名とパスワードを「次回入力しない」に設定しているとき。(42 手順**3**の下参照)
• 「Eメール録画予約設定」でそのLANハードディスクを録画機器として設定しているとき。

❽二重音声記録モード
● ビデオに音声多重番組を録画する場合は、記録モードを略号で入力します。
指定しない場合は主音声＋副音声になります。

記録モード	略号
主音声	M
副音声	S
主音声＋副音声	MS

● 「Eメール録画予約設定」の「予約アドレス登録」で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録してください。
● 録画予約するために本機に送ったEメールを見ることはできません。

「予約設定結果通知」を使用している場合

- 予約メールの送信後しばらくすると、メールが返信されます。「予約設定結果通知」の設定については、準備編の 87 をご覧ください。

■「予約を登録しました。」の返信メールの場合

- 以上で予約が完了です。

■ その他の返信メールの場合

- 以下の表をご覧ください。

返信メールの内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	前ページを参照して確認してください。
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	予約を登録できるのは6週間先までです。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルと録画設定では録画できません。	前ページを参照して確認してください。
予約を登録できませんでした。指定された機器は録画機器ではありません。	録画機器を指定してください。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	停電や何らかの原因で本機の電源が切れた場合などが考えられます。

Eメール録画予約の注意事項

- パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信し、サーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがあります。サーバーにコピーを残すなどの設定が必要です。
- メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
- メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
- 録画予約ができるのは、予約メール1通につき1件です。
- 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
- 予約時に録画機器の状態（接続、テープの挿入、ハードディスク残量）の確認は行われません。
- 録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
- メールのウイルス対策はされていません。
- 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
- 予約メールは、「POP3アクセス時刻」（準備編 86 ）で指定した時刻に受信します。
- 正しく設定されていることを確認するために、事前に正しく録画できることをお試しください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する

※ 携帯電話だけでできます。

- テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
- 録画先は「Eメール録画予約設定」（準備編 86 ）で設定した機器になります。

準備

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**（メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください）

※ iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。

※ QRコード（下図）からもメールの宛先を入手することができます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**（携帯電話の「お気に入り」に登録する）

メール録画予約のしかた

❶ **録画予約用のURL（上記の❸を参照）にアクセスする**

はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**

- 録画予約できるのはBSデジタル、110度CSデジタル、地上デジタル放送だけです。
- 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「Eメール録画予約設定」で設定したものを入力します。

- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
- テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
- ご利用には別途通信料が発生します。
- テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記「準備」❷で送られるメールに記載されています。

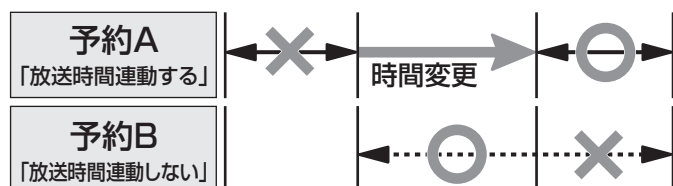
予約に関するお知らせ

予約番組の優先順位について

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

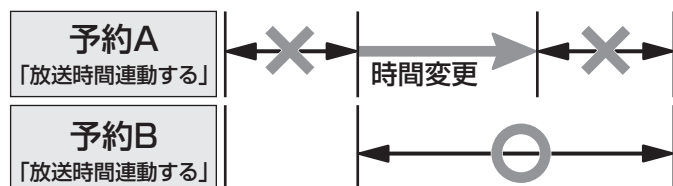
■「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

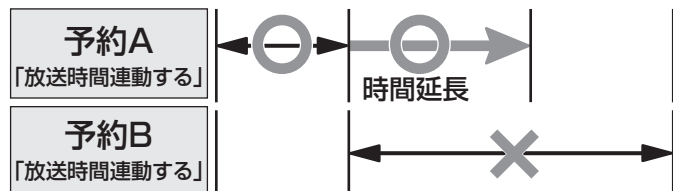
例「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

■「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

例「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

❷ 終了時刻が延長された場合

● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻延長に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ 内蔵・USBハードディスク以外のとき

● 最初に予約設定した番組が優先されます。

● 2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

■ 内蔵・USBハードディスクのとき

● 2番組同時録画ができます。

※ 予約した番組の録画先のどちらかが内蔵・USBハードディスク以外の場合は、2番組同時録画はできません。

予約の動作について

● 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約設定後

● 録画予約の場合は本体前面の「録画/ダビング」表示がオレンジ色に点灯します。

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了または■を押します。

● 予約した番組の放送開始時刻になると、自動的に予約した番組のチャンネルに切り換わります。2番組同時録画(W録)の場合は、あとから録画予約をした番組のチャンネルに切り換わります。

● 録画予約の場合は、本体前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯し、内蔵ハードディスクに録画中は本体前面の「ハードディスク表示」が緑色に点灯します。

● 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。決定を押し、暗証番号(準備編 88)を入力してください。

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」と表示されます。

● 「今すぐニュース」の録画中に、別の録画が始まると、「今すぐニュース」録画は中止されます。

● ●録画を押して録画しているときに予約した録画が始まると、●録画で開始した録画は中止されることがあります。両方の録画の録画先が内蔵・USBハードディスクの場合で合わせて2番組のときは、2番組同時録画になります。

予約した番組の放送終了時

● 本機を通常どおり使用できます。

● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の「録画／ダビング」表示が消えます。ほかにも録画予約がある場合は、「録画／ダビング」表示はオレンジ色に点灯したままです。

はじめに

レグザリンクとは

- 内蔵ハードディスクの録画番組や、本機に接続したハードディスク(USB·LAN)、SDメモリーカードなどの録画番組や写真(画像)などを本機のリモコン操作で再生したり、録画番組をダビングしたりすることができます。
- 本機に接続したHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)の録画機器や再生機器、パソコン、AVシステム機器などの基本操作が本機のリモコンでできます。
- 本機に接続したレグザリンク対応の東芝レコーダーに、本機の操作で録画・予約ができます。(内容については「録画・予約をする」の章をご覧ください)

HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機と東芝製のレコーダー、パソコン、ハイビジョンムービーカメラなどHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器をHDMIケーブルでつなぐことで利用できます。また、東芝推奨のAVシステム機器などでも利用することができ、それらの接続機器を本機のリモコンで操作することができます。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」(準備編 43)が必要です。
  ※ 接続機器側の設定が必要です。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 推奨機器以外の機器をHDMI接続した場合にレグザリンク対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。

  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

ワンタッチプレイについて

- レグザリンク対応機器(HDMI連動機能対応機器)を操作すると、機器に連動して本機の電源が「入」になり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」が必要です。

システムスタンバイについて

- 本機のリモコンや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が「待機」になったときに、本機からのシステムスタンバイが働き、接続したHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器も同時に電源が「待機」になります。接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源が待機状態になると、本機の電源も待機状態になります。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」が必要です。

HDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器について

AVシステム機器(AVアンプなど)について

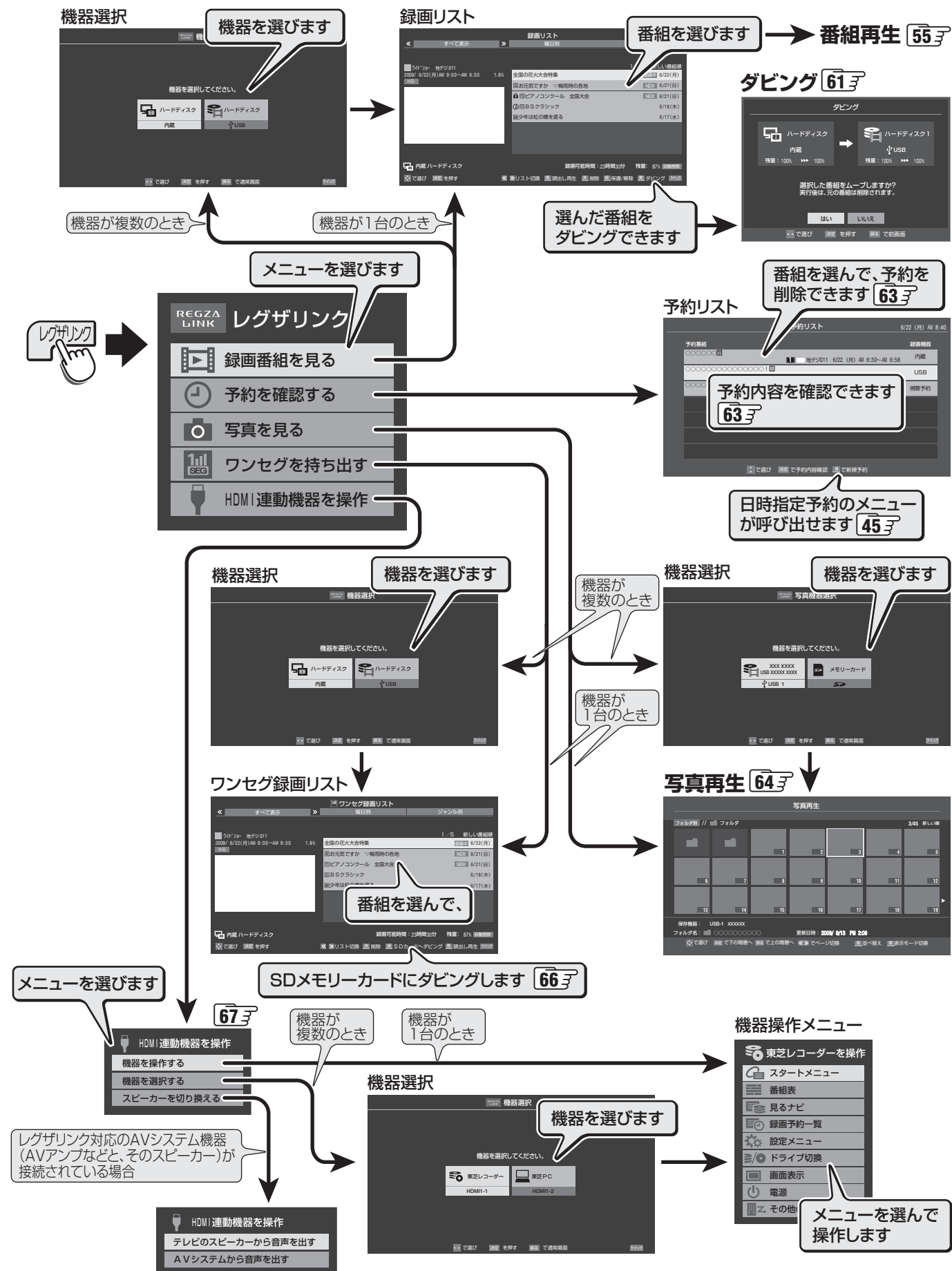
- AVシステム機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。
- AVシステム連動操作中にAVシステム機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

オンキヨー製AVシステム機器をHDMI連動機能を利用して連動動作させる場合のお願い

対象機種:オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

- AVシステム機器の電源プラグをコンセントに差す前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにAVシステムが正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、AVシステム機器の電源切/入をしてください。
  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とAVシステム機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

レグザリンクのメニュー

● [レグザリンク]を押すとレグザリンクのメニューが表示されます。
以下は操作の概要です。ここに記載されていない内容などを含めて、詳細については各ページをご覧ください。

録画番組を見る

- 内蔵・USB・LANハードディスクやDLNA認定サーバー、SDメモリーカードなどに録画されている番組を見るには、以下の操作をします。
- 機器の電源を入れておいてください。
- SDメモリーカードの挿入口は、5 ☞をご覧ください。

- 再生中は、機器を取りはずしたり、本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが破損される場合があります。

1 レグザリンク を押す

2 ▲·▼で「録画番組を見る」を選び、決定 を押す

- 対象の機器が2台以上ある場合は、機器選択画面が表示されます。
- 録画リスト画面が表示された場合は、手順**4**に進みます。

※「検索中にエラーが発生しました。」が表示された場合は、機器の電源がはいっているか、正しく接続されているかなどを確認してください。LANハードディスクの場合は、ハードディスクの名前や共有フォルダの名前が変更されたとき、共有フォルダが削除されたときなどにもアクセスできなくなります。

3 ◀·▶（機器の台数によっては▲·▼·◀·▶）で機器を選び、決定 を押す

- 録画リストが表示されます。

※ 2番組同時録画をしているときは、内蔵・USBハードディスク以外の録画リストは表示されません。

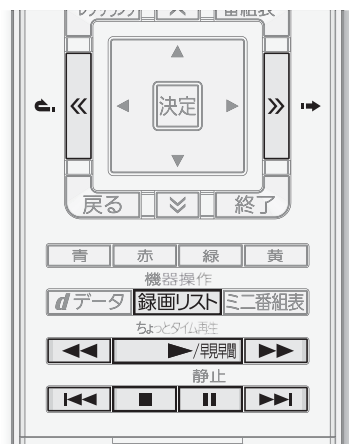
4 見たい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
  - 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
  - 以前、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生機能）。機器によっては番組の冒頭から再生される場合があります。
- 「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組が再生されます（追っかけ再生機能）。予約番組の録画中であっても、録画が終了するまで待たずに再生することができます。
  ※ LAN端子（中央）につないだLANハードディスクでは、録画中の再生ができない場合があります。
  ※ 2番組同時録画をしているときには、録画中の再生ができない場合があります。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。

内蔵・USB・LANハードディスクなどの録画リスト

- 降雨対応放送中の番組を録画した場合、早送り再生や早戻し再生の映像は正しく表示できません。
- LAN端子（中央）につないだハードディスクで録画・再生する場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては、録画や再生（録画中の再生を含む）ができないことがあります。
- 録画中の番組を再生しているときに早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、録画機器によっては再生を停止することがあります。
- 録画中の番組再生での早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- DLNA認定サーバーによっては「再生」と「再生停止」しかできない場合があります。また、再生時間などが表示されないことがあります。
- 録画リストでできる操作については、57☞～60☞をご覧ください。

録画番組を見る つづき

録画番組再生中にできるリモコン操作

機器 / ボタン	内蔵ハードディスク／USBハードディスク	LANハードディスク／SDメモリーカード／DLNA認定サーバー
▶/早見早聞	録画番組の再生を開始します。 • 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。（DLNA認定サーバーでは「早見早聞」はできません） • 放送を見ているときに押すと、最後に見ていた録画番組が再生されます。（※SDメモリーカード、DLNA認定サーバー内の番組は除く）	
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。	
■	再生を停止し、録画リストに戻ります。	
▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります） ※ ワンセグ番組は早送りできません。	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります） ※ SDメモリーカードに記録した番組は、早送りできません。
◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります） ※ ハードディスク（内蔵･USB）に録画したワンセグ番組と、SDメモリーカードに記録した番組は早戻しできません。	
»	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 先に進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 45）で変更できます。	
«	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」（準備編 45）で変更できます。	
▶▶❙	録画日時が一つ次の番組を再生します。	
❙◀◀	再生中の番組の先頭に戻って再生します。 • 再生してから5秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。	
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。	

● 放送番組視聴時に、▶/早見早聞で内蔵･USB･LANハードディスクの録画済番組が再生されない場合は、再生する番組を録画リストで選び直してください。

内蔵･USB･LANハードディスクでの再生について

● 以下の場合は、録画番組の冒頭部分を約4秒間飛ばして再生がはじまります。
- 録画番組をはじめて再生するとき
- スキップ（❙◀◀、▶▶❙）で別の番組に切り換えたとき
- 最後まで再生した録画番組をもう一度再生するとき
- 録画リストの再生画面で再生するとき
- 「番組の冒頭から再生をする」57 の操作をしたとき（または、クイックメニューの「頭出し再生」をしたとき）

● ❙◀◀、▶▶❙でスキップする順番は、録画リストの番組の並び順（新しい番組順、古い番組順）に関係なく、日時の古い順になります。

録画リストについて

- 送信側の情報によっては、番組放送時間などが録画リストに正しく表示されない場合があります。
- 録画開始した直後の番組は、録画リストには表示されません。録画開始から数分後に録画リストに表示されます。
- 録画リストに表示できる最大数は、内蔵ハードディスクとUSBハードディスクは500番組、LANハードディスクはフォルダ数と番組数を合わせて1000までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によって制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
- LANハードディスクに録画した番組をパソコンなどで編集すると、録画リストに表示されない場合があります。
- 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
- 番組の表示時刻は実際の録画情報から算出しているため、ハードディスクの録画動作時間とは一致しない場合があります。

録画リストでできる操作

録画リストの表示のしかたを変える

- 録画リストを「すべて表示」から「曜日別」や「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることができます。

❶録画リスト画面で|«|、|»|を押す

※ DLNA認定サーバーでは「すべて表示」と「曜日別」が切り換えられます。

- **すべて表示**……すべての録画番組を表示します。
- **曜日別**……録画した曜日ごとに表示します。
- **ジャンル別**……ドラマや映画などのジャンルごとに表示します。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラグループ別**……「連ドラ予約」46 の予約ごとに表示します。「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選べません。

❷表示する曜日や項目などのタブを◀·▶で選ぶ

※「すべて表示」以外は、タブが表示されます。

例）曜日別の録画リストの場合

番組の冒頭から再生をする

❶見たい番組を▲·▼で選び、青を押す

録画番組やフォルダを削除する

- 保護されている番組は、保護を解除しないと削除できません。

■ 一つの番組を削除する

❶削除する番組を▲·▼で選び、赤を押す

❷▲·▼で「1件削除」を選び、決定を押す

❸確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❹「削除を完了しました。」と表示されたら、決定を押す

■ 録画リストの表示について
- フォルダは「すべて表示」のときにだけ、表示されます。
- 「ジャンル別」は、そのときに録画リストに表示されている番組だけが分類の対象です。

■ 録画の削除について
- ごみ箱機能のあるLANハードディスクでは、削除したファイルはゴミ箱フォルダの中に移動します。ファイルを完全に削除する場合は、ゴミ箱の中を空にして（削除して）ください。

録画番組を見る つづき

複数の番組を削除する

❶録画リスト画面で、赤を押す

❷▲·▼で「複数削除」を選び、決定を押す

- 複数選択が表示されます。

❸削除する番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に✔をつけます。
- 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青を押します。

❹すべて選んだら、赤を押す

- 一度に削除できるのは、128番組（フォルダ）までです。

❺確認画面が表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❻「削除を完了しました。」と表示されたら、決定を押す

グループ内の番組をすべて削除する

❶録画リスト画面で、赤を押す

❷▲·▼で「グループ内全削除」を選び、決定を押す

❸確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❹「削除を完了しました。」と表示されたら、決定を押す

録画番組を保護する

- 録画した番組の削除やムーブができないように設定します。

※ 録画中にこの操作はできません。

※ 機器によっては、保護できないことがあります。機器の取扱説明書をご覧ください。

❶保護する番組を▲·▼で選び、緑を押す

- 緑を繰り返し押すたびに保護と解除が交互に切り換わります。
保護されている番組を選ぶと「保護解除」が表示されます。
- 保護された番組にはアイコン「🔒」がつき、削除やムーブはできなくなります。

番組を並べ替える

❶クイックを押す

❷▲·▼で「並べ替え」を選び、決定を押す

❸▲·▼で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、決定を押す

- 指定した順に番組が並べ替えられます。

録画番組を検索する

- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索できます。
- 録画番組のグループ（タブ）ごとに検索条件を設定できます。

※ ハードディスク（内蔵・USB・LAN）では、録画中の検索はできません。

❶クイックを押す

❷▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

- 検索画面が表示されます。

❸検索するグループのタブを◀·▶で選ぶ

❹検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」、「チャンネル」の指定方法は、「見たい番組を検索する」16 と同じです。
- 上記以外の項目は以下の手順で指定します。

日付を指定するとき

① ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

② ◀·▶で左の欄に移動し、▲·▼で「指定する」を選ぶ

③ ◀·▶で中央の欄に移動し、▲·▼で検索開始日を選ぶ

④ ◀·▶で右の欄に移動し、▲·▼で検索終了日を選ぶ

⑤ 指定が終わったら▲·▼·◀·▶で「設定完了」選び、決定を押す

検索場所を指定するとき（LANハードディスクのみ）

- LANハードディスクの場合は、検索する場所（フォルダ）を指定することができます

① ▲·▼·◀·▶で「フォルダ」を選び、決定を押す

- 選んだフォルダの下の階層のフォルダ一覧が表示されます
- 上の階層に移動する場合は、「上の階層へ」を選び、決定を押してください。
- 操作を繰り返して、検索するフォルダをすべて選ぶ

② ▲·▼·◀·▶で「この中を検索」を選び、決定を押す

❺▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかります。
- 選択中のタブのグループに、手順❹で指定した検索条件が上書きで保存されます。

❻検索結果が表示されたら、▲·▼で番組を選ぶ

❼決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生中のリモコン操作については56 をご覧ください。
- 保護番組リピート再生は、検索結果画面の古い順になります。

リピート再生設定

● リピート再生や保護番組リピート再生の設定ができます。

❶ クイック を押す

❷ ▲･▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- リピートオフ………………… 通常の再生をします。
- リピート再生 ……………一つの番組を繰り返して再生します。
- 保護番組リピート再生 …… 保護している番組を順次再生します。再生される順番は録画リストの古い番組順になります。

※ 設定した「リピート再生」、「保護番組リピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際にカウンター表示で確認できます。

※ 録画中の番組はリピート再生できません。

フォルダ作成（LANハードディスクのみ）

※ 録画中にはできません。

❶ クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「フォルダの作成」を選び、決定を押す

❹ 文字入力画面でフォルダの名前を入力する

● 半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,"は入力できません。

● 文字入力のしかたは、102 をご覧ください。

❺ ◀･▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

● 「はい」を選ぶと、新しいフォルダとショートカットが作成されます

● 「いいえ」を選ぶと、新しいフォルダのみが作成されます。

フォルダ名の変更（LANハードディスクのみ）

※ 録画中にはできません。

※ 機器によってできない場合があります。

❶ 名前を変更するフォルダを▲･▼で選び、クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「フォルダ名の変更」を選び、決定を押す

❹ 文字入力画面でフォルダの名前を入力する

● 半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,"は入力できません。

● 文字入力のしかたは、102 をご覧ください。

フォルダ間ムーブ（LANハードディスクのみ）

● 同一機器内で録画番組のムーブができます。

※ 録画中にはできません。

❶ ムーブする番組を選び、クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選んで決定を押し

❸ ▲･▼で「フォルダ間ムーブ」を選んで決定を押す

● 番組の情報を見るときは、黄 を押します。

❹ 移動先のフォルダを選び、「ムーブ先決定」を押す

❺ 確認画面で「はい」を選び、決定を押す

● ムーブが始まります。

● 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青 を押します。

■ 複数の番組をムーブする場合

① 確認画面で、「複数選択画面へ」を▲･▼で選び、決定を押す

② 「録画リスト」でムーブする番組を▲･▼で選び、決定を押す

③ ムーブする番組をすべて選んだら、緑 を押す

④ 確認画面が表示されたら、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

※ ムーブ中に他の操作をしないでください。

※ ムーブ中は本体前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

ショートカット作成（LANハードディスクのみ）

● ショートカットとは、録画番組が保存されているLANハードディスクの場所（フォルダ）への入口です。

※ 録画中は作成できません。

❶ ショートカットを作るフォルダを▲･▼で選び、クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「ショートカット作成」を選び、決定を押す

● ショートカットが「機器選択」画面に作成されます。作成できる数は最大16個です。

■ 保護番組リピート再生について

● 保護番組リピート再生をする際は、再生の切り換わりのときにまれに音声がひずむことがあります。

● 保護番組リピート再生時であっても、録画リストの全番組が再生番組の対象となります。

● 保護されていない番組を選んだ場合は、その番組だけが繰り返し再生されます。

● 早戻しで番組の先頭に戻ると一時停止します。早送りで次の保護された番組に移動すると通常再生になります。

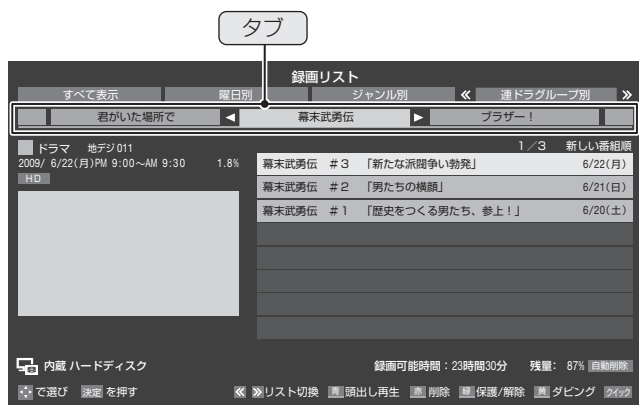
■ ショートカット作成について

● ショートカット作成後にフォルダの名前を変えると、ショートカットからアクセスできなくなります。

録画番組を見る つづき

連ドラグループ名の変更

※ DLNA認定サーバーにはありません。
- 録画リストの表示モードを「連ドラグループ別」にした場合に、連ドラグループのタブ名を変更することができます。
- 名前を変更すると、予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- 番組の録画中に名前を変更することはできません。

❶「連ドラグループ別」の録画リスト画面で、名前を変更するタブを◀·▶で選ぶ

❷ クイック を押す

❸ ▲·▼で「連ドラグループ名の変更」を選び、決定を押す

❹ 文字入力画面で連ドラグループのタブ名を変更する

- 文字入力のしかたは、102 をご覧ください。
- 半角カタカナは入力できません。

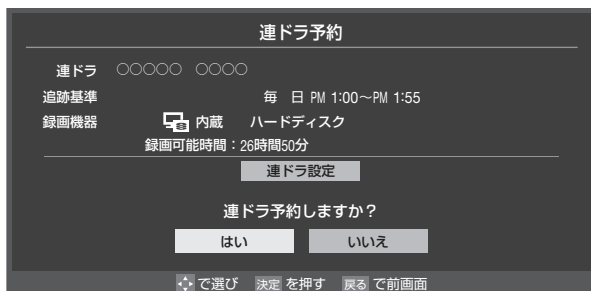
連ドラ予約

- 録画リストに表示されている番組を選んで、連ドラ予約に設定することができます。

❶ 連ドラ予約にする番組を▲·▼で選び、クイック を押す

❷ ▲·▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

❸「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

- 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。

- 「連ドラ設定」を変更する場合は、「連ドラ設定を変更する場合」46 をご覧ください。

機器選択

- 録画リストの表示中に、使いたい機器を変更するには以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ ▲·▼で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

❸ 使いたい機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

ハードディスクの残量確認

- ハードディスクの残量を画面で確認できます。

※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。

❶ 録画リスト画面で、クイック を押す

❷ ▲·▼で「ハードディスク残量表示」を選び、決定を押す

❸ 残量表示画面を消すには、決定を押す

録画番組をダビングする

● 本機で内蔵・USB・LANハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
- 内蔵・USB・LANハードディスクへのダビングは、ムーブ(移動)のみできます。
- SDメモリーカード、DTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。

※ SDメモリーカードにダビングできるのはワンセグ番組だけです。
ワンセグ番組を1件だけSDメモリーカードにダビングする場合は以下の操作でできますが、複数のワンセグ番組をSDメモリーカードにダビングする場合は、「ワンセグを持ち出す」66 をご覧ください。
※ 内蔵・USB・LANハードディスクからDTCP-IP対応サーバーやSDメモリーカードへダビングをした番組は、内蔵・USB・LANハードディスクに戻すことはできません。
※ 録画中はダビングできません。
※ ダビング中に機器の接続を変更しないでください。

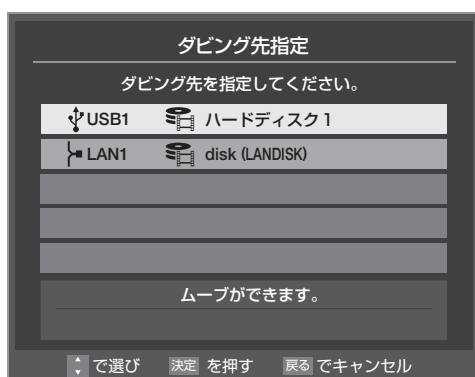
ダビングの操作

1 レグザリンクを押す

2 ▲·▼で「録画番組を見る」を選び、決定を押す

3 録画リスト画面で、ダビングする番組を▲·▼で選び、黄を押す

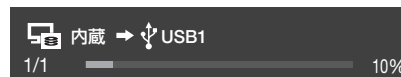
4 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

5 ダビング先を▲·▼で選び、決定を押す
- ● ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。
- ※ ワンセグアイコンのついた番組が選択されていて、「複数ダビング」が選択されている場合、SDメモリーカードをダビング先に指定することはできません。

6 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

❶ 複数選択画面で、ダビングする番組を▲·▼で選んで決定を押す
- ● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✔を付けた番組がダビングされます。
- ● 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青を押します。

❷ ダビングする番組をすべて選んだら、黄を押す
- ● 一度にダビングできるのは16番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

※ 番組のダビング中は本体前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。
● ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。

- ● 同一機器内のフォルダ間でダビングをするときに、状況を表すバーが表示されないことがあります。
- ● ダビング中に、SDメモリーカードを本機から抜いたり、本機の電源を切ったり、停電が発生したりした場合などは、SDメモリーカードに正常にダビングできない場合があります。

録画番組をダビングする つづき

レグザリンクダビング

● DTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーにLAN経由でデジタルダビングをすることができます。
● 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

❶本機とDTCP-IP対応サーバーをLANで接続する

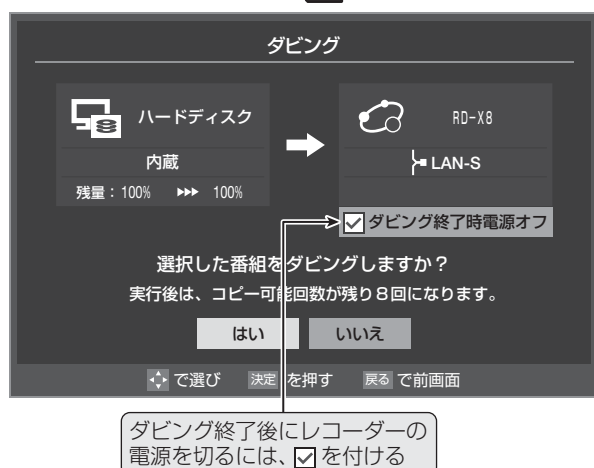
● 「応用的なつなぎかた」(準備編 53)の接続例を参考にしてください。DTCP-IP対応の東芝レコーダーもDTCP-IP対応サーバーと同じように接続してください。

❷ネットワークの設定をする

● 「DLNA認定サーバーについて」(準備編 57)の「設定の手順」を参考にしてください。

ダビングの操作

● 前ページの「ダビングの操作」と同じです。
手順**5**で、LAN接続したDTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定してください。
※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認してください。

● DTCP-IP対応の東芝レコーダーの場合は、ダビングが終わったときに東芝レコーダーの電源が切れるように設定することができます。
- 対応機種 形名
RD-X8、RD-S503、RD-S303、RD-X9、RD-S1004K、RD-S304K
- 手順**7**の「ダビング」画面で、▲·▼·◀·▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して☑を付けます。

アナログダビング

● 本機で内蔵・USB・LANハードディスクに録画した番組を、ビデオやDVDレコーダーなどにアナログダビングすることができます。

準備

❶本機の音声出力(固定/可変)/録画出力端子に録画機器をつなぐ

● 「ビデオやDVD、ブルーレイディスクレコーダーをつなぐ」(準備編 35)を参照してつないでください。

❷本機の「録画出力/音声出力端子設定」をする

● 「端子設定」(準備編 44)を「録画出力」に設定します。
● 「録画出力設定」(準備編 46)を「再生時出力」に設定します。

ダビングの操作

❶録画機器側で録画を開始する

❷ レグザリンク を押す

❸録画リスト画面で、ダビングする番組を▲·▼で選んで決定を押す

● 本機の録画番組再生が始まり、機器に録画されます。

❹本機の録画番組再生が終わったら、録画機器側の録画を止める

● 上記の手順の場合、ダビング先の録画番組冒頭に空白部分ができます。空白を少なくするには、手順❸と手順❶を同時に操作するなどの工夫をしてみてください。

お知らせ・ご注意

● SD画質(480i)、アナログ2チャンネル音声で録画されます。字幕などは録画されません。
● 再生時間と同じだけダビングに時間がかかります。
● ダビング中に本機で一時停止や早送りなどの操作をすると、その映像·音声でそのまま録画されます。その他、本機側で操作をすると、録画出力端子から再生信号が出力されなくなることがありますので、何もしないでダビング終了まで待つことをおすすめします。
● 録画出力端子からの録画予約が設定されていた場合、その録画の開始時刻になるとデジタル放送番組の映像·音声に切り換わります。

予約を確認する

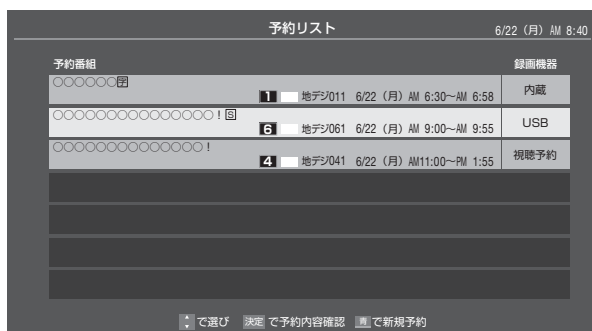
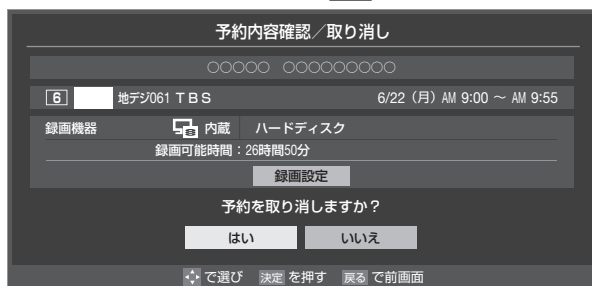
● 予約の確認と取消しをすることができます。
※ 予約を取り消す場合、録画出力端子に接続した自動録画機能のない機器で予約したときは、機器側でも予約を取り消してください。以下の操作で予約を取り消しても機器側の予約は、取り消されません。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認できません。機器側で確認や取消しの操作をしてください。

予約の確認と取消し

1 レグザリンク を押す

2 ▲·▼で「予約を確認する」を選び、決定を押す

● 予約リストが表示され、予約の確認ができます。
● 予約を取り消したり、録画設定を変更したりする場合は、手順**3**、**4**の操作をします。

3 予約を取り消す番組を▲·▼で選び、決定を押す

4 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● 「録画設定」の内容を変更する場合は、「録画設定」を選んでください。（48 をご覧ください）

5 終わったら、終了を押す

連ドラ予約番組の確認と取消し

● 「連ドラ予約」をした番組をリストで確認したり、予約を取り消したりすることができます。

1 左記の手順**1**、**2**の操作をする

2 連ドラ予約をした番組を予約リストから▲·▼で選び、決定を押す

● 選んだ予約番組の「予約内容確認」画面が表示されます。
※ 8日以上先の番組は表示されません。

3 予約を取り消す場合は、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

4 終わったら、終了を押す

写真を見る

● SDメモリーカード、USB機器(デジタルカメラ、メモリーカードなど)、LANハードディスク、DLNA認定サーバーに記録されている写真(JPEGファイルの画像)を見ることができます。
● 各機器の接続・設定については準備編の「外部機器の接続と設定」34 の章をご覧ください。

◆再生できる写真(静止画ファイル)

圧縮方式	JPEG準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2準拠
画素数	6000×4000ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB以内

◆対応しているファイルシステム(USB 機器のPC 接続モード時)

• FAT12/FAT16/FAT32

◆使用できるSDメモリーカード

• 128MBから2GBまでのSDメモリーカード
• 4GBから32GBまでのSDHCメモリーカード
※ マルチメディアカード(MMC)、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
※ すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

◆対応しているUSB機器の規格

• Universal Serial Bus Mass Storage Class
(この取扱説明書ではPC接続モードと表記します)
※ 機器によってはマスストレージクラス、MassStorageなどと表記されていることがあります。
• Universal Serial Bus Still Image Capture Device
(この取扱説明書ではプリンター接続モードと表記します)
※ 機器によってはPTPなどと表記されていることがあります。
※ すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。

◆写真の表示形式

• **マルチ表示**(次ページ参照)
写真やフォルダをサムネイル(一覧表) で表示します。
通常表示とシームレス表示の2種類があります。
• **シングル表示**
1枚の写真を画面に表示します。
• **スライドショー表示**
シングル表示の写真を、自動で順番に表示します。

◆各機器で対応しているマルチ表示の形式

USB機器	PC接続モード	• 通常表示 • シームレス表示(DCIMフォルダがあるときのみ)
	プリンター接続モード	• シームレス表示
LANハードディスク		• 通常表示
DLNA認定サーバー		• 通常表示
SDメモリーカード		• 通常表示 • シームレス表示(DCIMフォルダがあるときのみ)

※ シングル表示、スライドショー表示は、どの機器でもできます。
● DCIMフォルダとは、デジタルカメラで写真を撮ったときに、その画像ファイルが保存されるフォルダのことです。

ご注意
●再生中は、機器を取りはずしたり、本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが破損する場合があります。

データをバックアップすることをおすすめします。
本機で使用したことによって、データが変化・消失した場合の補償はできませんので、本機で使用する前にあらかじめデータのバックアップをとってください。

1 を押す

2 ▲·▼で「写真を見る」を選び、決定を押す

3 操作する機器を◀·▶で選び、決定を押す
● 写真やフォルダがマルチ表示されます。
● 再生機器が1台しか接続されていない場合は、機器のマルチ表示画面が表示されます。
※ LANハードディスクを選んだ場合で、LANハードディスクにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたときは、入力してください。(42 手順3の下をご覧ください)

● DLNA認定サーバーに保存された写真は、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。
● パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。

4 以下の操作で写真を見る

■ 1枚だけ拡大して表示する（シングル表示）

❶ ▲･▼･◀･▶で写真を選び、決定を押す

- フォルダの中の写真を見るには、 ▲･▼･◀･▶でフォルダを選び、決定を押してフォルダを開きます。
- 上の階層に戻るときは戻るを押します。
- ◀･▶で前や次の写真を選びます。

■ 自動的に順番に表示する（スライドショー表示）

❶ マルチ表示やシングル表示のときに 緑 を押す

- 選んでいる写真から順番に表示されます。
- スライドショーを一時停止するには 青 を押します。 青 をもう一度押すと再び再生します。
- 見たい写真を◀･▶で選ぶことができます。
- マルチ表示に戻るときは 緑 を押します。
- シングル表示に戻るときは 黄 を押します。

5 写真を見終わったら、終了を押す

マルチ表示（通常表示）

◀ や ▶が表示された場合は、
«、»でページを切り換えることができます。

総ファイル数（ファイルの検索中は「---」と表示されます）

写真再生

フォルダ別 // フォルダ　3/45 新しい順

保存機器： USB-1 XXXXXX

フォルダ名： ○○○○○○○○○○　更新日時：2009/ 8/13 PM 2:09

で選び 決定 で下の階層へ 戻る で上の階層へ «» でページ切換 青 並べ替え 黄 表示モード切換

写真が保存されている機器
選択されているファイルやフォルダの情報

- 複数の写真と、同じ階層にあるフォルダが合計1000枚まで表示されます。

※ 階層が深い場合や、ファイル名、フォルダ名が長い場合は表示できないことがあります。

カラーボタンでできる操作

■ 並べ替え

- マルチ表示（通常表示）の写真を並べ替えることができます。

※ DLNA認定サーバーは、並べ替えができない場合があります。

❶ 通常表示のときに 青 を押す

- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- 先にフォルダが並び、次に写真が並びます。

■ 写真を回転させる

❶ シングル表示のときに 赤 を押す

- 赤 を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。
- 回転した状態は保存されません。

■ スライドショーの表示時間の間隔を設定する

- 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。

❶スライドショー表示のときに、 赤 を押す

❷ ▲･▼･◀･▶で表示時間の間隔を選び、決定を押す

マルチ表示（シームレス表示）

- 複数の写真が表示されます。（フォルダは表示されません）
- ファイル数が多い場合や、JPEG以外のファイルがある場合は表示に時間がかかることがあります。

※ PC接続モードの場合は、第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にある第6階層までのフォルダに保存されているJPEGファイルのみが最大1000ファイルまで表示されます。

※ プリンタ接続モードの場合は、JPEGファイルだけが最大1000ファイルまで表示されます。

- USB機器のPC接続モードとSDメモリーカードの写真を見ている場合には、 黄 を押して通常表示とシームレス表示を切り換えることができます。

レグザリンクを使う　写真を見る

- 前ページ手順2で写真以外の情報表示を消すには画面表示を押します。押すたびに表示と非表示が切り換わります。
- 写真（JPEGファイル）の表示中は、音声出力（固定/可変）/録画出力端子から映像、音声は出力されません。
- 写真再生中は、「映像メニュー」27を「おまかせ」、「あざやか」、「写真」、「メモリー」の中から選択することができます。

ワンセグを持ち出す

● 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画したワンセグ放送の番組の内容を確認したり、視聴したり、SDメモリーカードにダビングして携帯電話などで視聴したりすることができます。
※ ワンセグ録画中にこの操作はできません。

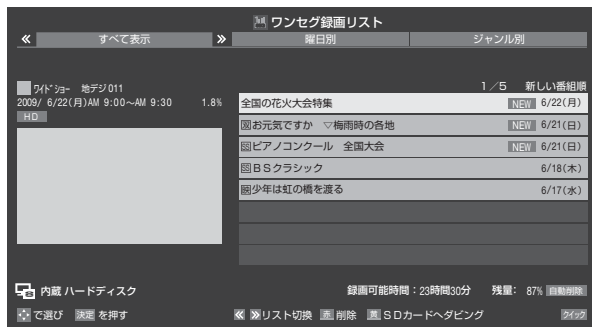
1 [レグザリンク]を押す

2 ▲·▼で「ワンセグを持ち出す」を選び、[決定]を押す

● USBハードディスクが接続されている場合は機器選択メニューが表示されます。
● USBハードディスクが接続されていない場合はワンセグ録画リストが表示されます。

3 ワンセグ番組が録画されている機器を▲·▼で選び、[決定]を押す

● USBハードディスクが接続されていない場合は、この操作はありません。

4 ワンセグ録画リストで以下の操作をする

※ 送信側の番組情報によっては、番組放送時間が正しく表示されない場合があります。

ワンセグ録画番組を視聴するとき

❶ 見たい番組を▲·▼で選び、[決定]を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかることがあります)
● ワンセグ番組の再生中に早送り、早戻しはできません。

ワンセグ録画番組をSDメモリーカードにダビングするとき

● SDメモリーカードが書込禁止(ライトプロテクト)になっているときは、あらかじめ解除しておいてください。

❶ 本機にSDメモリーカードを挿入する

❷ ダビングする番組を▲·▼で選び、[黄]を押す

● ダビングメニューが表示されます。

❸ ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、[決定]を押す

❹「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① 複数選択画面で、ダビングする番組を▲·▼で選んで[決定]を押す
• ダビングする番組に✔がつくようにします。

② ダビングする番組をすべて選んだら、[黄]を押す
• 一度にダビングできるのは16番組までです。

❺「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで[決定]を押す

• ダビングが始まります。

※ ダビング中は、本機からSDメモリーカードを抜かないでください。

使用できるSDメモリーカード

● 128MBから2GBまでのSDメモリーカード
● 4GBから32GBまでのSDHCメモリーカード
※ マルチメディアカード(MMC)、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
※ SDメモリーカードにダビングした番組を携帯機器などで再生する場合は、本機と携帯機器の両方が対応している容量のSDメモリーカードを使用してください。
※ すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

SDメモリーカードを初期化するには

❶ 本機にSDメモリーカードを挿入する

❷ [設定メニュー](ふたの中)を押す

❸ ▲·▼で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押す

❹ ▲·▼で「SDメモリーカード設定」を選び、[決定]を押す

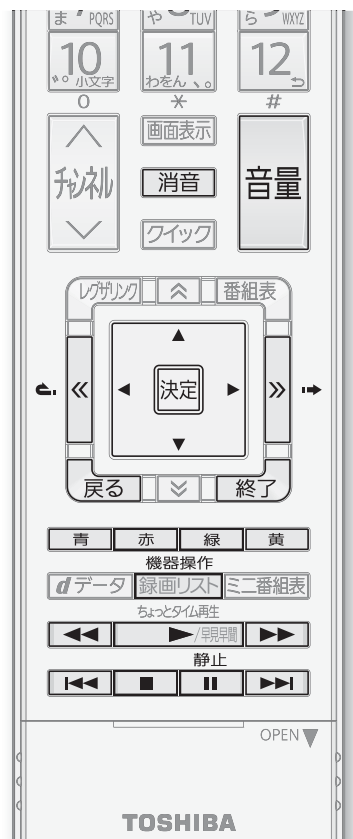
❺ ▲·▼で「SDメモリーカードの初期化」を選び、[決定]を押す

❻ 初期化が終わったら、[終了]を押す

● 本機でワンセグ放送の番組を再生する場合、字幕は表示されません。
● 本機で初期化していないSDメモリーカードにダビングをした場合は、携帯機器で再生できない場合があります。
● SDメモリーカードにダビング可能な番組数は最大99番組、1番組あたりの最大時間は6時間です。
● 本機でSDメモリーカードにワンセグ録画した番組を視聴できる携帯機器　－2009年10月現在－
形名：携帯電話(au)：T001、W65T、W64T、W62T、W61T、W56T、W54T、W53T、W52T、biblo、T002
携帯電話(ソフトバンク)：921T、920T、912T　デジタルオーディオプレーヤー：gigabeat V41(L/N/K)、V81(K)

HDMI連動機器を操作する

本機のリモコンでできる操作

● HDMI連動機能対応（レグザリンク対応）機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。

▶/早見早聞 再生
- 番組を再生します。

Ⅱ 一時停止
- 再生中に押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

≫ ワンタッチスキップ
- 再生中に押すと少し先に進んで再生します。

≪ ワンタッチリプレイ
- 再生中に押すと少し戻って再生します。

■ 停止
- 再生中に押すと再生を停止します。
- 録画中に押すと録画を停止します。

終了 終了
- 操作の途中で押すと、操作を中断します。

|◀◀ ▶▶| スキップ
- |◀◀は、前に戻って頭出し再生します。
- ▶▶|は、一つ先に進んで頭出し再生します。

▶▶ 早送り
- 再生中に押すと早送りします。

◀◀ 早戻し
- 再生中に押すと早戻しします。

■ リモコン動作対応表

本機のリモコンボタン	東芝レコーダー	東芝パソコン	AVシステム機器
▶/早見早聞	○	○	—
Ⅱ	○	○	—
■	○	○	—
|◀◀ ▶▶|	○	○	—
◀◀ ▶▶	○	○	—
≪ ≫	○	○	—
▲·▼·◀·▶	○	○	—
決定	○	○	—
戻る	○	○	—
終了	○	○	—
機器操作 録画リスト	○	○	—
青	○(Blue/A)	○(A)	—
赤	○(Red/B)	○(B)	—
緑	○(Green/C)	○(C)	—
黄	○(Yellow/D)	○(D)	—
＋ 音量 −	—	—	○
消音	—	—	○

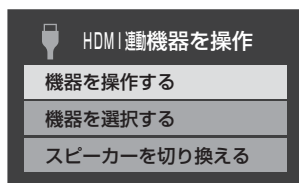
HDMI連動機器を操作する つづき

● HDMI連動対応(レグザリンク対応)機器は以下の手順で操作します。

1 レグザリンクを押す

2 ▲·▼で「HDMI連動機器を操作する」を選び、決定を押す

3 操作のメニューを選ぶ

● 選択できるメニューは接続されている対象機器の種類や台数によって異なります。

対象機器が1台の場合

❶「機器を操作する」を選び、決定を押す
● 機器操作メニューが表示されます。

対象機器が複数の場合

❶「機器を選択する」を選び、決定を押す

❷操作する機器を◀·▶(機器の台数によっては▲·▼·◀·▶)で選び、決定を押す
● 機器操作メニューが表示されます。

AVシステム機器が接続されている場合

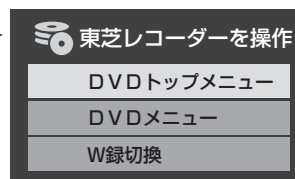
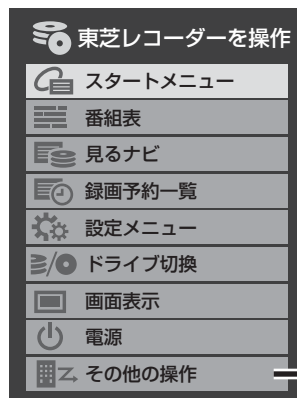
● レグザリンク対応のAVシステム機器(AVアンプなどとそのスピーカー)が接続されている場合は、本機(テレビ)の音声を出すスピーカーを切り換えることができます。

❶「スピーカーを切り換える」を選び、決定を押す

❷音声を出すスピーカーを▲·▼で選び、決定を押す

4 機器を操作する

● 機器によって操作できる内容が異なります。以降の内容を参考にしてください。
●「スピーカーを切り換える」で、「AVシステムのスピーカーから音声を出す」を選択した場合は、本機のリモコンで音量の調節と消音の操作ができます。

東芝レコーダー

スタートメニュー
● 東芝レコーダーのスタートメニューが表示されます。

番組表
● 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

見るナビ
●「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます。

録画予約一覧
● 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

設定メニュー
● 東芝レコーダーの設定メニューが表示されます。

ドライブ切換
● ハードディスクとDVDを切り換えます。

画面表示
● 状態表示の表示/非表示を切り換えます。

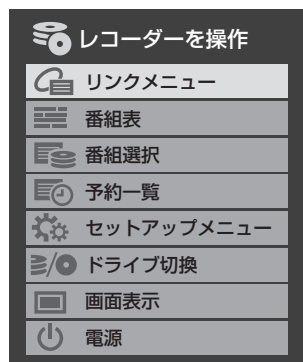
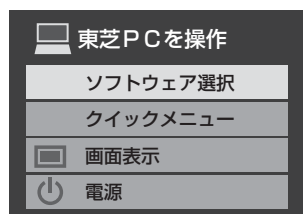
電源
● 決定で電源の「入」、「待機」ができます。

DVDトップメニュー(その他の操作内)
● DVD視聴中に選ぶとDVDトップメニューが表示されます。

DVDメニュー(その他の操作内)
● DVD視聴中に選ぶとDVDメニューが表示されます。

W録切換(その他の操作内)
● W録選択を切り換えます。

東芝製以外のレコーダー

● HDMI CEC対応のレコーダーを操作します。
● すべての製品ですべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

東芝パソコン

ソフトウェア選択

● 表示される項目を▲・▼で選んで決定を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● 決定でパソコンの「起動」、「シャットダウン」ができます。

AVシステムの音声を設定する

● 以下の条件のときに、「HDMI連動機器を操作」のメニューから「AVシステムの音声を設定する」が選べるようになり、サラウンドメニューからお好みの音声を選択したり、ユニボリュームの機能を使用したりすることができるようになります。（AVシステム機器によっては、サラウンドメニューまたはユニボリュームのどちらか一方しか使用できない場合があります）

❶ 本機と音声連携が可能なAVシステム機器（AVアンプなどとそのスピーカー）がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（スピーカーから音声が出るようになっている）。
❷「HDMI連動設定」（準備編 43）が以下のように設定されている。
- HDMI連動機能 ……………使用する
- AVシステム連動…………使用する
- AVシステム音声連動 …… 使用する

サラウンドメニュー

● AVシステム機器のサラウンドモードを設定します。サラウンドメニューから、視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。
※ 画面に表示されるサラウンドメニューは目安です。AVシステム機器側のサラウンドメニューの内容と一致しない場合があります。
※「おまかせ」に設定すると、番組が変わるたびに本機が取得した番組ジャンル情報がAVシステム機器に送られ、AVシステム機器のスピーカーからジャンルに適した音声が出るようになります。

ユニボリューム

●「オン」に設定すると、番組とコマーシャルの音量差、チャンネル間の音量差、外部入力間の音量差が少なくなるように補正され、テレビの音が聞きやすくなります。
※ クラシック音楽などの番組では、音量差を小さくすると音の強弱表現が損なわれます。そのような番組を視聴する場合や、映画などでシーンによって変わる音量差の迫力を味わいたい場合などは、この機能を「オフ」にしてください。

■ 東芝パソコンについて
● 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。

インターネットで情報を見る

- インターネットにアクセスして、さまざまな情報を見たり、調べたりすることができます。
- 接続や設定などの準備については、「インターネットを利用する場合の接続・設定」(準備編 67)および、「インターネット制限設定」(準備編 89)をご覧ください。

基本操作

1 ブロードバンドを押す

2 ▲·▼で「インターネット」を選び、決定を押す

はじめて使用するとき

- 「インターネット制限設定」(準備編 89)が未設定の場合、「インターネット」をはじめて利用する際に、「インターネット制限設定」の説明画面が表示されます。

❶画面の説明を読み、決定を押す

- 説明画面が消えます。

暗証番号の入力画面が表示されたとき

- 暗証番号の入力画面は、「ブラウザ起動制限設定」(準備編 89)を「制限する」に設定している場合に表示されます。

❶ 1 〜 10(0) で暗証番号を入力する

- 「暗証番号の設定」(準備編 88)で設定した暗証番号を入力します。

3 見たい情報を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

閲覧制限の説明画面が表示されたとき

- 「レグザ版あんしんねっと設定」(準備編 89)で「閲覧設定」をしている場合、設定した制限レベルを超えるサイトにアクセスすると、閲覧制限の説明画面が表示されます。

❶画面の説明を読み、決定を押す

- 前のページに戻ります。

■一時的に閲覧制限を変更するとき

❶ クイックを押す

❷ ▲·▼で「閲覧制限一時変更」選び、決定を押す

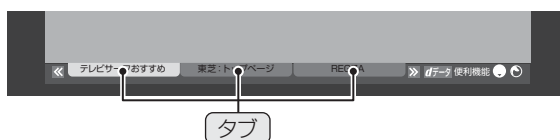
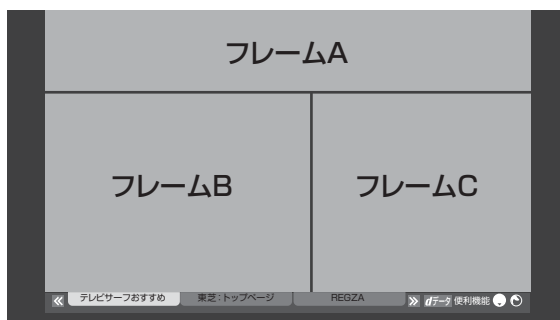
❸ 1 〜 10(0) で暗証番号を入力する

- 「暗証番号の設定」(準備編 88)で設定した暗証番号を入力します。
- 閲覧制限が解除されます。
- 制限が解除された状態は、「インターネット」を終了するまで継続されます。
- 利用中に再び閲覧制限を有効にする場合は、クイックを押して「閲覧制限再設定」を選びます。

4 インターネットを終了するには終了を押す

※ 必ず終了で終了してください。
※ インターネットを使用中に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

ページの操作について

- 画面右下操作ガイドに▲·▼·◀·▶が明るく表示されている場合は、画面に表示されない部分が矢印の方向にあることを表しています。▲·▼·◀·▶を押せば、その方向に進んで表示されます。|«|·|»|·⌃·⌄を押すと、ページが大きく移動します。
- タブごとに画面がある場合、|«|·|»|でタブを切り換えます。

- Webページによって、一つのページが複数のフレーム(それぞれが別々の内容を表示する領域)で構成されている場合があります。▲·▼·◀·▶を押して選んだフレームに青い枠がつきます。

- ページを新しいウインドウで開く場合は、以下の操作をします。

見たい情報を別のウインドウで開くには

❶見たい情報を選び、dデータを押す

❷◀·▶で「ウインドウ」を選び、決定を押す

❸▲·▼で「新しいウインドウで開く」を選び、決定を押す

- ウインドウは最大五つまで開くことができます。

ウインドウを閉じるには

❶上記❶、❷の操作をする

❷▲·▼で「閉じる」を選び、決定を押す

- インターネットの利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機の操作ができなくなることがあります。その場合は、本体の電源ボタンで電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
- Webページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。

■ **ホームページとWeb(ウェブ)ページについて**

- ホームページは階層構造になっています。この取扱説明書では、下の階層を含めた全体をホームページと記載し、個々のページをWebページと記載しています。

便利機能を使う

●「便利機能」はよく使う機能への入口です。

1 **Webページの表示中に［dデータ］を押す**
- 便利機能のメニューが表示されます。
- 見たい情報を新しいウインドウで開く場合は、見たい情報を選んでから［dデータ］を押してください。（前ページ右下の説明をご覧ください）

2 **◀·▶で機能のアイコンを選び、［決定］を押す**
※ アクトビラ、Yahoo! JAPANを利用しているときは、いくつかの機能は使用できません。使用できない機能は、薄くなって表示されます。

ウインドウ　戻る　進む　再読込み　URL入力　ホーム　お気に入り　履歴表示　ポインター　検索　メニュー
http://www.yahoo.co.jp/

アイコン、機能	内　容
「ウインドウ」	見たいWebページを新しいウインドウで開いたり、開いているウインドウを閉じたりします。
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読込み」 「中止」	表示しているページの情報が更新されます。 読込中に読込みを中止します。 （読込中のときは×が表示され、それ以外のときは↻が表示されます）
「URL入力」	見たいWebページのアドレス（URL）を入力してページを表示させせます。
「ホーム」	ホームに登録されているページに戻ります。登録のしかたは74をご覧ください。
「お気に入り」	よく見るWebページを「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」の中から見たいWebページを選んだりすることができます。72
「履歴表示」	表示履歴の中から、見たいWebページを選ぶことができます。73
「ポインター」	ポインターのオン/オフ、ドラッグを切り換えます。73
「検索」	インターネット検索やページ内検索をします。74
「メニュー」	ページ操作や各種設定74～76をするときに使います。

アドレスを入力してWebページを見る

●アドレス（URL）がわかっている場合は、それを入力してWebページを見ることができます。

1 **便利機能のメニューから、◀·▶で「URL入力」を選んで［決定］を押す**
- アドレス入力画面が表示されます。

2 **▲·▼·◀·▶でアドレス入力欄を選び、［決定］を押す**

※ 過去の入力履歴から選ぶ場合は、▲·▼·◀·▶で「入力履歴」を選んで［決定］を押します。

3 **見たいWebページのアドレスを入力する**
- 文字入力画面で文字を入力します。文字入力のしかたは102をご覧ください。
- 定型文を一覧から選んで入力することができます。

定型文の入力方法

❶ **［画面表示］を押して定型文入力モードにする**
❷ **定型文一覧から▲·▼·◀·▶で選び、［決定］を押す**

［定型文］：www. co.jp/ .ne.jp/ .ac.jp/ .or.jp/ .com/ http:// https://

- 入力できる文字数は、半角英数字と半角記号で254文字までです。
- 文字入力が終わったら［決定］を押し、手順**2**のアドレス入力画面に戻ります。

4 **▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、［決定］を押す**
- 新しいウインドウで開く場合は、「新しいウインドウで開く」を選んで［決定］を押します。

インターネットを楽しむ

インターネットで情報を見る

● インターネット機能使用時の文字入力では改行ができます。（記号一覧末尾に改行記号が追加されます）

インターネットで情報を見る つづき

「お気に入り」に登録する

● お買い上げ時に登録されているものを含めて50個までのWebページを「お気に入り」に登録できます。

1 登録したいWebページを開く

2 便利機能のメニューから、◀·▶で「お気に入り」♡を選んで決定を押す

● 「お気に入り」の一覧が表示されます。

3 ▲·▼で「お気に入りに登録」を選び、決定を押す

● 「お気に入り」一覧の一番下に追加されます。

「お気に入り」からWebページを見る

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「お気に入り」♡を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「お気に入り一覧」を選び、決定を押す

3 見たいWebページを▲·▼で選び、決定を押す

「お気に入り」の便利機能

● 履歴一覧の表示中に以下の便利機能を使用することができます。

❶「お気に入り」に登録したWebページを選び、dデータを押す

❷ ▲·▼で項目を選び、決定を押す

● 項目1～7をリモコンの1～7で選ぶこともできます。

1 新しいウインドウで開く
選んだWebページを新しいウインドウで開きます。

2 編集
選んだWebページの名称・URLを編集します。

① **編集する項目を▲·▼·◀·▶で選び決定を押す**

● タイトルの入力文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。(「お気に入り」を最大登録可能数の50個まで登録した場合の目安です)

● URLの入力文字数は半角英数字・半角記号で254文字までです。

3 アドレスで表示
「お気に入り」一覧をアドレス(URL)で表示します。
(「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります)

4 上へ移動
選んだ「お気に入り」のリスト表示順をひとつ上へ移動します。

5 下へ移動
選んだ「お気に入り」のリスト表示順をひとつ下へ移動します。

6 削除
選んだ「お気に入り」を削除します。
① **◀·▶で「はい」を選び、決定を押す**

7 すべて削除
すべての「お気に入り」を削除します。
① **◀·▶で「はい」を選び、決定を押す**

履歴から選んでWebページを見る

● 今までに見たWebページの履歴から選ぶことができます。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「履歴表示」☰を選んで 決定 を押す

● 「履歴」の一覧が表示されます。

2 見たいWebページを▲·▼で選び、決定 を押す

履歴一覧の便利機能

● 履歴一覧の表示中に以下の便利機能を使用することができます。

❶ 履歴を選んだ状態で、d データ を押す

❷ ▲·▼で項目を選び、決定 を押す

● 項目1〜4をリモコンの 1 〜 4 で選ぶこともできます。

1 新しいウインドウで開く
2 アドレスで表示
3 削除
4 すべて削除

1 新しいウインドウで開く
選んだ履歴ページを新しいウインドウで開きます。

2 アドレスで表示
「履歴」一覧をアドレス(URL)で表示します。
(「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」になります)

3 削除
選んだ履歴を削除します。
① ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

4 すべて削除
すべての履歴を削除します。
① ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

ポインターを切り換える

● 画面を操作するときのツールを「ポインター」または「ドラッグツール」に変更することができます。
● 「ポインター」にするときは手順1〜2の操作を、「ドラッグツール」にするときは手順1〜3の操作をします。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「ポインター」を選んで 決定 を押す

2 以下の操作で「」(ポインター)、「」(ドラッグツール)のどちらかを選ぶ

「」を選ぶとき

❶ ▲·▼で「ポインター：ON」を選び、決定 を押す
● 画面にが表示されます。

■ の使いかた
① アイコンがの表示になる場所まで▲·▼·◀·▶で移動し、決定 を押す

「」を選ぶとき

❶ ▲·▼で「ポインター：ON」を選び、決定 を押す
❷ d データ を押す
❸ 便利機能のメニューから、◀·▶で「ポインター」を選んで 決定 を押す
❹ ▲·▼で「ドラッグモード」を選び、決定 を押す
● 画面にが表示されます。

■ の使いかた
① 画面上で 決定 を押す
● ツールが「」になります。
② お好みの位置まで▲·▼·◀·▶で移動する

※「」は一部のWebページ(地図ページなど)だけで使用できます。

● ポインターやドラッグツールを使わない場合は、「ポインター：OFF」を選びます。

インターネットで情報を見る つづき

情報を検索する

● Yahoo!(ヤフー)を使った検索ができます。

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「検索」を選んで決定を押す

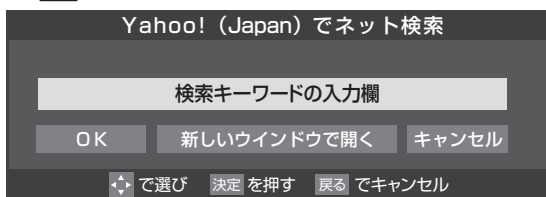
2 ▲·▼で検索方法を選び、決定を押す

Yahoo! (Japan) でネット検索
ページ内検索

- **Yahoo!でネット検索**…Yahoo!を利用してインターネット検索をします。(情報検索)
- **ページ内検索**…………表示しているWebページ内を検索します。(文字検索)

3 以下の操作をする

■ Yahoo!でネット検索のとき

❶ ▲·▼·◀·▶で検索キーワード入力欄を選び、決定を押す

■ ページ内検索のとき

❶ ◀·▶で検索キーワード入力欄を選び、決定を押す

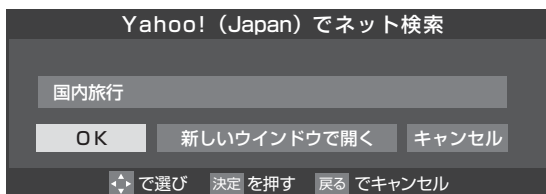
4 検索キーワードを入力し、決定を押す

● 文字入力画面で検索キーワードを入力します。文字入力のしかたは 102 をご覧ください。
● 入力できる文字は、半角英数字・半角記号で254文字までです。
● 文字入力が終わったら決定を押し、手順**3**の検索キーワード入力画面に戻ります。

5 以下の操作をする

■ Yahoo!でネット検索のとき

❶ ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

● 新しいウインドウで開く場合は、「新しいウインドウで開く」を選んで決定を押します。

■ ページ内検索のとき

❶ ◀·▶で「上へ検索」または「下へ検索」を選び、決定を押す

- **上へ検索**……入力された文字をページの上方向に検索します。
- **下へ検索**……入力された文字をページの下方向に検索します。

● 該当の文字列がページ内に見つかると、その文字列が色付きで表示されます。
● 左端の▼を選んで決定を押せば、検索ウインドウを画面の下に移動させることができます。下にあるときは、▲を選んで決定を押せば、上に移動させることができます。

❷ 検索が終わったら、◀·▶で「×」を選んで決定を押す

ページ操作

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「メニュー」を選んで決定を押す

2 ◀·▶で「ページ操作」を選ぶ

3 ▲·▼で項目を選び、決定を押す

● 操作できる項目と内容は下表のとおりです。
● 操作できない項目名は薄く表示されます。
● 項目❶、❷をリモコンの1、2で選ぶこともできます。

項　目	内　容
❶ ホームページに設定	現在表示されているWebページをホームページとして設定します。
❷ フレームの切り替え	一つのページが複数のフレームで構成されているときに、見たいフレームを選びます。

表示設定

1 便利機能のメニューから、◀·▶で「メニュー」🔧を選んで決定を押す

2 ◀·▶で「表示」を選ぶ

3 ▲·▼で項目を選び、決定を押す
- 設定できる項目と設定の内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄くなって表示されます。
- 項目❶～❼をリモコンの1～7で選ぶこともできます。

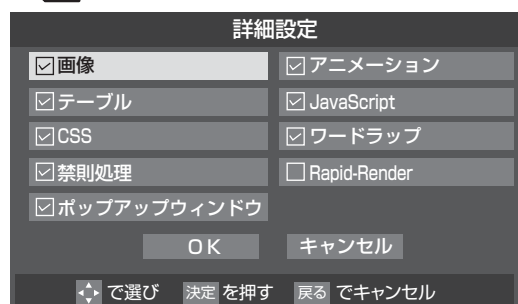
4 ▲·▼で設定を選び、決定を押す

5 終わったら、戻るでWebページに戻る

項　目	設定の内容
❶ 表示モード	**「通常」**にするとWebページがそのままのサイズで表示されます。 **「Just-Fit Rendering」**にするとWebページの横幅が本機の表示エリアの幅に合うように表示されます。
❷ 文字サイズ	画面の文字サイズを変更します。 **「最大」、「大」、「中」、「小」、「最小」**から選びます。 ※ この文字サイズはWebページだけに有効です。
❸ 表示倍率	Webページの表示を拡大・縮小することができます。 **「200%」、「150%」、「125%」、「100%」、「75%」、「50%」**から選びます。 ※ Webページによっては拡大・縮小できない場合があります。
❹ エンコード	文字が化けている場合は、文字コードを変更してみてください。 ● 一般的に日本語のWebページは**「Shift-JIS」**ですが、**「EUC-JP」**の場合があります。
❺ 詳細設定	右記の説明をご覧ください。
❻ ページ情報	現在見ているWebページの情報が表示されます。
❼ サーバ証明書	「サーバ証明書」が表示されます。

「❺ 詳細設定」を選んだ場合

❶ 設定する項目を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

※ 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。

❷ ▲·▼·◀·▶で「OK」を選び、決定を押す

設定項目	内　容
画像	画像の表示/非表示を設定します。非表示にすると、画像がある場所に画像アイコンが表示されます。
テーブル	テーブルタグの有効/無効を設定します。
CSS	CSSの有効/無効を設定します。
禁則処理	禁則処理の有効/無効を設定します。有効にすると、Webページの見栄えを良くするために、句読点などの位置を調整します。
ポップアップウィンドウ	ポップアップウィンドウの表示の有効/無効を設定します。無効にするとWebページを開いたときに出てくるポップアップウィンドウタイプの広告表示が表示されません。
アニメーション	アニメーション画像の表示/非表示を設定します。非表示にすると、静止画像が表示されます。
JavaScript	JavaScriptの有効/無効を設定します。
ワードラップ	ワードラップの有効/無効を設定します。有効にすると、行末で収まりきらない単語が次の行に配置されます。
Rapid-Render	Rapid-Renderの有効/無効を設定します。有効にすると、最初に文字だけが読み込まれ、その状態で選択部分の移動などの基本操作ができます。最終的には、Webページが通常表示されます。

インターネットで情報を見る つづき

その他の設定

1 **便利機能のメニューから、◀·▶で「メニュー」🔧を選んで決定を押す**

2 **◀·▶で「設定」を選ぶ**

3 **▲·▼で設定項目を選び、決定を押す**
- 設定できない項目名は薄くなって表示されます。
- 項目❶～❻をリモコンの1～6で選ぶこともできます。

4 **▲·▼で設定を選び、決定を押す**

5 **終わったら、戻るでWebページに戻る**

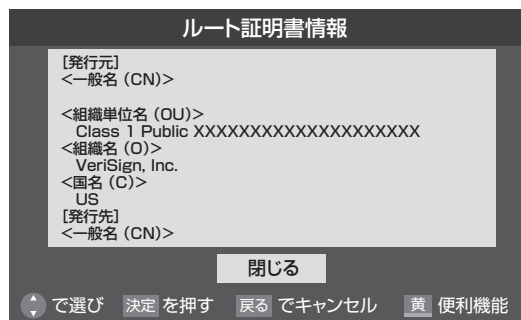
設定項目	内　容
❶ スタートアップ設定	**「ホームページを表示」**にするとインターネットを起動したときに、ホームページに設定されているWebページが表示されます。 **「最後に表示したページを表示」**にすると前回インターネットを見たときに最後に表示していたWebページが表示されます。
❷ セキュリティ	**「保護あり/なしのページ間の移動時に通知する」**にチェックをつけると、保護のあるページから保護のないページへ移動するときに、メッセージを表示してお知らせします。 **「使用するSSLバージョン：SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0」**では、SSLバージョンを選びます。 **「ルート証明書」**では証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。 **「CA証明書」**では証明書の内容確認と有効/無効の設定ができます。 ※ **「ルート証明書」「CA証明書」**を選んだ場合は、右の説明をご覧ください。
❸ Cookie	**「受信する」**を選ぶとCookieを受信し、本機内に記録します。 **「受信しない」**を選ぶとCookieを受信しません。 **「受信前に通知する」**を選ぶと、Cookieを受信したときに、メッセージを表示してお知らせします。
❹ Cookieを削除する	記録されているCookieをすべて削除します。
❺ キャッシュ	**「キャッシュを使用する」**にチェックをつけるとキャッシュを使用します。 **「キャッシュを全て削除」**を選ぶと、本機に保存されているキャッシュをすべて削除します。
❻ ブラウザ情報	ブラウザの情報が表示されます。

■「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合
- 証明書のリストが表示されます。
- 証明書を選び決定を押すと、詳細画面が表示されます。
- 以下の操作で、証明書の内容確認、証明書の有効/無効の設定ができます。

※ この設定はアクトビラでも有効です。

❶ ▲·▼で証明書を選び、dデータを押す

※ dデータを押すたびに、「❶無効にする」と「❶有効にする」が交互に切り換わります。

❷ 戻るを押す

※ 通信中に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりしないでください。お気に入りや履歴、Cookieなどの情報が正しく保存されません。

- **Cookie（クッキー）とは**
  ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバ間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。
  ※ Cookieを受信しないように設定すると、Webサイトによっては利用できない場合があります。
- **キャッシュとは**
  以前表示したページを再度見る場合に、本機に保存されている過去のデータを表示して表示時間を短縮することです。

ひかりTVを利用する

ひかりTVとは

- 光回線（NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線）を利用して多チャンネル放送やビデオなどを楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。
- 標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンでのサービスもあります。

ひかりTVにはテレビサービスとビデオサービスなどがあります（2009年10月現在）

- **テレビサービス**
  70チャンネル以上の放送があります。（オプション契約が必要な約20チャンネルを含みます）
- **ビデオサービス**
  映画やドラマなど数多くのビデオを好きな時間に楽しむことができます。早送り、早戻し、一時停止などもできます。

※ サービスの内容は、契約内容（料金プラン）によって異なります。
※ 使用しているの回線のスピードによっては、映像が乱れたり、視聴できなかったりすることがあります。

本書では基本操作のみを記載しています

- ほかの操作については、「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編 71）をご覧ください。
- 画面のイラストは一例であり、契約しているプロバイダーによって異なります。

ひかりTVの視聴制限について

- ひかりTVには、視聴年齢制限が定められた番組があります。（視聴制限の設定については準備編 90 をご覧ください）
  チャンネルやビデオを視聴する際に、設定した年齢を超えている放送番組やビデオを表示、視聴する場合は、暗証番号の入力が必要です。（その際、「この番組には視聴年齢制限があります。」などのメッセージが表示されます）
- 成人向けコンテンツやR指定コンテンツなどの視聴には、「視聴年齢制限設定」（準備編 90）での設定が必要です。

必要な準備

■ひかりTVの申込み

- 「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編 71）をご覧ください。

■ひかりTVの接続と設定

- 「ひかりTVを視聴する場合の接続・設定」（準備編 71 ～ 72）をご覧ください。

基本操作

1 ［ブロードバンド］を押す

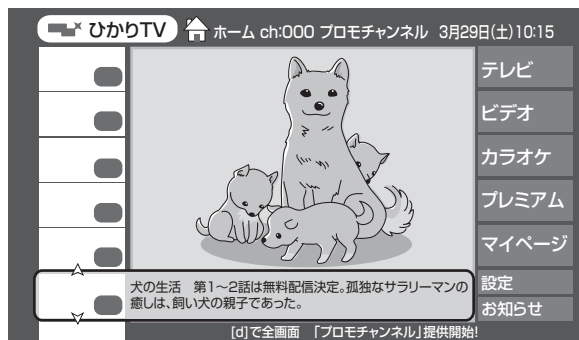
2 ▲·▼で「ひかりTV」を選び、［決定］を押す

3 ▲·▼で「ホーム」または「テレビ」を選び、［決定］を押す

- 「ホーム」を押すと、ひかりTVのホーム画面が表示されます。
- 「テレビ」を押すと、ひかりTVの多チャンネル放送が表示されます。

※ **回線の状態によって時間がかかることがあります。**

- 「IPTV設定」（準備編 72）をしていない場合は、メッセージが表示されます。

【ホームを選んだ場合】

4 ▲·▼·◀·▶で項目やチャンネルを選び、［決定］を押す

※ 「ホーム」を選んだときの操作です。「テレビ」を選んだ場合は次ページをご覧ください。

- この操作を繰り返してチャンネルやビデオを選びます。（視聴画面での操作は次ページをご覧ください）
- 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

5 ひかりTVを終了するには、［終了］を押す

- 「IPTVを終了してよろしいですか？」が表示されたら、◀·▶で「はい」を選んで、［決定］を押してください。

※ 必ず［終了］で終了してください。インターネットを使用中に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

- ひかりTVの視聴中に録画予約や視聴予約の開始時刻になると、ひかりTVを終了して予約が実行されます。
- 録画中には、ひかりTVは視聴できません。
- ひかりTVサービスを内蔵・USB・LANハードディスクにデジタル録画することはできません。

ひかりTVを利用する つづき

テレビサービスを利用する

チャンネルを選ぶ

■順に選ぶとき

❶ [チャンネル∧∨]を押す

■チャンネル番号を入力して選ぶとき

❶ [CH番号入力](ふたの中)を押す

❷ [1]～[10](0)で3ケタのチャンネル番号を押す

※ 入力しなおすときは、[CH番号入力]を押して入力画面を消してから、もう一度[CH番号入力]を押してください。

■番組表で選ぶとき

❶ [番組表]を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で番組を選び、[決定]を押す

※ 番組表画面では、カラーボタンで次のことができます。操作の手順については13、16をご覧ください。

- [青] …今の時間の番組表を見る
- [赤] …好きな時間の番組表を見る(8日先まで)
- [緑] …番組を検索する

音声切換をする

- 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
- 音声多重の場合は、[音声切換](ふたの中)を押すたびに、次のように切り換わります。

※ 選局操作などをすると「主：副」に戻ります。

- 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わることがあります。

ひかりTVの選択画面に戻るには

❶ [ブロードバンド]を押す

チャンネルなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

- 情報表示を消すには、もう一度押します。

※ そのほかにも、テレビサービスの視聴中に、[クイック]を押して、番組情報を見ることができます。

ビデオサービスを利用する

※ ご利用の際の宅内環境、ネットワーク環境やサービス提供者側システムの状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかる場合があります。

基本の操作

- [▶/一時停止]、[◀◀]、[▶▶]で操作します。
- 「スキップ：[|◀◀]、[▶▶|]」、「ワンタッチスキップ：[»|➡]」、「ワンタッチリプレイ：[⬅|«]」もできます。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ [サーチ CH番号入力](ふたの中)を押す

- 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ [1]～[10](0)で時間を指定する

例)冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
[10](0)[1][2][5][10](0)[5]の順に押す

※ 入力しなおすときは、[サーチ CH番号入力](ふたの中)を押して、入力画面を消してから、もう一度[サーチ CH番号入力]を押してください。

音声切換をする

- 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
- 音声多重の場合は、[音声切換](ふたの中)を押すたびに、次のように切り換わります。

※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

- 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ [戻る]または[■]を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

- 情報表示を消すには、もう一度[画面表示]を押します。

- テレビサービスの番組表から録画/視聴予約をすることはできません。
- ビデオサービスを見ているときに、[◀◀]で番組の始まりまで戻った場合、冒頭付近の早戻し映像が表示されないことがあります。同様に、[▶▶]で番組の終わりまで送ったときに、末尾付近の早送り映像が表示されないことがあります。

アクトビラを利用する

アクトビラとは

- 「アクトビラ」は、株式会社アクトビラが提供するテレビ向けインターネット・サービスです。

アクトビラのサービスについて(2009年10月現在)

※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

◆ **アクトビラビデオ**

映画やドラマ、アニメなど10ジャンル・1000番組以上のビデオを番組ごとに購入して楽しむことができるビデオオンデマンド(VOD)サービスです。
標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンレベルでのサービスもあります。
テレビのリモコンで、早送り・早戻し・一時停止などの操作をしてご覧いただけます。

◆ **アクトビラベーシック**

テレビ番組に関する情報や、話題の商品など、気になるトレンドをチェックして買い物をしたり、生活に関する最新情報(ニュース、天気予報、株価、交通情報など)を入手したりすることができます。

必要な準備

- 「インターネットを利用する場合の接続・設定」(準備編 67 ～ 69)をご覧ください。

はじめてアクトビラを使うときの操作について

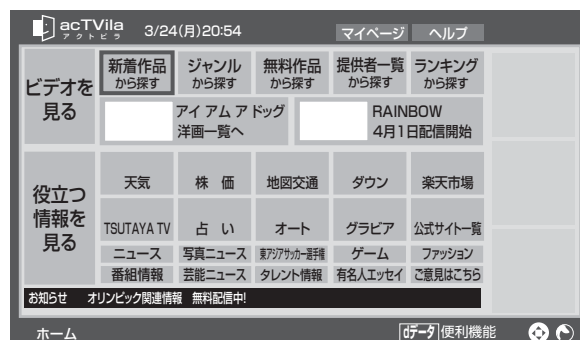
- はじめてアクトビラを使うときに、本機に組み込まれた識別情報が自動で送信されます。
- その後、郵便番号の入力画面が表示されます。
  画面の指示に従って入力してください。
  郵便番号を入力しないと、アクトビラの一部の機能が使用できない場合があります。

基本操作

1 **[ブロードバンド]を押す**

2 **▲・▼で「アクトビラ」を選び、[決定]を押す**

- しばらくするとアクトビラのトップページが表示されます。

※ 回線の状態によって時間がかかることがあります。

3 **以下の操作をする**

ビデオサービスを見る場合

❶ **▲・▼・◀・▶で「ビデオを見る」の中から見たい項目を選び、[決定]を押す**

❷ **目的の項目になるまで上記の操作を繰り返す**

❸ **購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作する**

情報サービスを見る場合

❶ **▲・▼・◀・▶で「役に立つ情報を見る」の中から見たい項目を選び、[決定]を押す**

❷ **目的の項目になるまで上記の操作を繰り返す**

4 **アクトビラを終了するには、[終了]を押す**

- 「アクトビラを終了してよろしいですか？」と表示されたら、◀・▶で「はい」を選んで、[決定]を押してください。

※ 必ず[終了]で終了してください。インターネットを使用中に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

- アクトビラサービスを内蔵・USB・LANハードディスクにデジタル録画することはできません。

アクトビラを利用する つづき

ビデオサービスを利用する

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかることがあります。

基本の操作

● ［▶/早見早聞］、［◀◀］、［▶▶］で操作します。
● 「スキップ：［|◀◀］、［▶▶|］」、「ワンタッチスキップ：|»|➡」、「ワンタッチリプレイ：⟲|«|」もできます。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ ［サーチ CH番号入力］(ふたの中)を押す

● 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ ［1］～［10］(0)で時間を指定する

例)冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
［10］(0)［1］［2］［5］［10］(0)［5］の順に押す

※ 入力しなおすときは、［サーチ CH番号入力］(ふたの中)を押して、入力画面を消してから、もう一度［サーチ CH番号入力］を押してください。

音声切換をする

● 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
● 音声多重の場合は、［音声切換］(ふたの中)を押すたびに、次のように切り換わります。

※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

● 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ ［戻る］または［■］を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ ［画面表示］を押す

● 情報表示を消すには、もう一度［画面表示］を押します。

Yahoo! JAPANを利用する

Yahoo! JAPANとは

- 「Yahoo! JAPAN」は、ヤフー株式会社が提供するインターネット・ポータルサイトです。
- Yahoo! JAPANのトップページや検索結果画面などは、テレビで見やすい表示になっています。

Yahoo! JAPANのサービス（2009年10月現在）

※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

◆ **ニュース、天気、占いなど、130以上のサービス**
目的別に分類されたカテゴリから、必要な情報を探すことができます。

◆ **検索サービス**
キーワードを選択または入力して、インターネット検索ができます。

◆ **画像検索サービス**
検索キーワードに関連する画像を探すことができます。

◆ **動画チャンネル**

ご利用に関するお知らせ

- 安心してご利用いただくために、以下の点にご注意ください。
  - Yahoo! JAPAN以外のWebページで、Yahoo! JAPANのIDやパスワードを入力する画面が表示された場合、セキュリティ上の問題が発生することがありますので、入力しないでください。トップページに戻るには、[dデータ]を押し、「ホーム」を選びます。
  - セキュリティを高めるため、「ログインシール」などのYahoo! JAPANが推奨するセキュリティ設定をしてください。設定のしかたは、Yahoo! JAPANのログイン画面でご確認ください。

必要な準備

- 「インターネットを利用する場合の接続・設定」（準備編 67～69）をご覧ください。

基本操作

1 [ブロードバンド]を押す

2 ▲・▼で「Yahoo! JAPAN」を選び、[決定]を押す

- 「インターネット制限設定」の説明画面が表示された場合や、暗証番号の入力画面が表示された場合の操作については、70 の手順2の説明をご覧ください。
- Yahoo! JAPANのトップページが表示されます。

※ 回線の状態によって時間がかかることがあります。

3 見たい情報を▲・▼・◀・▶で選び、[決定]を押す

- 閲覧制限の説明画面が表示された場合の操作については、70 の手順3の説明をご覧ください。

4 Yahoo! JAPANを終了するには、[終了]を押す

※ 必ず[終了]で終了してください。インターネットを使用中に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

- Yahoo! JAPAN以外のWebページに移動した場合、画面が正しく表示されないことがあります。
- Yahoo! JAPANのホームページに関するお問合せは、Yahoo! JAPANヘルプセンター（http://help.yahoo.co.jp/help/jp/）をご覧ください。

ご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害
- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音
- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音
- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

■ 修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があったりすると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	•「電源」表示が赤色に点灯していますか。	•「電源」表示が赤色に点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認し、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。7
	•「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも「電源」表示が赤色に点滅しているときは故障です。電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンが動作しない	•「電源」表示が赤色に点灯していますか。	•「電源」表示が赤色に点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。7
	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	• リモコンをリモコン受光部に向けてください。（準備編 29）
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してください。（準備編 28）
	• リモコンの乾電池の極性（＋、－）が逆向きにはいっていませんか。	• 極性（＋、－）を正しく入れてください。（準備編 28）
	• 本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。	• 上記の内容を確認してもリモコンで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
	• リモコンコードの設定を変えませんでしたか。	•「リモコンコード設定」（準備編 91）を参照して、本体とリモコンの設定をやり直してみてください。
すべての操作ボタンが動作しない	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ ソフトウェアのダウンロード 103 をしている場合は、終了するまで操作ボタン（本体、リモコンの 電源 以外のボタン）は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	• ソフトウェアのダウンロード中は、終了するまでお待ちください。 • 視聴中に操作できなくなった場合は、本体の電源ボタンを押し続けてください（約8秒間）。本機が再起動します。
番組表の文字が小さい	―――	• 番組表の文字の大きさを変更してください。14

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（準備編 25～27）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線を確認してください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切 り、もう一度電源を入れてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。19
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• 希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニュー 27 を確認してください。映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「お好み調整」28 でご希望の映像に調整してください。
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（準備編 25～27）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線（準備編 26 お知らせ）を使っていませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをおすすめします。 • 同軸ケーブルに変えることをおすすめします。 ※ 上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線（準備編 26 お知らせ）を使っていませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ※ 上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－ で音量を上げてください。7
	• 画面に「消音」マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。7 （＋音量－ を押しても解除されます）7
	• 音量の表示が「外部出力」になっていませんか。	• 「音声出力設定」を「固定出力」にするか、「端子設定」を「録画出力」にしてください。（準備編 44）
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 「無信号消音設定」を「オフ」にしてください。（準備編 83）

ご確認ください つづき

デジタル放送関係

デジタル放送関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で入れてください。(準備編 24 ☞)
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。(準備編 73 ☞、74 ☞) • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。
	• BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。(準備編 73 ☞)
映像や音声が(ときどき)出たり、出なかったりする 映像の動きが(ときどき)停止する	• 電波の種類(BS、110度CS、地上デジタル)に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ(口径)のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナを使用してください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。(準備編 73 ☞、74 ☞) • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。(準備編 25 ☞～26 ☞)
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すれば、もとの状態に戻ります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	• チャンネルボタンを押すと「○○を録画しています。終了を押すと録画を中止します。」のメッセージが表示されますか。	• 本機からの録画中は他のデジタル放送チャンネルに切り換えられません。切り換えたい場合はメッセージに従って「終了」をしてください。(録画は中止されます)
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。(準備編 24 ☞)
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 視聴手続きをしてください。
引越をしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。(準備編 84 ☞)

映像/音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。(準備編 26 ☞、27 ☞)
不自然なブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が見えるときがある	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	• 「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• 「お知らせ」を表示させると消えます。101☞
未読の「お知らせ」がなくなっている ・放送局からのお知らせ ・本機に関するお知らせ ・ボード	• 「設定の初期化」をしませんでしたか。	• 「設定の初期化」(準備編 94☞)をすると「お知らせ」は削除されます。
	• 「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	• 「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」は、最大数を超えて受信した場合は、未読でも自動的に削除されることがあります。
	• 「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。	――――
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。(準備編 24☞)

地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※ 以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。(準備編 24☞)
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続を確認してください。(準備編 25☞～26☞)
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • お買い上げの販売店に相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。(準備編 73☞)
	• 「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。(準備編 75☞) • 受信したチャンネルは番組表で確認できます。
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、もよりの放送局にお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 www.toshiba.co.jp/regza/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応(パススルー方式)になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」(準備編 75☞)をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」(準備編 76☞)をしてください。 • 「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容も確認してください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。
複数のテレビで、リモコンボタンのチャンネルが異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• 一部の東芝テレビや他社メーカーのテレビの場合は、チャンネルの割り当てや枝番が同じにならないことがあります。 ※「チャンネル設定」の「手動設定」(準備編 78☞)でチャンネルの割当てを変更することができます。
複数のテレビで、枝番 8☞ が異なっている		
地上デジタルアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	地上デジタルアンテナレベル 伝送チャンネル ◀UHF27▶ 関東広域0 46 低 高 ここに地域名が表示されていますか。	• 地域名が表示されている場合は、再スキャンをしてください。(準備編 76☞) ※ 地域名が表示されている場合でも、背面が黒画面の場合は通常の選局では受信できません、 • 地域名が表示されていない場合は、検査放送です。通常の選局では受信できません。

ご確認ください つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
受信できなくなった放送局が番組表などから消えない	―――	• 初期スキャンをしてください。(準備編 75)
リモコンボタンに設定した放送局がなくなったり、別の放送局に変わったりしている	•「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。「本機に関するお知らせ」の内容を確認してください。101
チャンネル でのの選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 8 で区別されているチャンネルではありませんか。	•「番組説明」10 で枝番の有無を確認してください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	•「初期スキャン」(準備編 75)をしませんでしたか。 •「再スキャン」(準備編 76)で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて再度「手動設定」をしてください。(準備編 78)
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	―――	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。13 • 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」または「切」にすることをおすすめします。
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	―――	• 本機は、放送時間の繰り上げには対応していません。

通信・双方向通信サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続を確認してください。(準備編 67)
	•「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• LAN端子設定を確認してください。(準備編 68～69) • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているか確認してください。(準備編 69)
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	• 接続を確認してください。(準備編 63) •「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。(準備編 68～69)
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの(ADSLの場合、局から遠いなど)ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※ 通信速度は、インターネット接続業者にご相談ください。
通信が切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	•「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。(準備編 66)

録画・再生

内蔵ハードディスクの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
内蔵ハードディスクを使用できない	• 処理中（ハードディスク処理中アイコン）が画面に表示されていませんか。	• ハードディスクの処理中です。しばらくお待ちください。 • しばらく待ってもハードディスク処理中アイコン（左図）が消えない場合は、一時的なエラーの場合が考えられます。リモコンの電源ボタンを押して「待機」にし、約5分後に「入」にしてみてください。それでも使用できない場合は以下の方法で「リセット」をしてください。 ※ リセットのしかた ① 本体の電源ボタンを押して電源を「切」にする ② 本体の「ハードディスク」表示が消えていることを確認する ③ 電源プラグをコンセントから抜く ④ 約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れる ※ 上記の操作をしても使用できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	• 本機の電源がはいっているときや、本機前面の「ハードディスク」表示が点灯しているときに、停電や雷などによる瞬間的な停電、電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 機器の初期化（準備編 60～61）をしてください。それでも使用できない場合はハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵ハードディスクに録画した番組が消えた	• 本機の電源がはいっているときや、本機前面の「ハードディスク」表示が点灯しているときに、停電や雷などによる瞬間的な停電、電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 左記の場合、録画した番組が消えることがあります。録画した番組がすべて消えた場合や、ハードディスクが動作しない場合は機器の初期化（準備編 60～61）をしてください。それでも使用できない場合は、ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵ハードディスクに録画できない	• 本機のハードディスクの残量が足りていますか。	• 不要な番組を削除してください。
	• コピー禁止の番組ではないですか。	• 番組説明で確認してください。
	• 録画機器が内蔵ハードディスク以外に設定されていませんか。	• 「録画設定」で録画機器を「内蔵ハードディスク」に変更してください。
	• 電波の受信状態が不安定ではないですか。	• アンテナの接続を確認してください。（準備編 25～27）（電波の受信状態が不安定な場合は録画できないことがあります）
	• ハードディスクとの一時的な通信エラー。	• 内蔵ハードディスクの取付状態を確認してください。（準備編 62）
	• ハードディスクが未登録ではないですか。 • ハードディスクが取りはずしできる状態ではありませんか。	•「機器の登録」をしてください。（準備編 61） •「機器の再検出」をしてください。（準備編 61）
	• 2番組同時録画をしていませんか。	• 2番組同時録画中は、録画できません。
再生中に不自然なブロックノイズが見えるときがある	―	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 • もとの映像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合。 • 天候などによって、受信状態が悪化した状態での録画の場合。 • 画面の激しい変化に画像処理が対応できない場合。 • 内蔵ハードディスクのディスク上のエラーによる場合。（内蔵ハードディスク寿命で大量に発生する場合は、内蔵ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください）

ご確認ください つづき

連ドラ予約

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「連ドラ予約」が正しく録画できない	• 追跡キーワードや追跡基準は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ予約」で、追跡キーワードや追跡基準を正しく設定し直してください。46
	• 連ドラ予約と通常の録画予約が重複していませんか。	• 通常の録画予約を取り消してください。63

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバー関係(再生のみ)

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
DLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されない	• DLNA認定サーバーは正しく接続されていますか。	• 準備編 53 を参照して、正しく接続してください。(必ずルーターを通して接続してください。)
	• 本機のLAN端子およびDLNA認定サーバーはIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 準備編 68 ～ 69 の手順で、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してください。 • DLNA認定サーバーについてはDLNA認定サーバーの説明書に従って設定してください。
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX～172.31.XXX.XXX」または「10.XXX.XXX.XXX」になっていますか。	• 準備編 68 ～ 69 の手順でIPアドレスを確認してください。ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。
	• ルーターのIPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX～172.31.XXX.XX」または「10.XXX.XXX.XXX」範囲で割り当てる設定になっていますか。	• ルーターの説明書に従って、左記のIPアドレスがDLNA認定サーバーと本機に割り当てられるように設定してください。
	• 複数のDLNA認定サーバーを接続していますか。	• 2台目以降のDLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されるまで15分程度かかることがあります。 • 「機器選択」画面を終了して、もう一度「機器選択」画面を表示すると、機器が表示される場合があります。
録画リストが表示されない	• DLNA認定サーバーによっては、アクセス後一定時間経過しないと録画リストを表示できないことがあります。	• しばらくお待ちください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※ 本機のMACアドレスは、準備編 68 ～ 69 の手順で確認することができます。
DLNA認定サーバーのコンテンツが見られない	• DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツは、本機が再生できる種類のものですか。	• 本機が再生できるコンテンツのフォーマットは、準備編 57 に記載のとおりです。DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツのフォーマットは、DLNA認定サーバー側で確認してください。

USBハードディスク関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない	• USBハードディスクの電源がはいっていますか。	• 電源を入れてください。
	• USBハードディスクを接続した直後ではありませんか。	• USBハードディスクを本機に接続してから自動登録されるまで1分ほどかかります。
	• USBハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 48 ～ 50)
録画先に指定したUSBハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない」の内容を確認してください。
	• 録画先に指定したUSBハードディスクに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
USBハードディスクを使用できない	• 使用したい機器が機器選択画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない」の内容を確認してください。 • それでも使用できない場合は、以下の操作をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USBハードディスクの電源を入れ直す ③ 本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる
USBハードディスクに録画した番組が消えた	• USBハードディスクを使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化(準備編 49 ～ 50)をしてください。

LANハードディスク関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ハードディスク専用LAN端子に接続したLANハードディスクが機器選択画面に表示されない	• LANハードディスクを接続した直後ではありませんか。	• LANハードディスクを本機に接続してから自動登録されるまで10分ほどかかります。
	• 「登録モード設定」を「自動」に設定していますか。(準備編 59)	• 通常は「自動」に設定して使用してください。「登録モード設定」を「手動」に設定した場合は、手動で登録してください。(準備編 58 ～ 59)
	• LANハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 52 ～ 53) • IPアドレスの設定で、本機側を自動取得、LANハードディスク側を手動・設定にしているなどの矛盾はありませんか。
LAN端子(中央)に接続したLANハードディスクが機器選択画面に表示されない	• LANハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 52 ～ 53) LAN端子(中央)に接続したLANハードディスクは自動登録されませんので、上記ページの操作で登録してください。
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「10.XXX.XXX.XXX」、「172.XX.XXX.XXX」のいずれかになっていますか。(XXXは数字。「168」の部分は異なっている場合があります)	• ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機で使用できません。(準備編 68 ～ 69)
録画先に指定したLANハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定したLANハードディスクが機器選択画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「ハードディスク専用LAN端子に接続したLANハードディスクが「機器選択」画面に表示されない」と、「LAN端子(中央)に接続したLANハードディスクが機器選択画面に表示されない」の内容を確認してください。
	• 録画先に指定したLANハードディスクに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
LANハードディスクに記録されているファイル(録画番組や写真)が再生できない	• LANハードディスクの電源がはいっていますか。	• LANハードディスクの電源を入れ直して10分間待つと、再生できるようになる場合があります。

ご確認ください つづき

HDMI連動機能

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
推奨機器を接続しても連動動作できない	• 接続は正しいですか。	• 接続を確認してください。（準備編36☞、38☞、41☞） • HDMIケーブルは、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったものを使用してください。 • はじめてHDMI連動機能対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、AVシステム機器に接続している機器も含めて、すべての機器が連動しているかを確認してください。
	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。	• 接続機器側の設定を確認してください。 • 「HDMI連動設定」を確認してください。（準備編43☞）
	• 接続している機器はレグザリンク対応の東芝パソコンですか。	• パソコンを再起動してからHDMIケーブルをはずし、本機と接続し直してください。
本機のリモコンの操作と連動機器側の動作があわない	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 推奨機器を接続しているにもかかわらず、リモコンの操作と機器の動作が合わない場合は、接続機器側のリモコンで操作してください。
接続した外部スピーカーから音が出ない	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。 • 本機との接続は正しいですか。	• AVシステム機器側の設定を確認してください。 • 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定していますか。（準備編43☞） • AVシステム機器の接続を確認してください。（準備編38☞） ※ HDMIケーブル以外にオーディオケーブルを接続しないと、外部スピーカーからテレビの音は出ません。（準備編38☞）
映像機器からの映像と、AVシステム機器からの音声が違う	• 映像機器とAVシステム機器が別々のHDMI入力端子に接続されていませんか。	• 映像機器をAVシステム機器のHDMI入力端子に接続してください。（準備編38☞）
	• 接続は正しいですか。	• 接続を確認し（準備編38☞）、「機器選択」画面68☞で機器を選んでください。

ワンセグ関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「機器一覧」にSDメモリーカードが表示されない	• フォーマットが異常ではありませんか。	• 本機で初期化したSDメモリーカードを使用してください。
	• SDメモリーカードが異常ではありませんか。	• ほかのSDメモリーカードを使用してください。
本機でダビングした番組が他の機器で見られない	• 本機または本機で動作確認済の携帯機器（66☞「お知らせ」参照）で初期化されたSDメモリーカードですか。	• 本機または本機で動作確認済の携帯機器で初期化したSDメモリーカードでダビングしてください。

写真再生関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB機器やSDメモリーカードの画像が見られない	• 本機のUSB端子に正しく接続していますか。	• USB機器の接続を確認してください。(準備編 42)
	• SDメモリーカードが正しく挿入されていますか。	• SDメモリーカードを正しく挿入してください。 5
	• 本機に接続できる機器ですか。	• USB機器の接続を確認してください。(準備編 42)
	• 使用したい機器以外がつながっていませんか。	• 使用していないUSB機器を取りはずしてください。
	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書で確認してください)
	• 表示モードがシームレスモードになっていませんか。	• 表示モード切換をしてください。(DCIMフォルダがない場合は、シームレスモードで表示できません)
USB機器やSDメモリーカードの一部の画像が見られない	• USB機器やSDメモリーカード内に1000枚以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除してください。
	• ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くしてください。 ※ 見たいファイルのファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にしてください。
画像が表示されるのが非常に遅い	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書で確認してください)
	• ファイルサイズが大きすぎませんか。	• パソコンなどでファイルサイズを小さくしてください。
写真再生で表示モード切換ができない	• USB機器の接続設定を確認してください。	• USB機器の接続設定がPC接続モードの場合、またはSDメモリーカード挿入口に挿入したSDメモリーカードの場合に表示モード切換ができます。

ひかりTV関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ひかりTVを視聴できない	• 「IPTV設定」(準備編 72)の「システム情報」で、「ネットワーク状態」が「接続中」になっていますか。	• 「ネットワーク状態」が「未接続」の場合は、「IPTV設定」の「接続テスト」をしてみてください。
	• 接続・設定は正しいですか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 71 〜 72)
	• ひかりTVの申込みをしていますか。	• 「ひかりのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 71)を参照して申し込んでください。
	• 回線終端装置のLED表示が点灯していますか。	• 点灯していない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記の操作をしても視聴できない場合は、「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 71)に記載されている「ひかりTVカスタマーセンター」にお問い合わせください。

ご確認ください つづき

インターネット関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
インターネット画面が表示されない	• プロバイダーなどとのインターネットをするための契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 「LAN端子の接続」(準備編 67)で、正しく接続してください。
	• インターネットをするための設定は正しいですか。	• 「通信接続設定」(準備編 68)で、「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。 ※ インターネット利用時に閲覧制限機能を使用する場合は、「インターネット制限設定」(準備編 89)をしてください。
音声が出ない	• インターネットの音声は出力されません。	――――
リモコンボタンの反応が悪い	• Webサイトのデータ読込中などは、リモコンボタンの反応が悪くなる場合があります。	――――

エラー・メッセージについて

全般（代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「アンテナ接続か受信環境に不具合があるため、ご覧になれません。 ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 【青】ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 • アンテナの接続や設定が合っているか確認してください。（準備編 25～27） • アンテナ線を確認してください。 ※ 選局したチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。 コード：E210」	• 部分受信サービス（ワンセグ）を選局した。	• 本機は、部分受信サービスは受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。101
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中である。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間を確認してください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスを放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくない。	• 地デジ、BS、CS や、クイック での「テレビ/ラジオ/データ切換」で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CASカード挿入口1にカードが入っていません。 BS・CS・地上共用カード（赤カード）を入れてください。」	• B-CASカード挿入口1にB-CASカードがはいっていない。	• B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード（赤カード）を入れてください。
「B-CASカード挿入口2にカードが入っていません。 地上デジタル専用カード（青カード）を入れてください。」	• B-CASカード挿入口2にB-CASカードがはいっていない。	• B-CASカード挿入口2に地上デジタル専用カード（青カード）を入れてください。
「B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード（赤カード）が入っていません。カードをご確認ください。」	• B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード（赤カード）以外のカードがはいっている。	• B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード（赤カード）を入れてください。
「B-CASカード挿入口Xにカードが正しく入っていません。 カードをご確認ください。」	• B-CASカード挿入口1または2にカードが正しくはいっていない。	• B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。	• ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。（準備編 90）
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	• 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルの放送局に連絡してください。

エラー・メッセージについて つづき

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
  この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

USB機器に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器(メディア)が接続されていません。」	―――――――	• 本機が対応しているメディア、または機器を使用してください。
「機器(メディア)を認識できません。」	• 正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	• 本機が対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	• その他の原因。	• 本体の電源ボタンで電源を切り、機器を接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• USB接続に異常が発生した。	• USB機器をはずしてから、もう一度接続してください。
「USB端子の電源容量を越えました。必要な機器のみ接続してください。」	• USB過電流エラーが発生した。(USB機器を多くつないでいる場合には、使用できなくなる場合があります)	• 以下の方法で復帰させてください。 ① 本体の電源ボタンで電源を切り、本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ② 電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで電源を入れる ③ 使いたいUSB機器だけを接続する

内蔵ハードディスクに関するエラー表示やお知らせ

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていません。」	• 内蔵ハードディスクに一時的なエラーが発生した。 • 内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていない。	• 内蔵ハードディスクの取付状態を確認してください。(準備編 62☞) • それでも同じエラー表示が出る場合は、リセット(下記参照)をしてください。 • 以上のどちらをしても同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
「内蔵ハードディスクの再検出ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• 内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていない。	• 内蔵ハードディスクの取付状態を確認してください。(準備編 62☞)
「内蔵ハードディスクのエラーにより録画を中止しました。」	• 内蔵ハードディスクに一時的にエラーが発生した。	• 以下の操作でリセットをしてから、もう一度同じ操作をしてください。それでも同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ※ リセットのしかた ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② 本体の「ハードディスク」表示が消えていることを確認する ③ 電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで電源を入れる
「ファンの異常により、録画を中止しました。」	• 本機内部の冷却ファンに一時的な異常が発生した。 • ファンが故障している。	
「ファンの異常により、内蔵ハードディスクが動作しません。」		

通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかった。	• 「双方向サービスを利用する場合の接続・設定」（準備編 63 ～ 65 ）で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかった。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗した。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、しばらくたってから、もう一度操作してください。 • 接続・設定の状態を確認してください。（準備編 63 ～ 65 ）
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号（準備編 84 ）を確認し、東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号（準備編 84 ）を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	• 「通信環境設定」を正しく設定し直してください。（準備編 68 ～ 69 ）

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 録画機器側で録画設定が変更されている。	• 録画機器で録画設定の内容を確認してください。
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください」	• 録画機器側の動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、録画機器側の操作などを中止してください。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	• 録画機器側の予約数が制限を超えている。	• 録画機器で、予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	• 録画機器側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 録画機器の取扱説明書で、指定できる時刻の形式を確認してください。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	• 録画機器側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	• 録画機器で予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器に時刻が設定されていません。」	• 録画機器の時刻設定をしていない。	• 録画機器の時刻設定をしてください。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	• 録画機器の電源がはいっていない。	• 録画機器の電源を入れてください。
	• 録画機器が正しく接続されていない。	• 本機と東芝レコーダーを正しく接続してください。（準備編 36 ） • HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

エラー・メッセージについて つづき

LANハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • LANハードディスクの電源がはいっていない。 • LANハードディスクにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。（準備編 52〜53） • LANハードディスクの電源を入れてください。 • LANハードディスクの電源を入れ直してください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「システム情報にエラーがあるため、録画番組を再生できない場合があります。」	• システムフォルダに含まれるシステム情報がこわれている。	• システムフォルダがこわれているため、このLANハードディスクは再生できません。
「一部のシステム情報が欠落しているため、再生できない録画番組があります。」	• システムフォルダ内の情報が不足している。	• 本機では再生できません。

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • USBハードディスクの電源がはいっていない。 • USBハードディスクにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。（準備編 48） • USBハードディスクの電源を入れてください。 • USBハードディスクの電源を入れ直してください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	• USB過電流エラーが発生した。	• 以下の方法で復帰をしてください。 ① 本体の電源ボタンで電源を切り、本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ② 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで電源を入れる ③ 使用するUSBハードディスクだけを本機に接続する

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「検索に失敗しました。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 53 を参照して、正しく接続してください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 53 を参照して、正しく接続してください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	• DLNA認定サーバーによって、MACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。 DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※ 本機のMACアドレスは、「通信接続設定」(準備編 68 ～ 69)のメニューで確認できます。
「再生できません。」	• コンテンツが本機で対応しているフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• DLNA認定サーバーが起動準備中。 • DLNA認定サーバーが他の機器で使用中。	• しばらくしてからやり直してください。
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	• コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。

インターネットに関するエラー表示 (代表的なもの)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ページの安全性を確認できません。 サーバが証明書をサポートしていません。 接続しますか?」	• 証明書認証時にブラウザの証明書DBに発行元のルートCA証明書がない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 ルートCA証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• ルートCA証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。接続しますか?」	• サーバ証明書のCN(一般名)がホスト名と一致しない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書の有効期限が切れています。 接続しますか?」	• サーバ証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「DNSでエラーが発生しました。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にURL、プロキシ設定に誤りがある場合	• 「LAN端子設定」(準備編 68 ～ 69)の「DNS設定」「プロキシ設定」が正しく設定されているか確認してください。
「DNSが設定されていません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが設定されていない場合	• 「LAN端子設定」(準備編 68 ～ 69)の「DNS設定」が正しく設定されているか確認してください。
「DNSからの応答がありません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバからのリクエストが無くタイムアウトした場合	• 「LAN端子設定」(準備編 68 ～ 69)の「DNS設定」が正しく設定されているか確認してください。
「サーバが見つかりません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが見つからない場合	• 「LAN端子設定」(準備編 68 ～ 69)の「DNS設定」が正しく設定されているか確認してください。
「接続できません。 TCPでオープンエラーが発生しました。」	• TCPオープンに失敗した場合	• 読込み途中のページを「便利機能」 71 で読込み「中止」にしてください。

エラー・メッセージについて つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「接続できません。 TCPで接続エラーが発生しました。」	• TCPコネクトに失敗した場合	• 接続先サーバーのURLを確認してください。また、「LAN端子の接続」（準備編 67）で正しく接続されているか確認してください。
「接続できません。 TCPで読み込みエラーが発生しました。」	• TCP読込みに失敗した場合	•「LAN端子の接続」（準備編 67）で正しく接続されているか確認してください。
「接続できません。 TCPで書き込みエラーが発生しました。」	• TCP書込みに失敗した場合	• 送信先サーバーが正しいか確認してください。また、「LAN端子の接続」（準備編 67）で正しく接続されているか確認してください。
「SSL通信ができません。 プロキシに接続できません。」	• コネクトの応答フォーマットが誤っている場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL通信ができません。 SSLでHandshakeエラーが発生しました。」	• SSLハンドシェイクに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL通信ができません。 SSLで読み込みエラーが発生しました。」	• SSL読込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「SSL通信ができません。 SSLで書き込みエラーが発生しました」	• SSL書込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTPリクエストの送信中にタイムアウトしました。」	• HTTPリクエスト送信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーが正しいか確認してください。また、「LAN端子の接続」（準備編 67）で正しく接続されているか確認してください。
「表示しようとしているページがキャッシュに保存されていません。」	• キャッシュのみからコンテンツを取得する設定の場合、キャッシュにコンテンツが存在しないとき	• 左記の原因でこのページを表示できません。（再読込みをしても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「表示しようとしているキャッシュ内のページは有効期限が切れています。」	• 再読み込み、進む、戻るの操作をしたとき、POSTをしようとした場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（再読込みをしても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「この認証タイプはサポートされていません。」	• 認証のタイプがBasic認証でもDigest認証でもない場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	• 認証の際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバからの応答が正しくありません。 リダイレクトできません」	• リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「HTTPリクエストのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「HTTPリクエストのボディサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのボディサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPレスポンスのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPレスポンスのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「これ以上HTTPレスポンス(100Continue)を受信できません。」	• Continueの数が制限値を超えた場合(無制限に設定しているため発生しない)	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「サーバがTLSをサポートしていません。」	• サーバーがTLS v.1.0に未対応の場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPレスポンスの受信中にタイムアウトしました。」	• HTTPレスポンス受信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーが正しいか確認してください。また、「LAN端子の接続」(準備編 67ﾃﾞ)で正しく接続されているか確認してください。
「ファイルを開けません」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを開くのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ファイルを読み込めません。」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを読込むのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ページサイズが大きすぎます。正しく表示できない可能性があります。」	• コンテンツのサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「ページがありません。」	• コンテンツが見つからなかった場合	――――
「読み込みを中止しました。」	• リダイレクトがキャンセルされた場合	――――
「サーバからの応答が正しくありません。これ以上リダイレクトできません。」	• 制限値以上のリダイレクトをした場合(制限値は30)	• このページを見ることはできません。
「MIMEタイプが正しくありません。」	• 処理できないMIMEタイプのコンテンツを開こうとした場合	• このページを見ることはできません。
「エラーが発生しました。」	• ブラウザ内で未分類のエラーが発生した場合	• このページを見ることはできません。
「アドレスが正しくありません。」	• 処理できないスキームを開こうとした場合	• 「URL入力」が正しいか確認してください。正しい「URL入力」を入力しても同様のメッセージが出る場合、このページを見ることはできません。
「JavaScriptのwindow.closeが実行されましたが、ウィンドウは1つのため閉じることはできません。」	• タブが1枚のみ開かれている状態でwindow.closeが実行された場合	――――
「保護あり/保護なしのページが混在しています。」	• 取得したコンテンツにHTTPとHTTPSのものが混在していた場合	――――
「メモリ不足です。他のタブの内容を消去して再読み込みしますか？」	• コンテンツ表示途中でメモリー不足が発生した場合	• ほかのタブを消去する場合は、◀·▶で「OK」を選び、決定を押してください。消去しない場合は、「キャンセル」を選んでください。
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	• 極度のメモリー不足状態から強制復帰した場合	• 他のタブを消去してから「再読込み」をしてください。上記操作をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。
「このタイプの文書は表示できません。」	• Content-Typeが対応形式外の場合	• このページを見ることはできません。

タイマーを使う

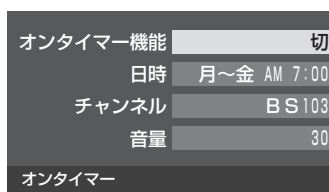
オンタイマーを使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 クイック を押す

2 ▲･▼で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「オンタイマー」を選び、決定 を押す

4 設定する項目を▲･▼で選び、決定 を押す

オンタイマー機能

● オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲･▼で「オンタイマー機能」を選び、決定 を押す

❷ ▲･▼で「入」を選び、決定 を押す

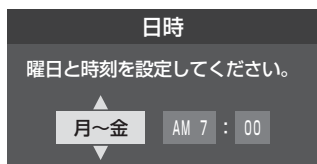
● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

● オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲･▼で「日時」を選び、決定 を押す

❷ 設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」〜「毎週(土)」、「月〜木」、「月〜金」、「月〜土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

チャンネル

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲･▼で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷ 設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で内容を選ぶ

- **放送の種類**…… 地デジ／ BS ／ CS
- **チャンネル**…… 設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

音量

● オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ ▲･▼で「音量」を選び、決定 を押す

❷ ▲･▼でお好みの音量を選び、決定 を押す

5 設定が終わったら、終了 を押す

● 本体前面の「オンタイマー」表示が緑色に点灯します。

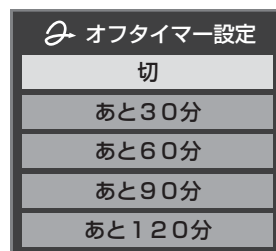
オフタイマーを使う

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 クイック を押す

2 ▲･▼で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「オフタイマー」を選び、決定 を押す

4 ▲･▼で設定時間を選び、決定 を押す

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● オフタイマーが設定されているときに クイック を押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

■「オンタイマー」について

● 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に切れます。

● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■「オフタイマー」について

● 設定した時刻になる前に、電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

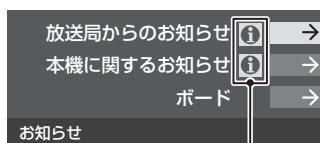
● 本機で録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」10 が表示されます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

未読のお知らせがある場合はオレンジ色で表示されます。

- 放送局からのお知らせ …… デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ …… 録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- ボード …… 110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定を押す

5 設定が終わったら、終了を押す

■「本機に関するお知らせ」を削除するには

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
※ 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定を押す

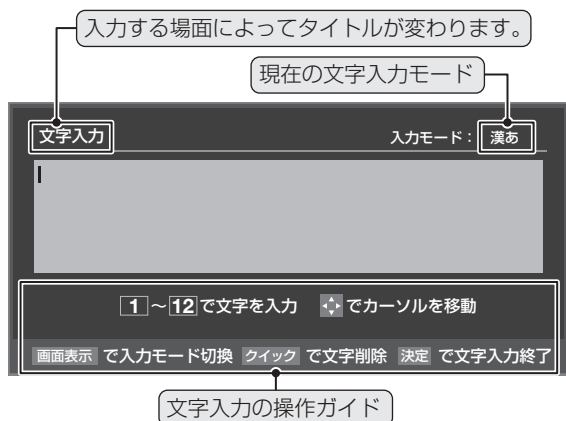
4 ▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ
● 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

■ お知らせについて
● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
● 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

■ 降雨対応放送について
● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

文字を入力する

● 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。

1 文字入力画面で[1]～[12]を押して、文字を入力する

● 携帯電話と同じ操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて[10]を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて[10]を押すやりかたもあります。確定前であれば[10]を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

入力例：あい ➡ [1]、▶、[1](2回)
あ　い

● 文字入力モードを変えるときは、[画面表示]を押します。

2 漢字に変換しないときは[決定]を押す 漢字に変換するときは▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら[決定]を押す

● 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

● すべての入力が終わったら、[決定]を押して文字入力を終了します。

文字を挿入する場合

● 文字を挿入する場所を▲·▼·◀·▶で選んで入力します。

文字を削除する場合

● [クイック]を短く押します。

● カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字が削除されます。

■ **文字列が確定されている場合で[クイック]を押し続けたとき**

● カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字がすべて削除されます。カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

文字入力モード

「漢あ」	漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」	全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」	全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号モード	半角の記号を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧表

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
1	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	＊
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

※1 全角英字の場合……．→／→：→ー→＿→～→＠→␣（スペース）
半角英字の場合…….→/→:→-→_→˜→@→␣（スペース）

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

お知らせ

■ **入力した文字は、次のように表示されます。**

● 入力中の文字：黄色背景

● 未確定の文字：白色背景

● 漢字変換候補選択中の文字：灰色背景

● 確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に[戻る]を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● データ放送番組視聴時の文字入力の場面では、ほとんどの場合、番組が指定する方法で文字を入力します。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

- 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
- ダウンロードには、下表の三つの種類があります。

BSや地上デジタルの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上デジタルの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	ダウンロードをする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする（次ページ）	イーサネット通信によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しない場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す
- 青を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。

7 設定が終わったら、終了を押す

任意ダウンロードをする

- ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 左の「自動ダウンロードの設定をする」の手順1～4をする

2 ▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 ダウンロードの予約をする場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す
- 予約できるダウンロードは一つです。

6 設定が終わったら、終了を押す
※ 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。

お知らせ
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

ダウンロードについて つづき

■ 任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをする」の手順1～3の操作で、予約日時一覧の画面にする

❷ 変更後の日時を▲·▼で選び、決定を押す

❸ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す

❺ 終わったら、終了を押す

※ 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしておいてください。

■ 任意ダウンロード予約を取り消すには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをする」の手順1～3の操作で、予約日時一覧の画面にする

❷ 予約済みのダウンロード日時を▲·▼で選び、決定を押す

❸ 画面のメッセージを読み、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❹ 終わったら、終了を押す

東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。
- あらかじめLAN端子の接続と設定が必要です。
（準備編 67 ～ 69 ）

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「サーバーからのダウンロード開始」を選び、決定を押す

5 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

6 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアの更新をしない場合は、「いいえ」を選びます。

7 画面の指示に従って操作する
- ソフトウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアの更新が終了したあとで決定を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定を押す

5 ソフトウェアのバージョンを確認して、決定を押す

6 確認が終わったら、終了を押す

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 67 ～ 69 ）を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
テレビ	テレビ放送	字	字幕放送
ラジオ	ラジオ放送	MV	マルチビューサービス(複数の映像・音声がある番組)
データ	データ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合(テレビ)	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合(ラジオ)	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
16:9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
4:3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送(番組に連動していないもの)がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
データ取得中	データの取得中です	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
回線使用中	電話回線の使用中です	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
(i)	未読の「おしらせ」	デジタルコピーx	デジタル録画できない番組の場合
(i)	既読の「おしらせ」	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
(時計)	録画予約	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
✔	視聴予約	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
●	録画中	光デジタルコピーx	光デジタル録音できません
アナログコピー可	アナログ録画できます	デジタルコピー可	デジタル録画できます
アナログコピー¥	アナログ録画できません		非リンク型サービス(通信番組) 9
アナログコピーx	アナログ録画できません		SSLなどの暗号通信をしている場合 9

メニュー 一覧

- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です)
  「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 96 ～ 97 をご覧ください。
- メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。
- 以下は、「映像メニュー」、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合のメニュー 一覧です。

設定メニュー → 映像設定
- 映像メニュー 27
- お好み調整 28 ～ 33
  - 黒レベル
  - 色の濃さ
  - 色あい
  - シャープネス
  - 明るさ調整 34
  - 詳細調整
    - カラーイメージコントロールプロ
      - カラーイメージプロ設定
      - カラーパレットプロ調整
        - レッド
        - グリーン
        - ブルー
        - イエロー
        - マゼンダ
        - シアン
        - ユーザー1
        - ユーザー2
        - ユーザー3
      - 初期設定に戻す
    - レゾリューションプラス設定
      - レゾリューションプラス
      - アニメモード
      - レベル調整
    - ノイズリダクション設定
      - MPEG NR
      - ダイナミックNR
    - LEDエリアコントロール
    - Wスキャン倍速
    - オートファインシネマ
    - 色温度
    - ダイナミックガンマ
    - ガンマ調整
    - Vエンハンサー
  - 初期設定に戻す
- 画面調整 22
  - スキャン切換
  - 上下振幅調整
  - 上下画面位置
  - 左右振幅調整
  - 初期設定に戻す
- 1080p処理モード設定 35
- 色解像度 35
- ゲームダイレクト 36
- 明るさ検出 34
- 室内環境設定
  - 照明の色
  - 外光設定
- ヒストグラム表示 36

設定メニュー → 機能設定
- 省エネ設定
  - 消費電力
  - 番組情報取得設定
  - 無操作自動電源オフ
  - オンエアー無信号オフ
  - 外部入力無信号オフ
- 視聴制限設定
  - 視聴年齢制限設定
  - インターネット制限設定
    - レグザ版あんしんねっと設定
      - レグザ版あんしんねっと
      - 閲覧設定
    - ブラウザ起動制限設定
  - 暗証番号設定
  - 暗証番号削除
- 外部入力設定
  - 外部入力表示設定
    - HDMI1 設定
    - HDMI2 設定
    - HDMI3 設定
    - HDMI4 設定
    - ビデオ1 設定
    - ビデオ2 設定
    - ビデオ3 設定
    - ビデオ4 設定
    - 初期設定に戻す
  - 外部入力自動スキップ
  - RGBレンジ設定
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
  - HDMI3音声入力設定
- 音声出力/録画出力端子設定
  - 端子設定
  - 音声出力設定
  - 録画出力設定
- 信号フォーマット詳細表示設定
- リモコン設定
  - 選局機能設定
  - リモコンコード設定
  - 操作無効設定

設定メニュー
レグザリンク設定
内蔵ハードディスク設定
今すぐニュース番組の登録
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはずし
機器の再検出
機器の初期化
USBハードディスク設定
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはずし
動作テスト
機器の初期化
LANハードディスク設定
機器の登録
登録モード設定
自動削除設定
動作テスト
SDメモリーカード設定
SDメモリーカードの初期化
66
録画再生設定
Eメール録画予約設定
基本設定
POP3サーバーアドレス
POP3ユーザー名
POP3パスワード
APOP
POP3アクセス時刻
SMTPサーバーアドレス
メールアドレス
Eメール録画予約機能
録画機器
メール予約パスワード
予約設定結果通知
指定メールアドレス
予約アドレス登録
ダイレクト録画時間設定
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
HDMI連動設定
HDMI連動機能
HDMI連動機器リスト
連動機器→テレビ入力切換
連動機器→テレビ電源
テレビ→連動機器電源オフ
PC映像連動
AVシステム連動
AVシステム音声連動
優先スピーカー
設定メニュー
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上デジタルアンテナレベル
BS・110度CSアンテナレベル
BS・110度CSアンテナ電源供給
BS中継器切換
110度CS中継器切換
チャンネル設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
地上アナログ自動設定
手動設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
チャンネルスキップ設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
ステレオ／モノラル
無信号消音設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
LANハードディスク専用端子設定
IPアドレス設定
DHCPサーバー設定
MACアドレス
接続確認メッセージ設定
通信エラー履歴
IPTV設定
ネットワーク設定
サービスプロバイダー選択
基本登録
IPTVスキャン
接続テスト
システム情報
B-CASカードの確認
115
ソフトウェアのダウンロード
103～104
放送からのダウンロード
自動ダウンロード
ダウンロードの予約
サーバーからのダウンロード開始
ソフトウェアバージョン
設定の初期化

Basic Operations

[TV Front Panel]

Remote Control sensor

● **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

B-CAS card slot

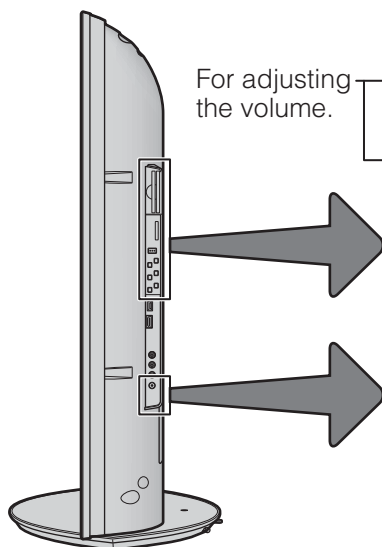
● **To view digital broadcasting programs, insert the B-cas card into the card slot. (Without B-cas card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

B-CAS card (Red)
Insert into the left slot upside-down.

B-CAS card (Blue)
Insert into the left slot.

SD card slot

[TV Right Side Panel]

● **Press to turn the TV set on and off.**

For adjusting the volume.

For changing the channel position.

For selecting input source.

For selecting analog or digital broadcasting.

Headphone jack

● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

● 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
● リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

お手入れについて

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**
感電の原因となることがあります。

■ **ベンジン・アルコールなどは使わない**
● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ **キャビネットや操作パネルのお手入れ**
● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ **画面(液晶パネル)は特殊な加工をしています**
● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ **画面(液晶パネル)は水ぶきをしない**
● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布(OA機器清掃用の布)で軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

さくいん

※ ページ番号の前の「準」は別冊の準備編に記載されていることを意味します。

● 数字・ABC順

● アイウエオ順

ア行

カ行

サ行

さくいん つづき

仕様

項目		46ZX9000	55ZX9000
種類		ハードディスク内蔵　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
形名		46ZX9000	55ZX9000
電源		AC 100V 50/60Hz共用	
消費電力		290W 電源「待機」時 0.3W、電源「切」時 0.2W （機能動作時は30W）※1	365W 電源「待機」時 0.3W、電源「切」時 0.2W （機能動作時は30W）※1
スタンドを含む外形寸法（　）は本体のみ	幅	115.8cm（115.8cm）	136.2cm（136.2cm）
	高さ	78.3cm（72.3cm）	90.1cm（83.9cm）
	奥行	34.5cm（11.3cm）	41.2cm（11.3cm）
スタンドを含む質量（　）は本体のみ		33.0kg（29.3kg）	44.0kg（38.7kg）
液晶画面	画面寸法	幅 101.8cm × 高さ 57.3cm 対角 116.8cm（46V 型）	幅 121.0cm × 高さ 68.0cm 対角 138.8cm（55V 型）
	駆動方式	TFT アクティブマトリクス	
	画素数	水平 1920 ×垂直 1080	
受信チャンネル		地上アナログ：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） 地上デジタル：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63） BSデジタル：BS000 ～ BS999、110度CSデジタル：CS000 ～ CS999	
スピーカー		6.5cm × 13cm 2 個、3.2cm 2個	
音声出力		実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）（JEITA）	
内蔵ハードディスク	形名	THH-50U7	
	容量	500GB（公称値）	
入・出力端子	ビデオ入力（入力1、2、3、4／ゲーム）	S2映像※2：Y入力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：200mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）	
	音声出力（固定／可変）／録画出力端子	S1映像：Y出力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C出力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック） 音声：200mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）	
	D4映像入力（ビデオ1、2）	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V（p-p）、PB/CB、PR/CR：0.7V（p-p）	
	HDMI端子1～4	HDMI（v.1.3a with DeepColor, Lip Sync） HDMIアナログ音声入力（HDMI端子3のみ搭載）：200mV（rms）、22kΩ以上（口径3.5mmステレオミニジャック）	
	USB（録画専用）端子	USB2.0	
	USB端子（側面）	USB2.0	
	光デジタル音声出力	トスリンク	
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式	
	ハードディスク専用LAN端子	RJ-45	
	LAN端子	RJ-45	
	ひかりTV専用LAN端子	RJ-45	
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω ～ 32Ω	
使用条件		使用周囲温度：0℃～ 35℃、使用周囲湿度：20%～ 80%（結露のないこと）	
角度調整範囲（テレビスタンド）		左右：約15°　前後：不可	不可
付属品		「付属品」（準備編 6 ）をご覧ください。	

※1：電源「待機」時または電源「切」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 内蔵ハードディスクで録画しているとき
- 本機で受信したデジタル放送を外部機器で録画しているとき
- 番組情報などを取得しているとき
- Eメール録画予約機能で設定した「POP3アクセス時刻」に、メールサーバーにアクセスしているとき

※2：S2映像入力端子はビデオ入力3に装備しています。

インターネットブラウザの仕様

記述言語	HTML4.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
Ajax	XMLHttpRequest
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
● テレビのV型（46V型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
● 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
● 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
●「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
● 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
● 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

ライセンスおよび商標などについて

●

この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。

● 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

● SDHCロゴは商標です。

● Audyssey Laboratoriesからの実施権に基づき製造されています。
Audyssey EQとは、オーディオ製品で採用されている、MultEQ（マルチイコライザー）の技術をベースにした音響補正技術です。この技術では従来の周波数だけではなく、タイムドメイン（時間軸）の補正をすることで、最適な音質を作り出すことができます。本機の設計段階でマイクによる測定を行い、キャビネットなどの影響を補正しながら、最適な音響特性を実現しました。

● DLNA®, DLNA認定ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。

● HDMI、MDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

● 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
● 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています
● この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
● この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
● **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM

B-CASカードの確認

● B-CASカードのID番号などをテレビ画面で確認するには、以下の操作をします。

❶ **設定メニュー（ふたの中）を押す**
❷ **▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す**
❸ **▲·▼で「B-CASカードの確認」を選び、決定を押す**
❹ **ID番号などを確認するB-CASカードを▲·▼で選び、決定を押す**
● 戻るを押せば、もう一方のB-CASカードを選んで確認できます。
❺ **確認が終わったら、終了を押す**

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。
※ B-CAS-1（赤）のID番号は、有料放送のお申し込みやお問い合わせにご使用ください。

B-CAS-1（赤）																				
B-CAS-2（青）																				

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」 【受付時間】365日／9:00～20:00

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）
フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）
ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。　www.toshiba.co.jp/regza
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●82ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	46ZX9000、55ZX9000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時にご注意願います

●家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

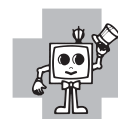
長年ご使用のテレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?
●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●表紙は有機物質を含む廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。
●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
●この印刷物は再生紙を使用しています。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

TD/T1　VX1A00152400

©TOSHIBA CORPORATION 2009